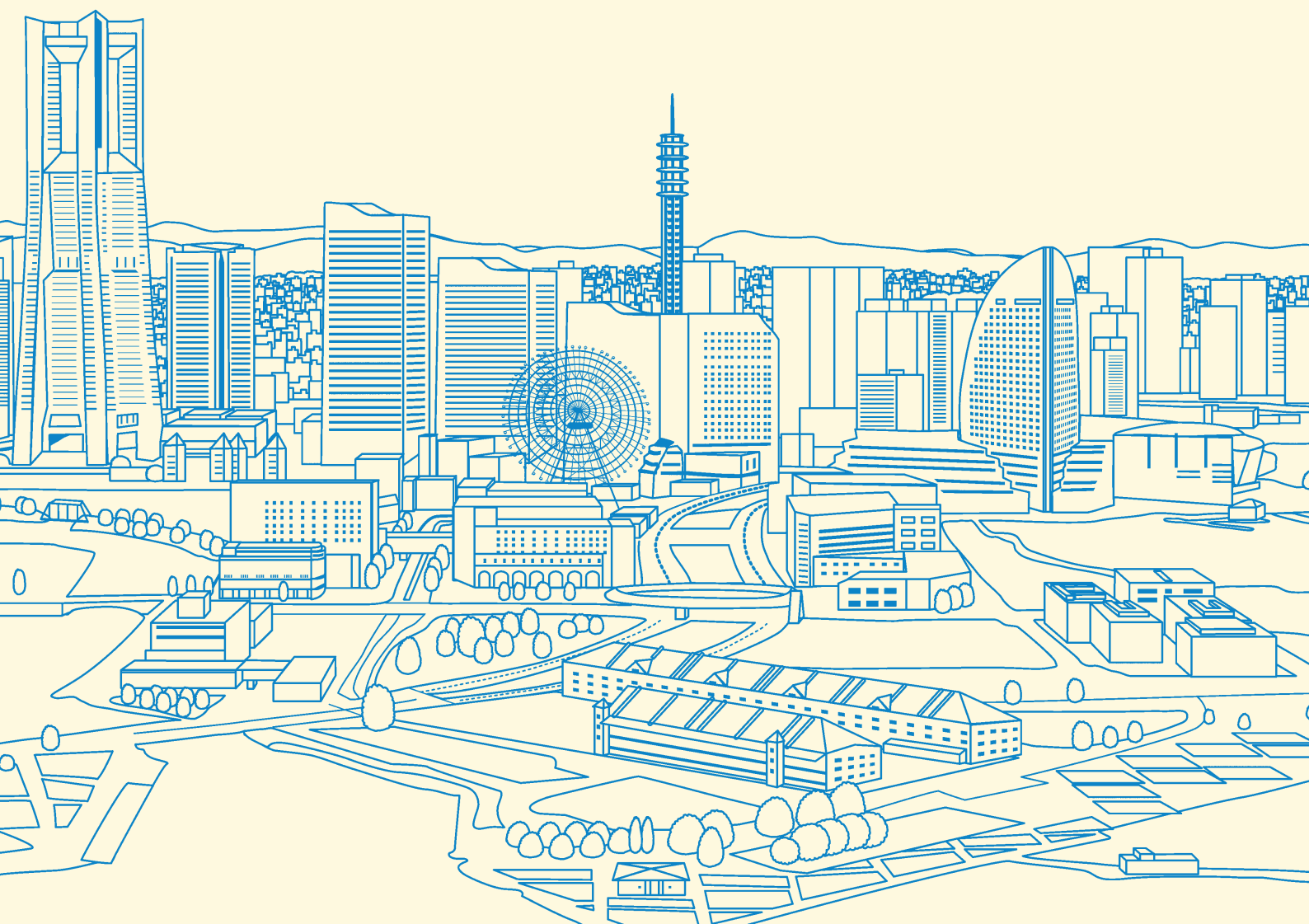


57

事業年報

令和6年度版



公益財団法人
神奈川県予防医学協会

理 念

広く社会に貢献するため
私たちは誰からも選ばれる
健康づくりのパートナーをめざします

基本方針

1. 新しい技術のもと、健康づくりのためのイノベーションを追求します
2. 安全で心地よい健康支援サービスを提供します
3. 一人ひとりの違いを大切にし、協力して成長できる職場をめざします
4. 責任ある行動を取り、環境の保全に努めます
5. 公益法人として、未来に向け発展するために健康経営を進めます

本年報は令和6年度の事業実績を掲載しています。

令和8年1月1日に新施設へ移転し、これに伴い施設名称およびロゴマークを変更しています。

目 次

協会活動この一年

令和6年度 協会の動き	5
評議員会等の記録及び役員等の異動	9
個人情報保護活動	11
全国団体への参加	13

協会に事務局を置く団体

神奈川県消化器がん検診機関 一次検診連絡協議会	15
神奈川県健康管理機関協議会	15
日本作業環境測定協会神奈川支部	15
神奈川県学校・腎疾患管理研究会	15
子宮がん車検診実施検討会	16
ピンクリボンかながわ	16
神奈川県乳がん集団検診協力医療機関連絡会	16
神奈川県乳房画像研究会 神奈川県乳房超音波画像研究会	16
禁煙・受動喫煙防止活動を推進する神奈川会議	17
神奈川県学校保健研究会	17

がん検診

解説	18,19
胃がん検診	20
大腸がん検診	22
超音波検診	24
肺がん検診	25
子宮がん検診（施設）	30
子宮がん検診（地域・車検診）	34
乳がん検診（施設）	37
乳がん検診（地域）	40
神奈川からがんをなくす会（ACクラブ）	42

一般健康診断・精密総合健診

解説	45,46
一般健康診断	47
特定健康診査・特定保健指導	55
骨粗しょう症予防検査	57
歯科健康診査	58
精密総合健診（人間ドック）	59

特殊健康診断・作業環境測定・ 環境検査

解説	64
特殊健康診断	65
作業環境調査	68
簡易専用水道検査	70

母子・学校保健

解説	71,72
新生児マススクリーニング検査	73
腎臓病検診	78
糖尿病検診	85
心臓検診	88
貧血検査	92

保健相談・メンタルヘルス

解説	93
保健相談	94
メンタルヘルス	95

健診後のフォロー・健康教育・ 受託検査

健診後のフォロー	97
健康教育	99
受託検査	101
検診・検査の種目別実施数	102

研究発表

研究発表	107
------	-----

参考資料

当協会における検査の基準範囲	111
----------------	-----

協会の沿革・役員・組織

神奈川県予防医学協会の沿革	115
神奈川県予防医学協会評議員及び役員等	117
神奈川県予防医学協会組織機構図	118
施設概要	119
有資格者数	119
主な検診・検査機器一覧	120
令和6年度 執筆者	121
令和6年度 統計表作成者	121
使用上の注意	122
あとがき	123

協会活動この一年

協会活動この一年

令和6年度 協会の動き

概 観

協会は、令和7（2025）年1月24日、前身団体である神奈川県寄生虫予防協会として寄生虫予防運動を開始してから70年を迎えました。

これまでの歴史を踏まえながら法人としての存在意義や基本的価値観を改めて検討し、新しい理念と基本方針を策定いたしました。新たな理念、基本方針に基づき、健診・検査と健康支援を中心に県民の健康の保持増進のために「誰からも選ばれる健康づくりのパートナー」をめざし、事業の推進に努めてまいります。

新たに掲げた理念、基本方針に基づき抽出した課題は、「信頼」、「サービス」、「経営基盤の強化」です。

「信頼」においては、健診の質の向上を目指し、精度管理委員会の立上げの準備に入り、また、脱炭素、SDGsにも取り組みました。

「サービス」においては、化学物質の自律的な管理に関連する新しいサービスの開発を進めました。

「経営基盤の強化」においては、IT戦略の実践に取り組み、新しいサービスの創造に努めるとともに、新たな顧客の獲得を目指しました。

令和6（2024）年度の事業については、母子保健分野では、新生児マススクリーニング検査において、10月より国の実証事業に検体検査機関として参加し、2万件を超える検査を実施いたしました。産業保健分野では、事業収入の拡大に向け既存顧客の安定確保、新規団体の獲得に向けた取組みを進め、施設健診を中心に新規団体を獲得しましたが、入札等による欠落もありました。

物価や人件費の上昇、人材確保に係る経費の増加を受け、一部の健康診断・検査事業において料金を改定するとともに経費節減に取り組みましたが、新施設への移転準備に係る費用などを賄うには至らず、

年初の目標を達成することができませんでした。

法人事務局と中央診療所のみなとみらい地区への移転計画につきましては、新しい施設が、受診者・利用者にとって利便性・快適性が高く、魅力ある「選ばれる・選ばれ続ける」施設になるよう、検討を重ね準備を進めてまいりました。併せて、より多くの受診者・利用者にご利用いただけるよう努めてまいります。

I. 健診・検査及び予防医療事業

予防医学活動を展開する上で、国の施策や顧客の動向を適確に捉え、協会事業に反映させ、企画提案を基本とした渉外活動を推進いたしました。

1. 地域保健分野

がんを知り、がんを予防することを中心に国の第4期がん対策推進基本計画、神奈川県のがん対策推進計画に基づき、がん対策に協力いたしました。また、令和6（2024）年度からの第4期特定健康診査・特定保健指導の対応をいたしました。

2. 産業保健分野

大手・中規模団体の獲得を目指し、渉外活動を推進いたしました。

産業医科大学との連携により、職場環境において、血中マンガン濃度の測定による暴露状況の調査を図り、一定の成果が得られました。

3. 学校保健分野

腎臓病検査に新たな検査方法（一次検査における尿中蛋白／クレアチニン比の実施）を導入し、併せて学校検尿用の新システムの運用を開始いたしました。

行政、医師会、養護教諭部会、大学病院などの関係機関・団体で構成される各種の検診システムに参画し運営の充実に協力いたしました。

4. 母子保健分野

神奈川県及び三政令市と連携し、令和6（2024）年10月より、国が実施している実証事業に参画し、検体検査機関として事業の実施に協力いたしました。

5. 環境保健分野

労働安全衛生法の改正に伴う企業における第3管理区分の作業場に対する改善要望に対して支援を行いました。

簡易専用水道検査では、顧客満足度の高いサービスや信頼される検査を通じて、地域の安心・安全な飲料水の確保に努めました。

II. 事業計画

各部署が専門性を活かし創意工夫により新たな取り組みを進め、協会事業の発展を目指しました。

1. 健診等事業拡大に向けての対応

LINKAI横浜金沢地区をモデルとして中小企業に対し、セミナーの開催や健康イベントへの参加など総合健康支援サービスの提供を推進いたしました。

高齢労働者を含むシニア層に対するアクティブ・エイジング事業の充実・拡大を進めました。

2. 中央診療所機能の有効活用

Web予約システムを改修し、新規受診者の獲得、継続受診者の増加に努めました。新オプションの導入や新たなコースの導入を行い、多様化する受診者のライフスタイルにあわせた健康管理に努めました。

3. 効率的な実施体制の確立

業務効率化や受診者の利便性向上を目指し、Web問診によるペーパーレス化、Web予約の拡充、RPAやクラウドサービス等の導入を進めました。新施設移転を契機に経営基盤の更なる強化を支える仕組みづくりにも取り組みました。

4. がん対策の推進、普及啓発活動

10月に県内各市町村の保健衛生担当者を対象に「女性の健康とがん検診」をテーマに予防医学実務

研修会を実施いたしました。

また、行政、企業と連携し、ピンクリボン活動を展開いたしました。

5. 広報活動の充実

戦略に基づく広報を目指し、広く知見を集めそれに基づき推進いたしました。

また、新施設移転を見据え、1月からX、Instagramを開始し、ホームページ改修のための準備を進めました。

III. 運営管理計画

新たな理念を、職員一人一人が理解し、公益法人としての社会的責務、使命を果たすことを第一に事業を推進いたしました。

1. 人材の確保・育成

人的資産＝人材の育成は協会のサービスの質に直結する最重要課題と捉え、階層別研修を継続的にを行い、特に評価者としての管理職研修に力を入れました。

人事評価制度のトライアルを開始し、コミュニケーションツールとして活用することによって、職員のモチベーションアップにつながる運用を模索しました。

2. 効率的な実施体制の確立

社会構造、労働環境の変化により求められる対応を進め、さらにバックオフィスのIT化を推進して人的業務の削減によるミスの削減や、人材の効率的配置に取り組みました。

3. 機器及び施設の整備

費用対効果を意識した調達計画により、導入時期の見極め、価格交渉、サービス交渉を行いながら機器を配置いたしました。新施設についても、今後の事業展開に適切なあり方を見極めながら情報収集を行い、検討を継続いたしました。

4. 品質保証と信頼性の向上

ミス発生防止対策として運用している内部監査システム及びヒヤリハット報告活動を通じて、ミスの発生を未然に防ぐという意識を全職員に浸透させる

取組みを継続いたしました。

IV. 健診等実施計画

安全・安心な受診者サービスの向上につながる健診スタイルの構築を推進し、選ばれる総合健康支援機関を目指しました。

1. 受診者サービスの向上

受診者のお気持ちに添った、快適な受診環境の提供と、健康診断から事後フォローまでトータルな健康支援を行いました。また、女性のための充実したコースを新設し、設備とサービス面から女性の健康支援体制を整備いたしました。

2. 信頼性の高い健診実施体制の確立

新規項目として、LOX-Indexの導入や胃がんABC検診の医学的解説など、リスクに応じて選びやすい健康支援の強化を図りました。また、Web問診や巡回オンライン健診の導入準備による、新たなサービスの充実を目指しました。

3. 質の高い結果報告の提供

二次元バーコードを活用し充実した情報を提供するとともに、顧客ニーズに適応した報告書及びRPAを活用し正確で質の高い報告書の提供の取組みを進めました。令和7年度に向けペーパーレス化を継続検討いたします。

4. 新たな健診スタイルの提供

デジタル化の推進とペーパーレス化の実現に向けた新しい健診スタイルを提供する準備に取り組みました。Webサービスの活用やSNSの刷新など、顧客ニーズに合ったサービス展開や利便性向上を感じられる健診スタイルを目指しました。

V. 調査・研究の推進

日常業務の中で課題をとりあげ、健診・検査などに関する調査・研究をテーマに実施しました。令和7（2025）年度に継続検討いたします。

VI. 表彰者

（公財）予防医学事業中央会
中央会賞（小宮記念賞）

臨床検査部次長 坂牧 真盛
奨励賞 検診事務部次長 工藤 博幸
（公社）全国労働衛生団体連合会
功績賞 情報処理部部长 木村 優子

VII. 評議員会・理事会の開催

1. 評議員会

臨時評議員会（令和6年4月5日）

令和5年度事業遂行見込・収支決算見込、令和6年度事業計画書・収支予算書・資金調達及び設備投資の見込の報告、就業規則等の改正、協会の理念・基本方針の改定の報告
（定款第20条報告の省略）

定時評議員会（令和6年6月19日）

令和5年度事業報告・収支決算の承認、任期満了による理事・監事の選任、任期満了等による評議員候補者の推薦、任期満了による評議員選定委員会委員の推薦

臨時評議員会（令和6年12月23日）

新施設移転に係る事業計画、令和6年度事業遂行状況・予算執行状況の報告、組織及び業務分掌規程・組織機構図の一部改正の報告
（定款第20条決議及び報告の省略）

2. 理事会

第1回理事会（令和6年5月29日）

令和5年度事業報告・収支決算の確定、協会の理念・基本方針の改定、任期満了等による評議員候補者の推薦、任期満了による評議員選定委員会委員候補者の選定、任期満了による専門委員の推薦、新施設移転の方向性の決定、定時評議員会の招集及び提出議案の決定、臨時理事会の決議事項の決定と決議の省略の決定、臨時評議員会への報告事項の決定と報告の省略の決定の承認

臨時理事会（令和6年6月19日）

理事長・専務理事・常務理事の選定、専務理事及び常務理事が担当する業務部門の決定、事務局長の任命の承認、評議員選定委員会委員の選任
（定款第35条決議の省略）

第2回理事会（令和6年12月4日）

新施設移転に係る事業計画等の承認、令和6年度事業遂行状況・予算執行状況の確定、組織及び

業務分掌規程・組織機構図の一部改正の承認、臨時評議員会への報告事項の決定と報告の省略の決定の承認

第3回理事会（令和7年3月26日）

令和6年度事業遂行見込・収支決算見込の確定、令和7年度事業計画書・収支予算書・資金調達及び設備投資の見込の承認、新施設への移転の承認、就業規則等の改正の承認、臨時評議員会への報告事項の決定と報告の省略の決定の承認

VIII. 役員等の異動

1. 評議員

令和6年7月辞任

- 秋野奈緒子 横浜市こども青年局こども福祉保健部長
- 石川壽々子 神奈川県地域婦人団体連絡協議会会長
- 出石 珠美 横須賀市健康部保健危機管理担当課長
- 小川 登 前公益財団法人東京都予防医学協会専務理事・事務局長
- 丹野 睦 川崎市立看護大学事務局長
- 寺道 由晃 元神奈川県小児科医会会長
- 長岡 正 神奈川県保健福祉事務所等所長会会長
神奈川県厚木保健福祉事務所長
- 野末 悦子 特定非営利活動法人乳房研究会副理事長

令和6年7月就任

- 阿南 英明 地方独立行政法人 神奈川県立病院機構理事長
- 石津雄一郎 横浜市健康福祉局健康推進部健康推進課担当課長
- 大久保久美子 神奈川県健康医療局平塚保健福祉所長
神奈川県保健福祉事務所等所長会会長
- 篠原 正泰 健康保険組合連合会神奈川連合会会長
- 杉本 茜 横須賀市民生局健康部健康管理支援課長
- 高橋 伸孝 川崎市健康福祉局健康医療政策部健

康増進担当課長

- 平本 正子 神奈川県地域婦人団体連絡協議会会長
- 前田 秀喜 公益財団法人東京都予防医学協会専務理事

2. 理事

令和6年6月辞任

- 石野 順子 協会中央診療所消化器検診部長
- 小板橋 靖 学校法人聖マリアンナ医科大学名誉教授

令和6年6月就任

- 中澤よう子 協会健康創造室長
- 中山 治彦 協会中央診療所副所長

評議員会等の記録及び役員等の異動

I. 会 議

1. 評議員会

定時評議員会（令和6年6月19日）

【決議事項】

- ・ 令和5年度事業報告、収支決算
- ・ 任期満了による理事、監事の選任
- ・ 任期満了による評議員候補者の推薦
- ・ 任期満了による評議員選定委員会委員の推薦

2. 理事会

(1) 第1回理事会（令和6年5月29日）

【決議事項】

- ・ 令和5年度事業報告、収支決算
- ・ 協会の理念、基本方針の改定
- ・ 任期満了による評議員候補者の推薦
- ・ 任期満了による評議員選定委員会委員の選定
- ・ 任期満了による専門委員の推薦
- ・ 新施設移転の方向性の決定
- ・ 定時評議員会の招集及び提出議案の決定
- ・ 臨時理事会の決議事項の決定
- ・ 臨時評議員会への報告事項

(2) 臨時理事会（令和6年6月19日）

【決議事項】

- ・ 理事長、専務理事、常務理事の選定
- ・ 専務理事及び常務理事が担当する業務部門の決定
- ・ 事務局長の任命の承認
- ・ 評議員選定委員会委員の選任

(3) 第2回理事会（令和6年12月4日）

【決議事項】

- ・ 新施設移転に係る事業計画等の承認
- ・ 令和6年度事業遂行、予算執行状況
- ・ 組織及び業務分掌規程、組織機構図の一部改正
- ・ 臨時評議員会への報告事項

(5) 第3回理事会（令和7年3月26日）

【決議事項】

- ・ 令和6年度事業遂行、収支決算見込
- ・ 令和7年度事業計画書、収支予算書、資金調達及

び設備投資見込

- ・ 新施設への移転の承認
- ・ 就業規則等の改正の承認
- ・ 臨時評議員会への報告事項

II 人 事

1. 評議員

令和6年7月 辞任

秋野奈緒子 横浜市こども青少年局こども福祉保健部長

石川壽々子 神奈川県地域婦人団体連絡協議会会長

出石 珠美 横須賀市健康部保健危機管理担当課長

小川 登 前公益財団法人東京都予防医学協会専務理事・事務局長

丹野 睦 川崎市立看護大学事務局長

寺道 由晃 元神奈川県小児科医会会長

長岡 正 神奈川県保健福祉事務所等所長会会長

神奈川県厚木保健福祉事務所長

野末 悦子 特定非営利活動法人乳房研究会副理事長

令和6年7月 就任

阿南 英明 地方独立行政法人神奈川県立病院機構理事長

石津雄一郎 横浜市健康福祉局健康推進部健康推進課担当課長

大久保久美子 神奈川県健康医療局平塚保健福祉所長

神奈川県保健福祉事務所等所長会会長

篠原 正泰 健康保険組合連合会神奈川連合会会長

杉本 茜 横須賀市民生局健康部健康管理支援課長

高橋 伸孝 川崎市健康福祉局健康医療政策部健康増進担当担当課長

平本 正子 神奈川県地域婦人団体連絡協議会会長

前田 秀喜 公益財団法人東京都予防医学協会専務理事

2. 理 事

令和6年6月 辞任

石野 順子 協会中央診療所消化器検診部長

小板橋 靖 学校法人聖マリアンナ医科大学名誉
教授

令和6年6月 就任

中澤よう子 協会健康創造室長

中山 治彦 協会中央診療所副所長

個人情報保護活動

—これまでの経緯—

協会は、個人情報取扱事業者に該当し、また業務の特性から多種多様で多量の個人情報を取扱っていることから、より適正な管理体制を整備することが社会的責務と考え、平成18(2006)年9月にプライバシーマークを取得した。

同制度は、日本工業規格の「個人情報保護に関するコンプライアンス・プログラムの要求事項」(JIS Q15001)に適応した個人情報保護体制を整備し運用することにより、個人情報の適正な管理を実施するための第三者認定制度である。

令和5(2023)年9月にJIS Q15001が「JIS Q15001:2023」へ改正された。協会の個人情報保護活動は、この改正を踏まえ、要求事項に基づいて整備されたマネジメントシステムにより運用されている。

—個人情報保護マネジメントシステム—

個人情報マネジメントシステムの確実かつ適切な運用を図るべく、上記の改正に基づき、個人情報保護規程、および安全管理に関する規則を改正し、取得、利用、教育、監査、安全管理措置等の具体的な方法を定めている。

また、推進するため管理体制として、理事長を個人情報保護管理最高責任者に、管理責任者、監査責任者、情報システム統括管理者、取扱管理者の選任と役割を定めている。

—令和6年度の個人情報保護活動—

個人情報保護活動については、残念ながらいくつかの漏えい・紛失事故があったため、再教育、手順の見直し、ヒヤリハットの活用、職員個人毎の意識改革、情報共有の徹底を行い、再発防止に取り組んだ。

1. プライバシーマーク認定更新審査への対応

本年度はプライバシーマークの認定更新審査の年であり、更新審査を最重点項目として活動し、無事更新審査合格を果たした。

2. 教育・研修

(1) 全従事者教育

令和7(2025)年2月～3月に実施。

個人情報保護活動の目的の一つは「個人情報の適正管理」である。特に医療機関の場合は多種多様、かつ要配慮な個人情報を多量に扱うことから、その安全管理がより一層強く求められている。しかしながら、個人情報に係る事件・事故は、今日でも頻発し大きな社会問題になっている。このような状況に鑑み、コンサルタント監修の教材を用い個人情報保護管理の基本を学ぶための研修を実施した。また、終了後に理解度テストを実施した。

(2) 監査員研修

令和7(2025)年1月に実施。

内部監査員・自主監査担当者を対象に全員参加の集合研修として実施した。監査に必要な基本的内容の研修に、理解度テストを実施した。

3. 監査

令和7(2025)年2月～3月に実施。

自主監査チェックシート、個人情報管理台帳、個人情報リスクアセスメントシートを参考に各部署が取り扱う個人情報の運用方法について確認・監査を行った。

4. 外部委託先調査

令和6(2024)年7月に調査を実施。

対象先 28社

5. 会議

個人情報保護管理委員会 2回

PMS活動推進検討会 2回 開催。

個人情報保護方針

公益財団法人神奈川県予防医学協会は、個人情報を取り扱う重要性を認識し、個人情報の適正な取り扱い及び保護管理することを社会的責務と考えます。また、高度な情報通信技術を駆使した個人情報の利用の拡大には、より高度なリスク管理を徹底する必要があります。これらのことに鑑み、個人情報保護に関する方針を以下のとおり定め、協会従事者に周知徹底を図り、かつ個人情報保護方針を遵守し、個人情報を保護いたします。

1. 協会は、個人情報に関する個人の権利を尊重し、個人情報を保護・管理する体制の確立と適切な取得・利用・提供を行うこと及び目的外利用を行わないことを内部規程に定め、これを遵守します。
2. 協会は、個人情報の保護に関する法律、行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律、その他関係法令、国が定めるガイドラインその他の指針及び規範を遵守します。
3. 協会は、個人情報の安全性及び正確性を確保するため、個人情報への不正アクセス・紛失・破壊・改ざん及び漏洩等が発生しないように合理的で適正な安全管理を整備し、維持します。
そのため安全管理に関する規程類の整備、設備投資及びシステム改善を行います。
4. 協会は、個人情報保護・管理体制を適切に維持するために、「JISQ15001」に準拠して定めた個人情報保護マネジメントシステムを随時見直し、継続的改善を図ります。
5. 協会は、個人情報保護の重要性及び適正な取り扱いについて従事者に教育を実施するとともに、個人情報保護に関する監査を継続的に実施することにより、個人情報保護マネジメントシステムの継続・維持を図ります。
6. 協会は、業務の一部を外部に委託する場合があります。
このような場合において、協会は信頼の置ける委託先を選択するとともに、個人情報が、適切に扱われるように個人情報保護に関する契約書を取りかわして必要かつ適切な監督を行います。
7. 協会は、ご本人様の要求に応じて、個人情報を開示いたします。

制定年月日：平成18年9月6日
最終改訂年月日：令和2年7月29日
公益財団法人 神奈川県予防医学協会
理事長 根本克幸

協会の個人情報保護に関する苦情・相談窓口は下記の通りです。

公益財団法人 神奈川県予防医学協会 総務部 総務課

TEL：045-641-8501

E-mail：soumu@yobouigaku-kanagawa.or.jp

全国団体への参加

全国労働衛生団体連合会

公益社団法人全国労働衛生団体連合会は、主に職域の健康診断を実施する労働衛生機関が相携えて、健診技術や保健指導技術等の向上を図り、勤労者及び家族の健康の保持・増進、国民保健の向上発展に寄与することを目的に昭和44年10月に設立された。

当協会からは根本克幸理事長をはじめ、多くの職員が各委員会の委員として、運営・技術両面にわたって参画している。

令和6年度末の会員数は、支部を含め176機関で、次の事項を重点に事業を実施した。

1. 調査研究・広報事業

- (1) ストレスチェック結果の集計・分析を行い、報告書を取りまとめて公表した
- (2) 健康診断標準フォーマットの普及に努めた
- (3) 医療DXへの施策に対し会員機関の実情等を踏まえ、厚生労働省関係部局と意見交換等を行った
- (4) 会員機関の健診事業等の実勢を把握し報告書としてとりまとめ、概要をホームページで公表した
- (5) 新型コロナウイルス感染症等への対応
- (6) 化学物質の自律的な管理におけるリスクアセスメント対象物健康診断の実施
- (7) 「労働安全衛生法に基づく一般健康診断の検査項目等に関する検討会」への参画
- (8) 保健師・看護師に対する産業保健に関する研修に係る検討会での検討
- (9) 一般健康診断の経年動向に関する調査
- (10) その他厚生労働省が行う調査研究等への参加

2. 評価・認定事業

- (1) 労働衛生サービス機能評価認定施設
 - ・会員113 非会員23 計136
- (2) 総合精度管理調査
 - ・それぞれの検査に関する専門委員会のもと、精度管理調査を適切に実施した

3. 教育・研修事業

- (1) 教育・研修実施状況
 - ・26コース 1,642名
 - (対面、オンライン、ハイブリッドの3通りの方法で実施)

4. 相談事業・助言

- (1) 厚生労働省より「個人ばく露測定定着促進補助金事業」の補助事業者に選定され、中小企業事業者からの申請内容を審査し、18事業所に対して補助金を交付した

5. 共益事業

- (1) 一般健診結果データの保険者への提供
- (2) 特定健康診査、ワクチン接種に係わる集合契約等
- (3) 全衛連ストレスチェックサービス事業

6. 会務運営

- (1) 総会、理事会、経営企画委員会、広報委員会、事業推進委員会、地方協議会、運営研究協議会を開催し、会員専用ページを活用した情報提供を行った

業務部 雨宮 徹

予防医学事業中央会

令和6年度は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けずに、当初計画どおりすべての事業が順調に実施された。

令和5年度に改定した小児生活習慣病の啓発パンフレットの委託発行化、予防医学技術研究会では抄録の電子化、実施ガイドラインによる大会研修会開催標準化など新たな取り組みを通じて、国民の健康増進と支部の活動支援に努めた。

また、令和6年3月の公益変更認定により、事務局は新たな体制による最初の年度となった。新会費規定による会費の適正化、検診車整備推進事業（宝くじ助成事業）の実施標準化、就業規則等諸規程制定による組織秩序整備等を行い、内閣府認定等委員会の指摘によるガバナンス改善向上に努めた。

1. 予防医学に関する広報活動、健康に関する知識の普及・啓発事業

- (1) 出版物の発行、配付活動
- (2) ホームページによる情報提供活動

2. 健診に関する調査研究事業

- (1) 国民の健康啓発のための講演会及び研究会等の開催
 - ① 予防医学事業推進全国大会（第69回）
令和6年11月22日 長崎県
 - ② 予防医学事業推進各地区会議
全国5地区
 - ③ 全国予防医学技術研究会（第58回）
令和7年2月20・21日 京都府
- (2) 生活習慣病予防についての調査研究
 - ① 健診検査精度管理の調査研究
 - ② 学会や関係機関との調査研究

3. 健診の実施体制と精度管理の維持向上の支援事業

- (1) 研修事業
 - ① 全国業務研修会
令和7年2月27日・28日 福井県
 - ② 全国情報統計研修会
令和6年8月22日・23日 広島県
 - ③ 保健指導研修会
令和7年3月5・6日 東京都
- (2) 健診検査データの精度管理事業
- (3) 検診車整備推進事業（宝くじ助成事業）
2支部に検診車を配備
- (4) 新しい小児生活習慣病健診に関する説明会の実施

4. 法人運営

- (1) 全国運営会議
令和6年7月18日 東京都
令和6年11月21日 長崎県
- (2) 技術運営会議
令和6年2月19日 京都府

業務部 雨宮 徹

日本作業環境測定協会

公益社団法人日本作業環境測定協会は、作業環境測定法第36条の規定に基づく作業環境測定義務の進歩改善のための法人として昭和54(1979)年9月に発足。現在の会員数は自社測定事業場34、測定機関455、測定士307の合計796である。全国に支部が13設置され、地域に根ざした活動を展開している。当協会は神奈川支部の事務局を引き受けている。令和6(2024)年度に実施した主な事業は次のとおりである。

1. 各種講習会の実施

作業環境測定士登録講習、認定オキュペイショナルハイジニスト養成講座、化学物質管理専門家養成講習、作業環境測定士ブラッシュアップ講習などを実施した。

2. 情報の収集と提供

機関誌「作業環境」を年8冊及び関係図書14冊を出版し、測定士に必要な情報を的確かつ迅速に提供した。

3. 作業環境測定評価推進運動の実施

6～8月を準備月間、9月を本期間として第38回作業環境測定評価推進運動を全国的に展開した。

4. 作業環境測定協会学術大会を開催

第45回作業環境測定協会学術大会を北九州市で開催した

5. 総合精度管理事業の実施

測定機関などの測定精度向上を目的とした総合精度管理事業の一環として、デザイン及びサンプリング、粉じん、有機溶剤、特定化学物質、金属等のクロスチェックなどを実施した。

事務局 芦田 敏文

協会に事務局を置く団体

神奈川県消化器がん検診機関一次検診連絡協議会	
設立年月日	昭和57（1982）年2月
代 表	副会長：玉井拙夫 （公益財団法人神奈川県予防医学協会）
会 員 数	会員機関10＋相談機関2（2025年7月現在）
設立の主旨	
県内における老人保健法（昭和57年度～平成19年度）および健康増進法（平成20年度～）に基づく消化器がんの住民検診を行う一次検診実施機関の精度管理の向上、行政、学会、医師会をはじめとする関係機関との連携協力を図り、共通の諸問題の研究、技術の向上を目指して討議を行い、消化器がん検診の充実、発展を図る	
本年度の主な活動	
1. 協議会の開催 第92回協議会 令和6年8月26日 2. 幹事会の開催 第110回幹事会 令和6年7月30日 3. 研修会等 Web研修会（評価基準に基づく基礎的撮影手技） 令和6年4月15日 第83回日本消化器がん検診学会関東甲信越地方会 一般演題報告 令和6年9月15日 4. 技術部会 第1回 令和6年5月20日 第2回 令和6年8月21日 第3回 令和6年11月20日 第4回 令和7年2月28日	
事務局担当	佐藤光宣（業務部）

神奈川県健康管理機関協議会	
設立年月日	昭和56（1981）年
代 表	代表幹事：（公財）神奈川県予防医学協会
会 員 数	13機関（2025年3月31日現在）
設立の主旨	
県内において企業等の健康管理支援業務を行う企業外健康管理機関が、より質の高いサービスを提供するため、健康管理全般に関する支援として、精度の向上、適正な事業の運営等、共通の諸問題を協議検討すると共に労働衛生行政へも積極的に協力していくことを目的として設立	
本年度の主な活動	
◆第1回協議会（令和6年9月26日） 1. 神奈川県労働局からの連絡事項 2. 講 演 テーマ：『労働安全衛生法に基づく一般健康診断の検査項目等に関する検討会の動向について』 講 師：公益社団法人 全国労働衛生団体連合会 専務理事 亀澤典子氏 3. 情報交換会－各機関の近況と問題点－ ①事務職員、健診スタッフの確保について システム担当、検診車のドライバー 他 ②カスタマーハラスメントへの対応について ◆第2回協議会（令和7年3月28日） 1. 神奈川県労働局からの連絡事項 2. 講 演 テーマ：『協会けんぽにおける「令和6年度の取組み状況及び令和7年度の取組予定」／「保健事業の一層の推進（健診体系の見直し）」について』 講 師：全国健康保険協会 神奈川県支部 企画総務部 保健グループ グループ長補佐 吉永志野氏 3. 情報交換会－各機関の近況と問題点－ ①協会けんぽ事業への要望事項と事業拡大に向けた取組みについて	
事務局担当	雨宮 徹（業務部）

（公社）日本作業環境測定協会神奈川支部	
設立年月日	昭和56（1981）年7月
代 表	支部長：太田 聡 （公益財団法人神奈川県予防医学協会）
会 員 数	31機関（2025年3月現在）
設立の主旨	
作業環境測定士の資質向上と測定技術の精度向上、測定機関の業務改善などを目的として設立	
本年度の主な活動	
◆会議 ①総会1回 ②理事会2回 ③技術専門委員会4回 ④機関会員全体集会1回 ◆通常総会（令和6年6月10日） ①令和5年度事業報告 ②令和5年度収支決算報告 ③令和6年度事業計画 ④令和6年度収支予算 ⑤令和6・7年度役員改正 ◆作業環境測定評価推進大会（令和6年9月9日） ①最近の労働衛生行政の動向 （神奈川県労働局健康課長 畑野俊氏） ②呼吸用保護具と保護手袋の性能と最適な選定方法 （重松製作所 安藤真理氏） ◆第1回技術研修会（令和6年6月10日） 健康診断の今昔 （全衛連会長・北里大学名誉教授 相澤好治氏） ◆第2回技術研修会（令和7年2月17日） ①最近の化学物質管理に関する法改正について （神奈川県労働局労働衛生専門官 林太郎氏） ②作業環境管理専門家として第三管理区分での意見書を作成する上での留意点 （中央労働災害防止協会 山室堅治氏）	
事務局担当	芦田敏文（環境科学部）

神奈川県学校・腎疾患管理研究会	
設立年月日	昭和50（1975）年
代 表	会長：新村文男先生 （東海大学医学部付属八王子病院 小児科臨床教授）
会 員 数	約90人（2024年4月現在）
設立の主旨	
各地区医師会・自治体・大学医学部・病院・学校・検診機関が相互に連携し腎疾患対策を行い児童・生徒の健康に寄与すべく事業を展開	
本年度の主な活動	
◆学校現場との連携事業 ◆神奈川県学校検尿判定委員会合同会議 ◆医師部会 ◆定例研究会 ◆機関誌 現在活動休止中。	
事務局担当	佐藤光宣（業務部）

子宮がん車検診実施検討会	
設立年月日	昭和46（1971）年
代 表	世話人：上坊敏子先生 （相模野病院婦人科腫瘍センター顧問）
会 員 数	構成医療機関等 ○協力医療機関 北里大学・東海大学・横浜市立大学・聖マリアンナ医科大学・日本医科大学の産婦人科 ○神奈川県立がんセンターの婦人科腫瘍専門医 ○協会細胞診専門医
設立の主旨	子宮がん死亡率低下のため県が実施の検診事業に協会が協力。昭和58年老人保健法施行により実施主体が市町村へ移行された。協会は、国・県・市町村および学会・医師会との連携を持ち検査精度の向上・受診率の向上等を目的として検討会を継承し、運営をしている。
本年度の主な活動	◆年1回検討・報告会 2024年12月13日 7階役員室（Web会議） ◆検討・報告内容 車検診の集積データを検証し、発見症例の再検討などを実施して、精度の維持向上に役立っている。
事務局担当	佐藤光宣（業務部）

ピンクリボンかながわ	
設立年月日	平成18（2006）年10月19日
代 表	代表：土井卓子（湘南記念病院 乳がんセンター長）
会 員 数	協力団体40団体（2025年7月現在）
設立の主旨	乳がんの早期発見・早期治療をめざして、乳がん検診の受診率向上と乳がんについての知識の普及・啓発を目的として設立
本年度の主な活動	◆県内での活動 本年度は社会活動の活発化によりイベント開催が一層多くなり、年間を通じ18回のブース活動を行った。 ピンクリボンライトアップは近隣東京の施設も加わり7エリア、ライトアップスポットはさらに増えて71ヶ所にて10/1～10/31に実施した。周知の重要なツールとなるポスター・リーフレットのデザインは今年も専門学校プロジェクトチームに依頼、事前告知イベントを駅頭で行うなど学生達との啓発活動が一層深まった。若い世代にも「ピンクリボン」の意味を知って貰う為のフォトコンテストを今年も継続、昨年より2倍強の404作品もの応募があった。主催イベントとして「ピンクリボンかながわ in 鎌倉女子大学」を11月に開催、「健やかな未来に向けて今、私たちが出来る事 part2」としてディスカッションを行い、さらに「ピンクリボンかながわ2024交流フェスタ」を2025年1月に横浜市開港記念会館にて開催、フォトコンテスト表彰式や「乳がんへの向き合い方」をテーマにしたトークショー、高校吹奏楽部演奏を交えた交流ライブおよび啓発協力団体によるブース展示等約300名の参加者とともに交流を深めるイベントとなった。 ◆協働事業 引き続き、企業・団体との協働事業を継続するとともに専門学校生、大学とのコラボ企画に参加、SNS発信に取り組んだ。特に岩崎学園、湘南モノレール、ピンクリボンかながわの三者協定では、定期的に協議会を行い、情報発信のさらなる具体化に取り組んだ。
事務局担当	齋藤好子（健康創造部）

神奈川県乳がん集団検診協力医療機関連絡会	
設立年月日	昭和60（1985）年
代 表	会長：福田 譲（聖マリ大 B&Iセンター院長）
会 員 数	○乳がん検診（視触診・読影）協力医療機関 視・触診協力機関 12機関 読影協力機関 8機関 横浜市立大学附属病院・聖マリアンナ医科大学病院・藤沢湘南台病院・茅ヶ崎市立病院・平塚共済病院・小田原市立病院・山近記念総合病院・東海大学病院・伊勢原協同病院・平塚市民病院・湘南記念病院・東名厚木病院・神奈川県立足柄上病院・森下記念病院・西鶴間メディカルクリニック・聖マリアンナ医科大学附属研究所B&Iセンター（2024年7月現在）
設立の主旨	乳がん死亡率低下のため県実施の検診事業に協会が協力。老人保健法施行により実施主体が市町村へ移行された。協会は、国・県・市町村および学会・医師会との連携を持ち検査精度の向上・受診率の向上等を目的として神奈川県乳がん集団検診協議会を継承し、運営をしている。MMG運営委員会：上記連絡会の下部組織として、マンモグラフィ読影精度管理を目的として設立。
本年度の主な活動	1. 連絡会・MMG運営委員会 合同開催 3/7（Web会議） 2. 症例検討会 第1回：7/19 7機関9名（Web会議） 第2回：11/8 8機関9名（Web会議） 3. 学会発表 第34回日本乳癌検診学会（11/29-30 群馬県高崎市） 平塚共済病院 谷 和行先生
事務局担当	山本寛典（業務部）

神奈川乳房画像研究会／神奈川乳房超音波画像研究会	
設立年月日	平成10（1998）年12月／平成18（2006）年3月
代 表	前里美和子、青柳孝行
会 員 数	24人（2025年8月現在）
設立の主旨	乳がんの早期発見・治療の為、画像診断や装置の精度向上に役立つ情報提供や普及活動
本年度の主な活動	◆世話人会 8回開催（Web会議） R6年4月25日、5月15日、7月4日、8月20日、9月30日、10月28日、12月5日 R7年1月6日 ◆研究会 2回開催（Web開催） ・第70回・47回研究会 R6年7月25日（木） 「どうするプレストトモシンセシス管理 －基礎知識と実践－」 岐阜医療科学大学 篠原範充先生 ・第71回・48回研究会 R6年1月15日（水） 「症例検討－あってよかったトモシンセシス－」 横浜栄共済病院 俵矢香苗先生 ◆他活動内容 ・神奈川県医師会主催 MMG撮影技術講習会 R7年2月8日（土）・9日（日） 横浜市開港記念会館
事務局担当	見本喜久子・関春花（放射線技術部）

禁煙・受動喫煙防止活動を推進する神奈川会議	
設立年月日	平成11（1999）年11月5日
代 表	会長：加濃正人
会 員 数	個人会員122人、法人会員9法人 (2025年6月現在)
設立の主旨 県内の禁煙・受動喫煙防止の普及啓発活動の目的で設立	
本年度の主な活動	
<ul style="list-style-type: none"> ◆総会・講演会 6月（於：横浜市開港記念会館） ◆常任理事会 1回（Web会議） ◆理事会 2回（Web会議） ◆会員による講演会、セミナー 33回 対象者3,019人 （オンライン開催にて数の未把握あり） ◆かながわ卒煙塾への協力 講師派遣 6回 ◆県内公立高校、中学校から依頼の喫煙防止教育への協力 講師派遣 4回 ◆教職員向け禁煙教育への協力 講師派遣 1回 ◆イベントへの参加 禁煙相談 1回 公衆衛生イベント 1回 ◆関連会議への協力 かながわ健康プラン21推進会議（神奈川県）、健康横浜 21推進会議（横浜市）への参加、資料提供 	
事務局担当	齋藤好子（健康創造部）

神奈川学校保健研究会	
設立年月日	昭和43（1968）年9月
代 表	会長：鈴木晴美
会 員 数	9人（2025年3月現在）
設立の主旨 県内の養護教諭ら、学校保健関係者が自主的に研修する場として設立	
本年度の主な活動	
<p>設立当初、養護教諭の研修の場がなく、当協会に事務局を設置し、研修会を実施し、有意義な活動を行っていた。しかし、現在は自治体教育委員会等の研修や情報収集の機会が充実しており、当研究会は一定の成果を収めその役割を果たしたとし、令和6年度をもって閉会した。</p>	
事務局担当	久保紀代美（健康創造部）

がん検診

■ 胃がん検診（職域・地域）

職域検診では、X線撮影と内視鏡（施設検診のみ）による胃がん検診を行っている。X線による検診は、令和6（2024）年度は42,276名（男性30,584名、女性11,692名）が受診した。当施設で二次検診として内視鏡検査を行った115名から胃がんは1例も見つからなかった。一次検診での内視鏡による検診は、2,994名（男性1,825名、女性1,169名）が受診し、胃がんが3例、食道がんが2例発見された。

地域検診では、神奈川県下11市町村より委託を受け、検診車による検診を実施した。8,277名（男性3,832名、女性4,445名）が受診し、6例（男性4例、女性2例）の胃がんを発見した。

■ 大腸がん検診（職域・地域）

大腸がん検診は免疫学的便潜血反応を用いて行っている。

職域検診では、令和6（2024）年度は78,662名（男性53,729名、女性24,933名）が受診し、要精検者数は3,614名（要精検率4.6%）であった。

地域検診では、令和6（2024）年度に検診を受託した12市町村で検診を実施した。8,981名（男性3,375名、女性5,606名）が受診し、要精検者数は529名（要精検率5.9%）で、その中から19例（男性9例、女性10例）の大腸がんを発見した。

■ 超音波検診

腹部に超音波を当て、その反響を画像化する検診であり、何回行っても身体に全く害のない検査である。令和6（2024）年度は21,211名が受診している。がん検診の対象となる臓器は肝臓、膵臓、胆のう、脾臓、腎臓、副腎等であるが、超音波検査だけでは診断が困難であり、悪性腫瘍を疑う所見を認めた場合は「要精密検査」（467名全体の2.2%）として、超音波検査専門医による超音波外来を受診していただき、専門医療機関等へ紹介させていただいている。良性腫瘍である肝血管腫、脂肪肝、無症候性の胆のう結石や胆のうポリープなど「心配なし」とされ、経過観察の必要な病変については近医に紹介する他、当院での超音波外来にて経過観察を行っている。

■ 肺がん検診（職域・地域）

胸部X線と喀痰細胞診（ハイリスク者のみ）による肺がんのスクリーニング。専門医を含む読影経験の深い医師による二重読影を行い、過去画像があればそれを参照して比較読影を行っている。

職域検診ではその結果を依頼企業に返している。コロナ禍が過ぎ、実施団体（企業等）数は減少傾向で、受診者数も同様である。要精検率は0.9%、精検受診率50%で、肺がん発見数は1名で、その発見率は0.09%であった。なお、喀痰細胞診での肺がん発見はこのところ見られていない。

住民検診は県下の7自治体（横浜市を除く）から検診の受託と二次読影を行っているが、受診団体数や受診者数は減少傾向にある。要精検率は2.9%、精検受診率68.3%で、肺がん発見数は4名で、発見率は0.14%であった。また2自治体では医師会を介しての検診（二次読影）を行っている。横浜市の肺がん検診では平成20（2008）年度の開始時から当協会が中区での二次読影の一翼を担っている。

住民検診の流れは読影結果を医療機関へフィードバックし、要精検とされた例については各医療機関で最終判定をして、受診者に結果が伝達される。関係医療機関だけでなく関係自治体・医師会の担当部署を含めて、精度管理の向上に努めている。

MD-CTはこの年度では1,991名に施行しているが、このうち人間ドックや肺検診での低線量肺がん

CT検診実施は1,060名である。CT検診は希望者を対象とし、1 mSv程度の低線量で行っており、通常施行されているCT検査の1/10程度の被ばくにとどめている。CT検診認定技師が一次チェックを行い、疑診例ではその場で薄切り撮影を追加し、その後医師2名(1名は呼吸器または放射線診断専門医)が独立して読影している(二重読影)。CT検診受診者数は前年比5.9%減であった。要精検率は3.4%、精検受診率は69.0%で、肺がん発見数は1名、がん発見率は0.09%であった。

■ 子宮がん検診（施設・地域・車検診）

施設での検診は、診察(内診を含む)・細胞診による子宮頸部および体部のスクリーニングを実施している。希望によりHPV検査を行っている。問診と内診により発見される子宮筋腫や頸管ポリープなど、一般婦人科疾患の早期発見にも努め、適切に指示している。令和6(2024)年度、検診受診者数は15,067名であり、子宮頸がん1名、子宮体がん1名を発見した。

車検診は、問診・細胞診による子宮頸部のスクリーニングを行っている。県内の5大学病院と県立がんセンターの婦人科腫瘍専門医からなる「子宮がん車検診実施検討会」を組織し、精度管理・向上に努めている。診察・細胞採取・診断は、同検討会の各大学病院婦人科医師が担当している。

令和6(2024)年度、検診を受託した自治体は16市町村で12,491名が受診し、子宮頸がん2名が発見され、子宮体がんは1名であった。コロナが少しづつ落ち着きを取り戻し、施設、地域、車検診ともに受診者が回復傾向にある。

■ 乳がん検診（施設・地域）

施設での検診は年齢に応じてマンモグラフィ・乳腺超音波検査のいずれかあるいは両方を実施し、希望者には視触診を行っている。受診者には視触診の段階で中間がん(*)を意識した自己触診の指導にも努めている。また当協会では一次検診での要精検者に対し総合的な二次検診まで実施している。二次検診では治療機関への紹介の必要性を検討し、病院受診が不要な受診者に対しては協会での経過観察も行っている。これにより病院への不要な受診によって被る負担を軽減するとともに、治療機関における初診外来の混雑緩和にもつながることを期待している。令和6(2024)年度は17,117名が受診し37例のがんを発見している。

検診車による地域での検診は、国の基準に準拠しマンモグラフィ検診を実施。読影は『神奈川県乳がん集団検診協力医療機関連絡会』の指導に基づき、検診マンモグラフィ読影認定医師が実施して令和6(2024)年度、検診を受託した自治体は16市町村で、10,446名が受診し44例のがんを発見した。

また平成18年(2006)年度より、“ピンクリボンかながわ”事務局としてNPO法人乳房健康研究会と共に、乳がんの早期発見・早期治療を目指し、乳がん検診受診率向上に努めている。

令和5(2023)年2月から施設検診にて3Dマンモグラフィ(トモシンセシス)検査を開始した。従来のマンモグラフィは、1回の圧迫で1方向から撮影し乳房全体を2次元的に表示している。3Dマンモグラフィは、1回の圧迫で角度を変えながら乳房をより多方向より撮影する、収集した画像データを3次元的に再構築し、複数枚の断層画像を得る方法です。従来のマンモグラフィに比べ、薄くスライスした画像になるため、病変が検出されやすくなると期待されている。また、この検査は、一般健診、人間ドックのオプション検査項目として実施している。

※がん検診で推奨される受診間隔の間に発見されるがん

■ 神奈川からがんをなくす会・ACクラブ

会員制のがん検診組織。ACとはAntiCancerの略。「神奈川から肺と胃のがんをなくす会」を前身として昭和51(1976)年に発足した。消化器(胃・大腸)がん・肺がん・乳がん・子宮がんの早期発見・治療を目指し、経年変化を追ったきめ細かい対応を行っている。

胃 がん 検 診

表1 年度別X線検査性別受診者数

区 分	総 数		職 域		地 域	
	計	男 女	計	男 女	計	男 女
2024年度	50 553	34 416 16 137	42 276	30 584 11 692	8 277	3 832 4 445
2023年度	51 410	35 263 16 147	42 749	31 331 11 418	8 661	3 932 4 729
2022年度	53 014	35 800 17 214	44 147	31 768 12 379	8 867	4 032 4 835

表2 プロセス評価 (要精検率・精検受診率・がん発見率)

	職 域 (間接Aグループ)	地 域
受 診 者 数 N	4 804	8 277
要 精 検 者 数 X	85	480
要 精 検 率 X/N(%)	1.8	5.8
精 検 受 診 者 数 Y	41	329
精 検 受 診 率 Y/X(%)	48.2	68.5
が ん 発 見 数 Z	0	6
が ん 発 見 率 Z/N(%)	0.00	0.07
陽性反応的中度 Z/X(%)	0.00	1.25

職 域

表3 職域検診から発見された疾患

区 分	受 診 者 数	要 精 検 者		精 検 受 診 者		確 定 診 断																			
		数	%	数	%	胃 が ん	胃 腺 腫	胃 ポ リ プ	胃 潰 瘍	胃 潰 瘍 癒 痕	十 二 指 腸 潰 瘍	十 二 指 腸 潰 瘍 癒 痕	胃 ・ 十 二 指 腸 ポ リ プ	胃 ・ 十 二 指 腸 潰 瘍	胃 ・ 十 二 指 腸 潰 瘍 癒 痕	胃 粘 膜 下 腫 瘍	そ の 他 の 胃 の 疾 患	そ の 他 の 十 二 指 腸 の 疾 患	食 道 が ん	食 道 裂 孔 ヘ ル ニ ア	逆 流 性 食 道 炎	そ の 他 の 食 道 の 疾 患	異 常 な し		
間 接	A グ ル ー プ	男 3 410	65 1.9	31 47.7	-	-	6 1	1 1	1 1	1 2	-	-	-	3 3	27 4	-	5 8	1 1	2 2						
	女 1 394	20 1.4	10 50.0	-	-	3 -	-	-	-	-	-	-	-	1 1	6 -	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計 4 804	85 1.8	41 48.2	-	-	9 -	1 -	2 -	4 9.8	33 4	4 80.5	4 9.8	-	9.8	33 9.8	4 12.2	5 19.5	8 2.4	1 7.3						
間 接	B グ ル ー プ	男 22 515	621 2.8	12 1.9	-	-	-	1 1	1 1	1 1	-	-	-	-	5 -	-	-	-	-	5 5	-	-	-	-	5 5
	女 7 021	159 2.3	9 5.7	-	-	2 -	1 -	-	-	-	-	-	-	1 1	5 -	-	1 -	-	-	-	-	-	-	-	3 3
	計 29 536	780 2.6	21 2.7	-	-	2 -	2 1	1 1	1 4.8	1 4.8	-	-	-	4.8	10 47.6	-	1 4.8	-	-	-	-	-	-	-	8 38.1
直 接	A グ ル ー プ	男 988	29 2.9	20 69.0	-	-	6 -	3 -	-	2 -	-	-	-	-	16 1	-	2 -	1 -	-	3 3	-	-	-	-	3 3
	女 458	6 1.3	5 83.3	-	-	-	-	-	-	1 -	-	-	-	5 -	-	-	1 -	1 -	-	-	-	-	-	-	-
	計 1 446	35 2.4	25 71.4	-	-	6 -	3 -	-	3 12.0	3 12.0	-	-	-	21 4.0	1 4.0	-	3 12.0	2 8.0	-	-	-	-	-	-	12.0
直 接	B グ ル ー プ	男 1 846	98 5.3	15 15.3	-	-	4 -	1 -	-	-	-	-	-	1 1	14 -	-	3 4	4 -	-	1 1	-	-	-	-	1 1
	女 1 650	54 3.3	13 24.1	-	-	3 -	1 -	-	1 -	-	-	-	-	12 -	-	-	1 -	-	-	-	-	-	-	-	-
	計 3 496	152 4.3	28 18.4	-	-	7 -	2 -	-	2 25.0	2 7.1	-	-	-	26 92.9	-	-	4 14.3	4 14.3	-	-	-	-	-	-	1 3.6
内 視 鏡	男	1 825	(87 4.8%)		2	-	717	2 27	2 2	53	-	-	-	47 2.9	976 51.0	60 2.4	2 0.1	590 27.9	496 21.3	109 5.0	225 12.2				
	女	1 169	(49 4.2%)		1	-	607	1 11	-	13	-	-	-	40 2.9	550 25.0	13 0.5	-	245 11.3	141 6.3	41 1.9	141 6.3				
	計	2 994	(136 4.5%)		3	-	1 324	3 38	2 0.1	66 2.2	-	-	-	87 2.9	1 526 51.0	73 2.4	2 0.1	835 27.9	637 21.3	150 5.0	366 12.2				

1) Aグループ：予防医学協会ですべてが一次検診から精検まで受診した団体群
 2) Bグループ：予防医学協会ですべてが一次スクリーニングのみを受診した団体群
 3) 内視鏡：一次検診として内視鏡検査を実施した群

地 域

表4 地域検診の市町村別受診者数及び精検結果

区 分	受診者数	要精検者		精検受診者		確 定 診 断								
		数	%	数	%	胃がん	胃ポリープ及び胃ポリーポジス	胃潰瘍及びその癒痕	十二指腸潰瘍及びその癒痕	胃・十二指腸潰瘍及びその癒痕	その他の悪性腫瘍	その他の疾患	異常なし	
総 数	男 3 832 女 4 445 計 8 277	294 186 480	7.7 4.2 5.8	187 142 329	63.6 76.3 68.5	4 2 6	21 18 39	7 2 9	0 1 1	0 1 1	0 0 0	53 52 105	102 66 168	
平塚市	男 1 199 女 1 342 計 2 541	87 49 136	7.3 3.7 5.4	53 36 89	60.9 73.5 65.4	1 - 1	6 5 11	2 - 2	- 1 1	- 1 1	- - -	19 17 36	25 12 37	
茅ヶ崎市	男 334 女 536 計 870	20 13 33	6.0 2.4 3.8	14 10 24	70.0 76.9 72.7	1 1 2	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	5 4 9	8 5 13	
相模原市	男 11 女 38 計 49	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	
厚木市	男 1 149 女 1 269 計 2 418	89 67 156	7.7 5.3 6.5	43 47 90	48.3 70.1 57.7	- 1 1	8 6 14	2 1 3	- - -	- - -	- - -	12 17 29	21 22 43	
海老名市	男 113 女 187 計 300	9 2 11	8.0 1.1 3.7	8 2 10	88.9 100.0 90.9	- - -	2 - 2	- - -	- - -	- - -	- - -	2 - 2	4 2 6	
大磯町	男 229 女 209 計 438	10 2 12	4.4 1.0 2.7	8 2 10	80.0 100.0 83.3	1 - 1	- - -	1 - 1	- - -	- - -	- - -	1 1 2	5 1 6	
二宮町	男 96 女 102 計 198	8 4 12	8.3 3.9 6.1	8 2 10	100.0 50.0 83.3	- - -	1 - 1	- - -	- - -	- - -	- - -	2 - 2	5 2 7	
中井町	男 138 女 134 計 272	15 4 19	10.9 3.0 7.0	7 4 11	46.7 100.0 57.9	- - -	- 1 1	- 1 1	- - -	- - -	- - -	2 - 2	5 2 7	
大井町	男 78 女 152 計 230	5 9 14	6.4 5.9 6.1	5 9 14	100.0 100.0 100.0	- - -	1 1 2	- - -	- - -	- - -	- - -	- 3 3	4 5 9	
真鶴町	男 47 女 46 計 93	6 2 8	12.8 4.3 8.6	6 2 8	100.0 100.0 100.0	- - -	1 - 1	- - -	- - -	- - -	- - -	3 1 4	2 1 3	
愛川町	男 438 女 430 計 868	45 34 79	10.3 7.9 9.1	35 28 63	77.8 82.4 79.7	1 - 1	2 5 7	2 - 2	- - -	- - -	- - -	7 9 16	23 14 37	

大腸がん検診

表1 年度別大腸がん検診性別受診者数

区分	総数		職域		地域	
	計	男 女	計	男 女	計	男 女
2024年度	87 643	57 104 30 539	78 662	53 729 24 933	8 981	3 375 5 606
2023年度	86 698	56 846 29 852	76 757	53 102 23 655	9 941	3 744 6 197
2022年度	88 546	58 196 30 350	78 532	54 414 24 118	10 014	3 782 6 232

表2 プロセス評価（要精検率・精検受診率・がん発見率）

	職域	地域
受診者数 N	78 662	8 981
要精検者数 X	3 614	529
要精検率 X/N(%)	4.6	5.9
精検受診者数 Y	-	379
精検受診率 Y/X(%)	-	71.6
がん発見数 Z	-	19
がん発見率 Z/N(%)	-	0.21
陽性反応の中度 Z/X(%)	-	3.59

表3 検体提出状況

区分	実施数	提出数		検査結果				要精検内訳				便潜血陽性者内訳		
		2日提出	1日提出	異常なし	検体不適	要精検%	便潜血陽性%		問診票%		2日提出		1日提出	
							(+)(+)	(+)(-)	(-)(+)	(-)(-)	(+)			
総数	87 643	71 007	16 636	83 500	-	4 143	4.7	4 143	4.7	-	-	758	2 773	612
職域	78 662	62 323	16 339	75 048	-	3 614	4.6	3 614	4.6	-	-	644	2 377	593
地域	8 981	8 684	297	8 452	-	529	5.9	529	5.9	-	-	114	396	19

職 域

表4 検診別・性別受診者及び検診結果（職域）

区 分	受診者	要精検者	%	内 訳				
				便潜血	%	問診票	%	
総 数	男	53 729	2 597	4.8	2 597	4.8	-	-
	女	24 933	1 017	4.1	1 017	4.1	-	-
	計	78 662	3 614	4.6	3 614	4.6	-	-

地 域

表5 地域検診の市町村別受診者数及び精検結果

市町村名	受診者	要精 検者	%	精 検 受診者	%	精 密 検 査 結 果						
						大腸がん	大腸ポ リープ	結 腸 憩室症	内痔核	その他	異常なし	
総 数	男	3 375	259	7.7	179	69.1	9	107	9	1	15	38
	女	5 606	270	4.8	200	74.1	10	103	4	9	15	59
	計	8 981	529	5.9	379	71.6	19	210	13	10	30	97
平塚市	男	1 326	107	8.1	66	61.7	1	47	6	-	5	7
	女	1 983	99	5.0	71	71.7	3	38	2	3	9	16
	計	3 309	206	6.2	137	66.5	4	85	8	3	14	23
茅ヶ崎市	男	284	20	7.0	14	70.0	4	5	-	-	1	4
	女	685	26	3.8	16	61.5	1	6	-	2	2	5
	計	969	46	4.7	30	65.2	5	11	-	2	3	9
相模原市	男	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	40	2	5.0	1	50.0	-	-	-	-	-	1
	計	47	2	4.3	1	50.0	-	-	-	-	-	1
伊勢原市	男	96	8	8.3	6	75.0	-	3	1	1	-	1
	女	407	17	4.2	13	76.5	-	10	-	-	-	3
	計	503	25	5.0	19	76.0	-	13	1	1	-	4
海老名市	男	125	6	4.8	6	100.0	-	2	-	-	1	3
	女	317	14	4.4	14	100.0	1	6	1	1	2	3
	計	442	20	4.5	20	100.0	1	8	1	1	3	6
大磯町	男	340	21	6.2	16	76.2	2	9	-	-	1	4
	女	447	17	3.8	12	70.6	-	6	-	1	1	4
	計	787	38	4.8	28	73.7	2	15	-	1	2	8
二宮町	男	65	5	7.7	2	40.0	-	1	-	-	1	-
	女	133	4	3.0	3	75.0	-	1	-	-	-	2
	計	198	9	4.5	5	55.6	-	2	-	-	1	2
中井町	男	247	20	8.1	14	70.0	-	11	-	-	-	3
	女	306	16	5.2	13	81.3	-	10	1	-	-	2
	計	553	36	6.5	27	75.0	-	21	1	-	-	5
大井町	男	140	9	6.4	7	77.8	1	4	1	-	1	-
	女	324	21	6.5	18	85.7	1	10	-	-	-	7
	計	464	30	6.5	25	83.3	2	14	1	-	1	7
真鶴町	男	82	8	9.8	8	100.0	-	5	1	-	-	2
	女	116	8	6.9	7	87.5	1	5	-	-	-	1
	計	198	16	8.1	15	93.8	1	10	1	-	-	3
愛川町	男	634	52	8.2	39	75.0	1	19	-	-	5	14
	女	832	45	5.4	32	71.1	3	11	-	2	1	15
	計	1 466	97	6.6	71	73.2	4	30	-	2	6	29
小田原市	男	29	3	10.3	1	33.3	-	1	-	-	-	-
	女	16	1	6.3	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	45	4	8.9	1	25.0	-	1	-	-	-	-

超音波検診

表1 年度別受診者数

区分	総数	男	女
2024年度	21 211	14 442	6 769
2023年度	20 162	13 707	6 455
2022年度	20 306	13 823	6 483

表2 性別受診者数および判定内訳

区分	受診者数	異常なし		心配なし		要経過観察		要精密検査		要受診		主治医継続		
		数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	
総数	男	14 442	1 288	8.9	3 595	24.9	9 096	63.0	309	2.1	31	0.2	123	0.9
	女	6 769	1 281	18.9	1 415	20.9	3 854	56.9	158	2.3	11	0.2	50	0.7
	計	21 211	2 569	12.1	5 010	23.6	12 950	61.1	467	2.2	42	0.2	173	0.8

表3 臓器別所見数内訳

対象臓器	腹部超音波実施者					
	男	*	女	*	計	*
胆のう	14 442		6 769		21 211	
有所見者 (数・率)	4 619	32.0%	1 608	23.8%	6 227	29.4%
胆石症	962	6.7%	384	5.7%	1 346	6.3%
胆のうポリープ	2 986	20.7%	934	13.8%	3 920	18.5%
胆のう腺筋腫症	173	1.2%	56	0.8%	229	1.1%
胆のう壁肥厚	155	1.1%	70	1.0%	225	1.1%
胆のう切除後	237	1.6%	115	1.7%	352	1.7%
胆のうのその他の所見	106	0.7%	49	0.7%	155	0.7%
肝臓	11 448		3 826		15 274	
有所見者 (数・率)	7 433	64.9%	2 476	64.7%	9 909	64.9%
脂肪肝	7 433	64.9%	2 476	64.7%	9 909	64.9%
肝のう胞	2 560	22.4%	1 401	36.9%	3 961	26.2%
肝血管腫	62	0.5%	53	1.4%	115	0.8%
肝内結石・石灰化	235	2.1%	127	3.3%	362	2.4%
肝内高エコー域	663	5.8%	543	14.2%	1 206	8.0%
肝内低エコー域	219	1.9%	86	2.2%	305	2.0%
肝線維症	7	0.0%	-	0.0%	7	0.0%
肝内・肝外胆管拡張	99	0.9%	92	2.4%	191	1.3%
肝臓のその他の所見	170	1.5%	48	1.2%	218	1.4%
腎臓	8 682		3 259		11 941	
有所見者 (数・率)	4 561	52.4%	1 784	54.8%	6 345	53.1%
腎石灰化	4 561	52.4%	1 784	54.8%	6 345	53.1%
腎結石	314	3.6%	69	2.1%	383	3.2%
腎のう胞	3 101	35.7%	933	28.7%	4 034	33.6%
多発性のう胞腎	6	0.0%	3	0.1%	9	0.0%
腎血管筋脂肪腫	3	0.0%	5	0.1%	8	0.0%
腎変形・辺縁不整	133	1.5%	13	0.4%	146	1.2%
水腎症・腎盂拡張	169	1.9%	141	4.3%	310	2.6%
腎高エコー域	115	1.3%	175	5.4%	290	2.4%
腎低エコー域	35	0.4%	11	0.3%	46	0.4%
腎臓のその他の所見	245	2.8%	125	3.8%	370	3.1%
膵臓	5 274		1 041		6 315	
有所見者 (数・率)	62	1.2%	66	6.3%	128	2.0%
膵のう胞	62	1.2%	66	6.3%	128	2.0%
膵管拡張	126	2.4%	34	3.2%	160	2.5%
膵石灰化	32	0.6%	16	1.5%	48	0.8%
膵内高エコー域	29	0.5%	13	1.2%	42	0.7%
膵低エコー域	15	0.3%	11	1.0%	26	0.4%
膵実質エコー上昇	1 129	21.4%	511	48.9%	1 640	25.8%
膵実質エコー不均一	88	1.7%	19	1.8%	107	1.7%
膵抽出不良	3 777	71.6%	367	35.2%	4 144	65.6%
膵臓のその他の所見	16	0.3%	4	0.4%	20	0.3%
脾臓	1 239		692		1 931	
有所見者 (数・率)	573	46.3%	467	67.5%	1 040	53.8%
副脾	573	46.3%	467	67.5%	1 040	53.8%
脾腫	424	34.3%	129	18.8%	553	28.6%
脾臓石灰化	31	2.5%	24	3.5%	55	2.8%
脾のう胞	11	0.9%	11	1.6%	22	1.1%
脾臓のその他の所見	200	16.2%	61	8.8%	261	13.5%
大動脈・その他	4 354		1 547		5 901	
有所見者 (数・率)	3 789	87.0%	1 404	90.8%	5 193	88.0%
大動脈石灰化	3 789	87.0%	1 404	90.8%	5 193	88.0%
大動脈壁在血栓	2	0.0%	-	0.0%	2	0.0%
腹部大動脈瘤・拡張	13	0.3%	2	0.1%	15	0.2%
大動脈蛇行	96	2.2%	50	3.2%	146	2.5%
大動脈のその他の所見	45	1.0%	6	0.4%	51	0.8%
副腎腫瘍	3	0.0%	1	0.0%	4	0.0%
腹部腫瘍	2	0.0%	8	0.5%	10	0.1%
腹部リンパ節腫大	3	0.0%	4	0.3%	7	0.1%
全体描出不良	377	8.7%	40	2.6%	417	7.1%
その他の所見	24	0.6%	32	2.0%	56	0.9%
有所見者 (数・率)	13 154	61.9%	5 488	81.1%	18 642	87.9%

*は腹部超音波検査の臓器ごと男女各受診者に対する有所見率 所見数は延べ件数 有所見者 (数・率) は実人数

肺がん検診

表1 年度別受診者数・受診団体数

区分	肺がん検診						喀痰細胞診のみ			
	総数		職域		地域		職域		地域	
	受診者	団体	受診者	団体	受診者	団体	受診者	団体	受診者	団体
2024年度	3 950	31	1 165	24	2 785	7	1 354	27	0	-
2023年度	4 651	33	1 357	25	3 294	8	1 460	35	0	-
2022年度	4 897	34	1 537	26	3 360	8	1 685	27	0	-

表2 プロセス評価（要精検率・精検受診率・がん発見率）

	職域	地域
受診者数 N	1 165	2 785
要精検者数 X	10	82
要精検率 X/N(%)	0.9	2.9
精検受診者数 Y	5	56
精検受診率 Y/X(%)	50.0	68.3
がん発見数 Z	1	4
がん発見率 Z/N(%)	0.09	0.14
陽性反応の中度 Z/X(%)	10.00	4.88

職域

表3 項目別実施数

区分		胸部X線撮影						喀痰細胞診			
		受診者	要精検者		精検受診者		受診者	要精検者		精検受診者	
			数	%	数	%		数	%	数	%
総数	男	715	3	0.4	1	33.3	1 275	-	-	-	-
	女	450	7	1.6	4	57.1	79	-	-	-	-
	計	1 165	10	0.9	5	50.0	1 354	-	-	-	-
胸部X線 喀痰細胞診	男	9	-	-	-	-	9	-	-	-	-
	女	7	-	-	-	-	7	-	-	-	-
	計	16	-	-	-	-	16	-	-	-	-
胸部X線 のみ	男	706	3	0.4	1	33.3	/				
	女	443	7	1.6	4	57.1					
	計	1 149	10	0.9	5	50.0					
喀痰細胞診 のみ (*)	男	/					1 266	-	-	-	-
	女						72	-	-	-	-
	計						1 338	-	-	-	-

*) 一般健康診断に喀痰細胞診を付加実施した受診者を計上

**) 基数100未満により計算せず

表4 読影判定別実施数

区分	数	%
A 読影不能	0	-
B 異常所見を認めない	887	76.1
C 異常所見を認めるが精査を必要としない	268	23.0
D・E 異常所見を認め精査を必要とする	10	0.9
計	1 165	100.0

表5 喀痰細胞診判定別検体数

区 分		総 数	喀痰数	%	依頼喀痰数	%
A	材料不適再検査	6	0	-	6	0.4
B	現在異常を認めない	1 346	16	100.0	1 330	99.4
C	Follow UPを必要とする	2	0	-	2	0.2
D	悪性の可能性があるので精密検査を要する	0	0	-	0	-
E	悪性が疑われるので精密検査を要する	0	0	-	0	-
計		1 354	16	100.0	1 338	100.0

表6 年齢階級・性別検診結果

区 分	受診者	1) 精 要 検 者	精 精 検 検 受 診 者 者	精 精 検 検 受 診 率 %	精 密 検 査 結 果								
					肺がん	肺結核	肺結核 治癒所見	中 葉 症 候 群	気管支 拡 張 症	その他	2) 未判明	異 常 し	
総 数	男	715	3	1	33.3	1	-	-	-	-	-	-	-
	女	450	7	4	57.1	-	-	-	-	-	2	2	-
	計	1 165	10	5	50.0	1	-	-	-	-	2	2	-
39歳以下	男	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40 ~ 44	男	88	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	26	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	114	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
45 ~ 49	男	102	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	40	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	142	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
50 ~ 54	男	144	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	56	1	1	100.0	-	-	-	-	-	1	-	-
	計	200	1	1	100.0	-	-	-	-	-	1	-	-
55 ~ 59	男	140	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	52	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	192	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
60 ~ 64	男	95	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	44	1	1	100.0	-	-	-	-	-	1	-	-
	計	139	1	1	100.0	-	-	-	-	-	1	-	-
65 ~ 69	男	52	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	76	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	128	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
70 ~ 74	男	35	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	69	1	1	100.0	-	-	-	-	-	-	1	-
	計	104	1	1	100.0	-	-	-	-	-	-	1	-
75 ~ 79	男	31	3	1	33.3	1	-	-	-	-	-	-	-
	女	64	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	95	4	1	25.0	1	-	-	-	-	-	-	-
80歳以上	男	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	21	2	1	50.0	-	-	-	-	-	-	1	-
	計	43	2	1	50.0	-	-	-	-	-	-	1	-

1) 要精検者は実人数

2) 経過観察など確定診断の出していないもの

(2025年8月31日現在)

表7 MD-CT受診者数

総 数	一次検診	内 訳		二次検診	
		一般健診	特殊健診		
男	1 410	1 123	734	389	287
女	581	328	322	6	253
計	1 991	1 451	1 056	395	540

表8 肺がんCT検診受診者数（年度推移）

年 度	40歳未満	40-49歳	50-59歳	60-69歳	70歳以上	合 計
2024年度	32	231	374	272	151	1 060
2023年度	29	267	394	282	154	1 126
2022年度	50	238	388	248	146	1 070
2021年度	46	202	351	224	150	973
2020年度	46	156	277	205	127	811

図1 肺がんCT受診者（年代割合）

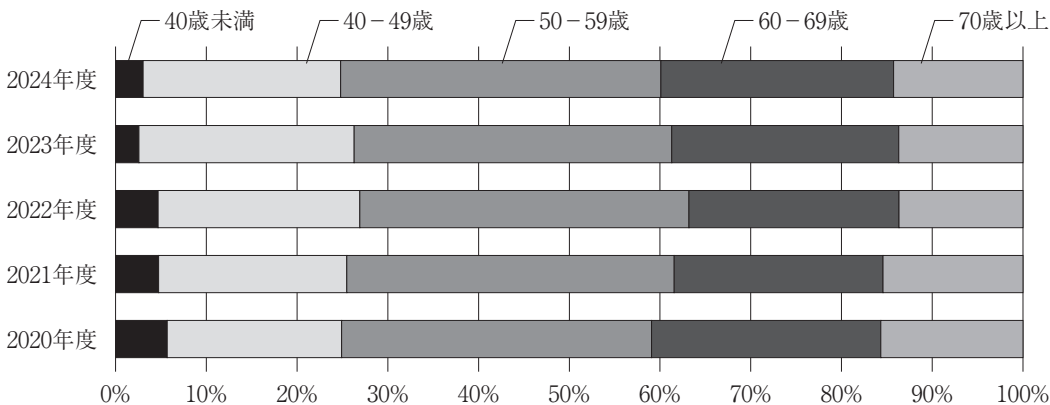
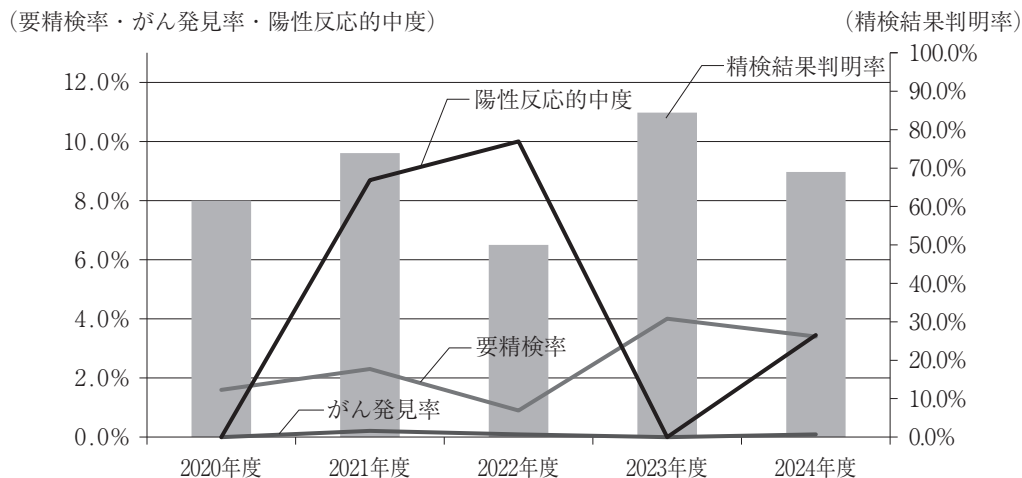


表9 肺がんCT検診結果（年度推移）

年 度	受診者数 (N)	要精検数 (X)	要精検率 (X)/(N)	結 果 判 明 数 (A)	結 果 判 明 率 (A)/(X)	肺 がん (Z)			が ん 発 見 率 (Z)/(N)	陽 性 反 応 的 中 度 (Z)/(X)	肺 がん 疑 い / 診 断 未 確 定
						切 除 肺 がん	I 期 肺 がん	が ん			
2024年度	1 060	29	3.4%	20	69.0%	1	1	1	0.09%	3.45%	9
2023年度	1 126	45	4.0%	38	84.4%	0	0	0	-	-	9
2022年度	1 070	10	0.9%	5	50.0%	1	0	0	0.09%	10.00%	5
2021年度	973	23	2.3%	17	73.9%	2	2	2	0.21%	8.70%	12
2020年度	811	13	1.6%	8	61.5%	0	0	0	-	-	5

図2 肺がんCT検診結果年度推移



地 域

表1 項目別実施数

区 分		問 診 ¹⁾				胸 部 X 線 撮 影				咯 痰 細 胞 診				要精検 二種所 見 ³⁾				
		受診者		要精検者 ²⁾		精検受診者		要精検者		精検受診者		受診者			要精検者		精検受診者	
		数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%		数	%		
総 数	男	1 264	1	0.1	-	-	1 264	36	2.8	24	66.7	96	-	-	-	-	-	
	女	1 521	2	0.1	1	50.0	1 521	43	2.8	31	72.1	26	-	-	-	-	-	
	計	2 785	3	0.1	1	33.3	2 785	79	2.8	55	69.6	122	-	-	-	-	-	
胸部 X 線 喀痰細胞診	男	96	1	**)	-	-	96	5	**)	3	60.0	96	-	-	-	-	-	
	女	26	1	**)	-	-	26	1	**)	-	-	26	-	-	-	-	-	
	計	122	2	1.6	-	-	122	6	4.9	3	50.0	122	-	-	-	-	-	
胸部 X 線 の み	男	1 168	-	-	-	-	1 168	31	2.7	21	67.7	/						
	女	1 495	1	0.1	1	100.0	1 495	42	2.8	31	73.8							
	計	2 663	1	0.0	1	100.0	2 663	73	2.7	52	71.2							

1) 肺がん検診調査票（アンケート）記入者数 2) 有血痰者
3) 問診、胸部X線撮影、喀痰から2つ以上の精検指示
**) 基数100未満により計算せず

表2 読影判定別実施数

区 分	数	%
A 読影不能	-	-
B 異常所見を認めない	1 822	65.4
C 異常所見を認めるが精査を必要としない	884	31.7
D 異常所見を認めるが肺がん以外の疾患が考えられる	42	1.5
E 肺がんの疑い	37	1.3
計	2 785	100.0

表3 喀痰細胞診判定別検体数

区 分	数	%
A 材料不適再検査	-	-
B 現在異常を認めない	122	100.0
C Follow UPを必要とする	-	-
D 悪性の可能性があるので精密検査を要する	-	-
E 悪性が疑われるので精密検査を要する	-	-
計	122	100.0

表4 市町村別検診結果

区 分	受 診 者 数	要 精 検 者 数 ¹⁾	精 検 受 診 者 数	精 検 受 診 率 %	精 密 検 査 結 果							未把握	
					肺がん	肺結核	肺結核 治癒所見	中 薬 症候群	気管支 拡張症	その他	異 常 所 見		
総 数	男	1 264	37	24	64.9	2	-	-	-	-	18	4	13
	女	1 521	45	32	71.1	2	-	-	-	1	18	11	13
	計	2 785	82	56	68.3	4	-	-	-	1	36	15	26
海老名市	男	87	2	2	100.0	-	-	-	-	-	2	-	-
	女	219	4	4	100.0	-	-	-	-	-	2	2	-
	計	306	6	6	100.0	-	-	-	-	-	4	2	-
大磯町	男	320	11	4	36.4	-	-	-	-	-	1	3	7
	女	342	13	7	53.8	2	-	-	-	-	2	3	6
	計	662	24	11	45.8	2	-	-	-	-	3	6	13
二宮町	男	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	48	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	68	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
真鶴町	男	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
愛川町	男	569	21	15	71.4	1	-	-	-	-	13	1	6
	女	603	19	12	63.2	-	-	-	-	-	7	5	7
	計	1 172	40	27	67.5	1	-	-	-	-	20	6	13
中井町	男	234	3	3	100.0	1	-	-	-	-	2	-	-
	女	276	9	9	100.0	-	-	-	-	1	7	1	-
	計	510	12	12	100.0	1	-	-	-	1	9	1	-
小田原市	男	29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	女	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	48	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

1) 要精検者は実人数

(2025年8月31日現在)

表5 年齢階級別検診結果

区分	受診者数	1) 要精検者数	精検者数	精検率%	精密検査結果							未把握	
					肺がん	肺結核	肺結核 治癒所見	中葉症候群	気管支 拡張症	その他	異常なし		
総数	男女計	2 785	82	56	68.3	4	-	-	-	1	36	15	26
	男	1 264	37	24	64.9	2	-	-	-	-	18	4	13
	女	1 521	45	32	71.1	2	-	-	-	1	18	11	13
39歳以下	男女計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40～44	男女計	155	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	男	65	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
45～49	男女計	133	1	1	100.0	-	-	-	-	-	-	1	-
	男	46	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
50～54	男女計	189	3	3	100.0	-	-	-	-	-	-	3	-
	男	65	1	1	100.0	-	-	-	-	-	-	1	-
55～59	男女計	175	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	男	48	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
60～64	男女計	228	7	2	28.6	-	-	-	-	1	1	-	3
	男	77	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
65～69	男女計	376	10	7	70.0	-	-	-	-	-	5	2	3
	男	178	5	2	40.0	-	-	-	-	-	1	1	3
70～74	男女計	589	16	10	62.5	-	-	-	-	-	6	4	6
	男	271	8	6	75.0	1	-	-	-	-	5	-	2
75～79	男女計	525	20	14	70.0	3	-	-	-	-	9	2	6
	男	255	12	8	66.7	2	-	-	-	-	4	2	4
80歳以上	男女計	415	24	19	79.2	1	-	-	-	-	15	3	5
	男	244	13	9	69.2	1	-	-	-	-	8	-	4
80歳以上	女	171	11	10	90.9	-	-	-	-	-	7	3	1

1) 要精検者は実人数

(2025年8月31日現在)

表6 厚木市・大和市読影実施数

区分	厚木市			大和市		
	件数	要精検者数	%	件数	要精検者数	%
2024年度	20 188	561	2.78	6 459	141	2.18
2023年度	20 637	580	2.81	6 278	130	2.07
2022年度	20 530	574	2.80	6 583	154	2.34

表7 年齢階級別読影数

区分	厚木市		大和市	
	数	%	数	%
総数	20 188	100.0	6 459	100.0
～44歳	390	1.9	65	1.0
45～49歳	469	2.3	92	1.4
50～54歳	693	3.4	193	3.0
55～59歳	798	4.0	241	3.7
60～64歳	976	4.8	333	5.2
65～69歳	1 700	8.4	621	9.6
70～74歳	3 813	18.9	1 154	17.9
75～79歳	5 322	26.4	1 617	25.0
80歳～	6 027	29.9	2 143	33.2

表8 判定別読影数

区分	厚木市		大和市	
	数	%	数	%
総数	20 188	100.0	6 459	100.0
A	3	0.0	0	0.0
B	16 090	79.7	5 302	82.1
C	3 534	17.5	1 016	15.7
D1	2	0.0	65	1.0
D2	166	0.8		
D3	44	0.2		
D4	79	0.4		
E1	270	1.3	76	1.2
E2	0	0.0		

A	読影不能
B	異常所見を認めない
C	異常所見を認めるが精査を必要としない
D1	治療を要する結核を疑う
D2	肺炎、気胸など治療を要する状態を疑う
D3	大動脈瘤など心大血管異常で治療を要する状態を疑う
D4	縦隔腫瘍、胸壁腫瘍、胸膜腫瘍など治療を要する状態を疑う
E1	肺がんの疑いを否定し得ない
E2	肺がんを強く疑う

子宮がん検診（施設）

子宮頸がん検診

表1 年度別受診者数

区分	総数	施設	巡回
2024年度	15 067	13 282	1 785
2023年度	15 543	13 427	2 116
2022年度	15 997	14 030	1 967

表2 プロセス評価（要精検率・精検受診率・がん発見率）

	（施設検診）
受診者数 N	13 282
要精検者数 X	333
要精検率 X/N(%)	2.2
精検受診者数 Y	182
精検受診率 Y/X(%)	54.7
がん発見数 Z	2
がん発見率 Z/N(%)	0.01
陽性反応の集中度 Z/X(%)	0.60

（2025年8月31日現在）

表3 年齢階級別受診者数及び検診結果

区分	施設								巡回							
	受診者		要精検		要治療 （がん以外）		異常なし		受診者		要精検		要治療 （がん以外）		異常なし	
	数	% [*]	数	%	数	%	数	%	数	% [*]	数	%	数	%	数	%
総数	13 282	100.0	333	2.5	261	2.0	12 688	95.5	1 785	100.0	31	1.7	15	0.8	1 739	97.4
～29歳	806	6.1	49	6.1	21	2.6	736	91.3	187	10.5	5	2.7	1	0.5	181	96.8
30～39	2 050	15.4	84	4.1	41	2.0	1 925	93.9	330	18.5	8	2.4	4	1.2	318	96.4
40～49	3 335	25.1	98	2.9	85	2.5	3 152	94.5	476	26.7	11	2.3	-	0.0	465	97.7
50～59	3 894	29.3	77	2.0	77	2.0	3 740	96.0	659	36.9	7	1.1	7	1.1	645	97.9
60～69	2 292	17.3	23	1.0	24	1.0	2 245	97.9	132	7.4	-	-	3	2.3	129	97.7
70歳～	905	6.8	2	0.2	13	1.4	890	98.3	1	0	-	-	-	-	1	100.0

*）各年齢階級受診者の割合

表4 施設の年齢階級別精検受診結果

区分	受診者	要精検		精検受診者		精密検査結果															追跡	受診状況不詳							
						子宮頸がん					子宮体がん	その他のがん	異形成					良性疾患	異常なし										
						総数	%	扁平上皮内瘤	上皮内腺瘤	IA期			IB期	II期以上	病期不詳	腺（I期以上）	総数			%			軽度	中等	高度	腺異形成	疑似		
総数	初診	2 635	93	3.5	42	45.2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	0.30	7	-	-	-	1	1	1	32	51	
	再診	10 647	240	2.3	140	58.3	1	0.01	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	44	0.41	34	3	-	5	2	-	7	87	100
	計	13 282	333	2.5	182	54.7	1	0.01	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	52	0.39	41	3	-	5	3	1	8	119	151
～29歳	初診	417	23	5.5	10	43.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.24	1	-	-	-	-	-	1	8	13	
	再診	389	26	6.7	14	53.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	1.80	6	-	-	-	1	-	-	7	12	
	計	806	49	6.1	24	49.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	0.99	7	-	-	-	1	-	1	15	25	
30～39	初診	652	33	5.1	13	39.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	0.61	3	-	-	-	1	-	-	9	20	
	再診	1 398	51	3.6	27	52.9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	0.79	8	1	-	1	1	-	2	14	24	
	計	2 050	84	4.1	40	47.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	0.73	11	1	-	1	2	-	2	23	44	
40～49	初診	665	23	3.5	10	43.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.15	1	-	-	-	-	1	-	8	13	
	再診	2 670	75	2.8	44	58.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	0.37	8	1	-	1	-	-	4	30	31	
	計	3 335	98	2.9	54	55.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	0.33	9	1	-	1	-	1	4	38	44	
50～59	初診	556	11	2.0	7	63.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.18	1	-	-	-	-	-	-	6	4	
	再診	3 338	66	2.0	37	56.1	1	0.03	-	1	-	-	-	-	-	-	-	14	0.42	11	-	-	3	-	-	1	21	29	
	計	3 894	77	2.0	44	57.1	1	0.03	-	1	-	-	-	-	-	-	-	15	0.39	12	-	-	3	-	-	1	27	33	
60～69	初診	302	3	1.0	2	66.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.33	1	-	-	-	-	-	-	1	1	
	再診	1 990	20	1.0	16	80.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	0.10	1	1	-	-	-	-	-	13	4	
	計	2 292	23	1.0	18	78.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0.13	2	1	-	-	-	-	-	14	5	
70歳～	初診	43	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	再診	862	2	0.2	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	
	計	905	2	0.2	2	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	

（2025年8月31日現在）

表6 施設の婦人科検診で発見された一般婦人科疾患

(受診者数 13 282人)

外陰	37	2.71%	子宮体部	376	27.57%
外陰炎	18		子宮筋腫	331	
外陰湿疹	1		筋腫様子宮	4	
外陰潰瘍			子宮腺筋症	1	
外陰腫瘍（瘤）	4		子宮内膜症	3	
外陰のう胞			子宮内膜増殖症		
外陰びらん			子宮体部腫瘍		
外陰白斑症			子宮内腫瘍	2	
外陰隆奇形			ダグラス窩腫瘍		
ヘルペス感染			子宮内膜炎		
バルトリン腺のう腫	13		子宮内膜肥厚	3	
尿道カルンケル	1		子宮内膜ポリープ	5	
膣	292	21.41%	子宮下垂	6	
膣炎・単純性膣炎	30		子宮脱	15	
トリコモナス膣炎	6		子宮奇形		
カンジダ膣炎	251		膀胱瘤	1	
萎縮性膣炎			膀胱脱	2	
膣壁のう腫	1		膀胱下垂	1	
膣のう胞			直腸脱	1	
膣腫瘍（瘤）	1		骨盤臓器脱症	1	
膣脂肪腫			子宮付属器	30	2.20%
膣脱症	2		卵巣のう腫	4	
膣断端肉芽			多のう胞性卵巣	1	
断端ポリープ			卵巣腫瘍	25	
膣壁静脈瘤	1		子宮付属器腫瘍		
子宮頸部	496	36.36%	機能疾患・その他	133	9.75%
子宮膣部びらん	11		無月経	1	
子宮頸管ポリープ	448		月経不整	1	
子宮膣部ポリープ			過多月経	4	
子宮頸管炎			月経困難症	1	
頸管狭窄	3		月経前症候群	1	
子宮頸部腫瘍			不正出血	123	
子宮頸部のう胞性腫瘍	32		卵巣機能障害		
子宮頸部コンジローマ			下腹部腫瘍		
ナボットのう胞	2		下腹部圧痛		
筋腫分娩			鼠径リンパ節腫脹		
			臀部脂肪腫		
			更年期障害		
			排卵痛	1	
			腹水	1	
			その他所見あり		
			合計	1 364	100%
			有所見者数 (二種所見：61人/三種所見：1人)	1 301	9.80%

※発見疾患は延べ数（疾患総数に対する%）、有所見者数は実人数（受診者数に対する%）

表7 施設の一般婦人科疾患の判定・指導区分内訳

(受診者数 13 282人)

判定・指導区分	数	%	対受診者(%)
B 心配なし	0	0.0	0.00
C 要経過観察	846	65.0	6.37
D1 要治療	351	27.0	2.64
D2 要精密検査	0	0.0	0.00
E 主治医のもとで経過・治療継続	104	8.0	0.78
合計	1 301	100.0	9.80

子宮体がん検診

表1 年度別受診者数及び検診結果

区分	受診者			要精検		要再検		異常なし 数	判定不能 数
	合計	細胞診	エコー	数	%	数	%		
2024年度	199	199	-	-	-	-	-	193	5
2023年度	225	222	3	2	0.89	-	-	207	13
2022年度	263	256	7	2	0.76	-	-	254	7

※平成13年度からは細胞診の判定が疑陽性以上を要精検とし、陰性(再検)は要再検と変更

表2 年齢階級別細胞診判定

区分	受診者	細胞診				
		陰性	陰性再検	疑陽性	陽性	判定不能
総数	199	193	-	-	1	5
～29歳	0	-	-	-	-	-
30～39	12	11	-	-	-	1
40～49	57	57	-	-	-	-
50～59	107	105	-	-	-	2
60～69	20	17	-	-	1	2
70歳～	3	3	-	-	-	-

表3 細胞診判定別再精検受診結果

区分	受診者	要精検		要再検		子宮体がん						その他のがん	異増殖型内膜症	子宮増殖内膜症	良性疾患	異常なし	追跡中	受診状況詳細	
		数	%	数	%	総数	%	IA期	IB期	II期以上	病期不詳								
																			数
総数	199	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
細胞診	陰性	193	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	陰性(要再検)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	疑陽性	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	陽性	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	不能	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(2025年8月31日現在)

表4 年齢階級別再検受診結果

区分	受診者	要再検	子宮体がん						その他のがん	異増殖型内膜症	子宮増殖内膜症	良性疾患	異常なし	追跡中	受診状況詳細	
			総数	%	IA期	IB期	II期以上	病期不詳								
総数	199	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
～29歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30～39	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40～49	57	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
50～59	107	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
60～69	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
70歳～	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(2025年8月31日現在)

表5 年齢階級別精検受診結果

区分	受診者	要精検	子宮体がん						その他のがん	異増殖型内膜症	子宮増殖内膜症	良性疾患	異常なし	追跡中	受診状況詳細	
			総数	%	IA期	IB期	II期以上	病期不詳								
総数	199	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
～29歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30～39	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
40～49	57	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
50～59	107	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
60～69	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
70歳～	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(2025年8月31日現在)

子宮がん検診（地域・車検診）

表1 年度別受診者数及び検診結果

区分	受診者	要精検 (*HPV検査または 6ヶ月後細胞診も含む)		要治療	異常なし	判定不能
		数	%			
2024年度	12 491	152	1.22	133	12 206	0
初診	2 559	59	2.31	37	2 463	0
再診	9 932	93	0.94	96	9 743	0
2023年度	12 681	171	1.35	195	12 315	0
2022年度	12 501	141	1.13	155	12 205	0

表2 プロセス評価（要精検率・精検受診率・がん発見率）

	合計
受診者数 N	12 491
要精検者数 X	152
要精検率 X/N(%)	1.2
精検受診者数 Y	143
精検受診率 Y/X(%)	94.1
がん発見数 Z	3
がん発見率 Z/N(%)	0.02
陽性反応的中度 Z/X(%)	1.97

表3 年齢階級別細胞診判定ベセスダシステム

区分	受診者		ベセスダシステム												判定不能
			NILM	ASC-US	ASC-H	LSIL	HSIL			SCC	AGC	AIS	Adeno carcinoma	Other malig.	
			陰性	軽度病変疑い	高度病変疑い	軽度異形成	中等度異形成	高度異形成	上皮内癌	扁平上皮癌	腺癌異型	上皮内腺癌	腺癌	その他の癌	
総数	12 491	100.0	12 339	61	12	48	13	8	1	1	5	1	2	-	-
～29歳	413	3.3	394	4	-	11	4	-	-	-	-	-	-	-	-
30～39	966	7.7	939	9	3	7	5	2	-	-	-	1	-	-	-
40～49	1 970	15.8	1 931	17	1	13	2	5	1	-	-	-	-	-	-
50～59	2 528	20.2	2 491	18	2	13	1	1	-	-	2	-	-	-	-
60～69	2 580	20.7	2 560	10	3	3	1	-	-	1	1	-	1	-	-
70歳～	4 034	32.3	4 024	3	3	1	-	-	-	-	2	-	1	-	-

表4 市町村別受診者数及びがん確定数

区分	受診者			要精検	がん確定			異形成		
	総数	初診	再診		総数	初診	再診	総数	初診	再診
	12 491	2 559	9 932		152	3	2	1	56	28
平塚市	2 097	407	1 690	20	1	-	1	4	2	2
小田原市	1 064	217	847	13	-	-	-	7	3	4
茅ヶ崎市	963	284	679	19	1	1	-	11	5	6
逗子市	462	93	369	4	-	-	-	2	1	1
厚木市	3 750	711	3 039	47	-	-	-	19	12	7
伊勢原市	431	84	347	2	-	-	-	-	-	-
海老名市	391	67	324	5	-	-	-	2	-	2
座間市	1 084	249	835	19	-	-	-	6	3	3
葉山町	319	63	256	2	-	-	-	-	-	-
大磯町	372	70	302	5	-	-	-	2	-	2
二宮町	215	89	126	3	1	1	-	1	1	-
中井町	144	29	115	1	-	-	-	-	-	-
大井町	302	58	244	4	-	-	-	-	-	-
山北町	163	33	130	1	-	-	-	1	1	-
真鶴町	107	19	88	-	-	-	-	-	-	-
愛川町	627	86	541	7	-	-	-	1	-	1

表5 細胞診ベセスダシステム別精密検査結果

区分		受診者	要 精 査		精 密 検 査 結 果																	2) 受診状況不詳				
					子 宮 頸 がん											子宮体がん	その他のがん	異 形 成					1) 経過観察	1) 追跡途中		
					総数	%*	扁平上皮内癌	上皮内腺癌	IA期	IB期	II期以上	病期不詳	腺がん(Ib期)	総数	軽度			中等度	高度	腺異形成	その他の疾患				異常なし	
総 数	初診	2 559	59	2.31	1	1.69	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	28	13	9	6	-	7	7	4	2	9
	再診	9 932	93	0.94	1	1.08	-	-	-	-	-	-	-	1	-	29	17	9	2	1	9	24	13	5	12	
	計	12 491	152	1.22	2	1.32	1	-	-	-	-	-	-	1	1	57	30	18	8	1	16	31	17	7	21	
NILM	初診	2 500	-	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	再診	9 839	-	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	12 339	-	0.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ASC-US	初診	15	15	100.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	1	-	-	4	4	3	-	2
	再診	46	46	100.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	8	2	-	-	5	15	7	3	6
	計	61	61	100.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	9	3	-	-	9	19	10	3	8
ASC-H	初診	7	7	100.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	3	-	1	-	1	-	1	-	1
	再診	5	5	100.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	1	-	1	-	-	1	-	1
	計	12	12	100.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	4	1	1	1	-	1	1	1	2
LSIL	初診	20	20	100.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	7	5	-	-	1	2	-	1	4
	再診	28	28	100.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	6	2	1	-	2	8	3	2	4
	計	48	48	100.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	21	13	7	1	-	3	10	3	3	8
HSIL 中等度異形成	初診	5	5	100.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	2	1	1	-	1	-	-	-	-
	再診	8	8	100.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	2	3	1	-	-	1	-	-	1
	計	13	13	100.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	4	4	2	-	1	1	-	-	1
HSIL 高度異形成	初診	7	7	100.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	3	-	-	-	1	-	2
	再診	1	1	100.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	計	8	8	100.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	2	3	-	-	-	1	-	2
HSIL 上皮内癌	初診	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	再診	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	1	1	100.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-
SCC	初診	1	1	100.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
	再診	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	1	1	100.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
AGC	初診	1	1	100.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	再診	4	4	100.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-
	計	5	5	100.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-
AIS	初診	1	1	100.00	1	1.69	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	再診	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	1	1	100.00	1	0.66	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
Adeno carcinoma	初診	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	再診	1	1	-	1	1.08	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	2	2	-	1	0.66	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-
Other malig.	初診	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	再診	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
判定不能	初診	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	再診	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

* 初診、再診、計別の精査総数に対する%

(2025年8月31日現在)

1) 追跡途中・経過観察：精密検査を受診したが最終診断が出ていないものを計上した

2) 受診状況不詳：精密検査を受診したかどうか把握できないものを計上した

表6 年齢階級別精検受診結果

区分	受診者	要精検		精 密 検 査 結 果																		受診状況不詳				
				子宮頸がん										子宮体がん	その他のがん	異 形 成				その他の疾患	異常なし		経過観察	追跡途中		
				総数	%*	扁平上皮内瘤	上皮内腺癌	IA期	IB期	II期以上	病期不詳	腺がん(Ib期)	総数			軽度	中等度	高度	腺異形成							
総数	初診 再診 計	2 559 9 932 12 491	61 91 152	2.38 0.92 1.22	1 1 2	0.04 0.01 0.02	1 - 1	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- 1 1	- - -	29 27 56	13 17 30	10 8 18	6 2 8	- 1 1	7 9 16	7 24 31	5 12 17	2 5 7	9 12 21		
20~24歳	初診 再診 計	100 39 139	5 1 6	5.00 2.56 4.32	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	1 - 1	- - -	- - -	1 - 1	- - -	- - -	1 - 1	- - -	- 1 1	- - -	3 - 3	
25~29	初診 再診 計	141 133 274	7 6 13	4.96 4.51 4.74	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	4 2 6	3 2 5	1 - 1	- - -	- - -	2 - 2	- - -	- 2 2	- - -	- - -	1 2 3	
30~34	初診 再診 計	159 318 477	5 6 11	3.14 1.89 2.31	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	2 - 2	1 - 1	1 - -	- - -	- - -	1 1 2	1 1 2	- 1 1	- 1 1	- - -	1 3 4	
35~39	初診 再診 計	146 343 489	6 10 16	4.11 2.92 3.27	1 - 1	0.68 - 0.20	1 - 1	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	4 3 7	1 3 4	3 - 3	- - -	- - -	- 1 1	- 4 4	- 1 1	- 1 1	- 1 1	1 - 1	
40~44	初診 再診 計	270 684 954	8 17 25	2.96 2.49 2.62	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	3 6 9	1 3 4	- 3 3	2 - 2	- - -	2 3 5	- 6 6	- - 2	- - -	- - -	1 2 3	
45~49	初診 再診 計	238 778 1 016	7 7 14	2.94 0.90 1.38	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	6 2 8	4 - 4	1 1 2	1 - 2	- - -	1 1 1	1 1 2	- 3 3	- - -	- - -	- - -	
50~54	初診 再診 計	279 1 099 1 378	8 18 26	2.87 1.64 1.89	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	3 5 8	1 4 5	1 - 2	1 - 1	- - -	1 - 1	2 5 7	1 5 6	1 2 3	1 2 3	- 1 1	
55~59	初診 再診 計	224 926 1 150	3 8 11	1.34 0.86 0.96	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	1 - 1	- - -	1 4 5	- 2 2	1 1 2	- 1 1	- - -	- 1 1	- 1 1	- - -	- - -	- - -	- - -	1 2 3
60~64	初診 再診 計	188 1 022 1 210	5 5 10	2.66 0.49 0.83	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	2 1 3	- 1 1	1 - 1	1 - 1	- - -	1 1 2	1 1 2	1 2 3	- - -	- - -	- - -	
65~69	初診 再診 計	235 1 135 1 370	4 6 10	1.70 0.53 0.73	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	3 3 6	2 - 2	1 2 3	- - 1	- - -	- 1 -	- 1 -	- - -	- - -	- - -	- - -	1 2 3
70~74	初診 再診 計	254 1 448 1 702	1 2 3	0.39 0.14 0.18	- 1 1	- 0.07 0.06	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- 1 1	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	1 - 2	- - -	- - -	- - -	- - -
75~79	初診 再診 計	208 1 335 1 543	2 3 5	0.96 0.22 0.32	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- 1 1	- 1 -	- - -	- - -	- - -	- 1 1	- 1 1	- - -	- - -	1 1 1	1 - 1	- - -
80歳~	初診 再診 計	117 672 789	- 2 2	0.00 0.30 0.25	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- 1 1	- 1 -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- - -	- 1 1	- - -

*各項目の受診者に対する%

(2025年8月31日現在)

乳がん検診（施設）

表1 年度別受診者数

区分	受診者数	内 訳									
		MMG+US 実施群 ¹⁾	%	MMG 実施群 ²⁾	%	US実施群 ³⁾	%	視触診群 ⁴⁾	%	経過観察群	%
2024年度	17 117	1 153	6.7	9 203	53.8	5 611	32.8	705	4.1	445	2.6
2023年度	16 954	1 096	6.5	8 766	51.7	5 838	34.4	746	4.4	508	3.0
2022年度	17 643	1 122	6.4	9 379	53.2	5 760	32.6	776	4.4	606	3.4

- 1) MMGとUS実施あるいは視触診併用で実施
- 2) MMG単独あるいは視触診併用で実施
- 3) US単独あるいは視触診併用で実施
- 4) 視触診のみ実施

表2 プロセス評価（要精検率・精検受診率・がん発見率）

区分	検 診 群					経過観察群	受診者数 総 合 計
	MMG+US 併用	MMG併用	US併用	視触診	合 計		
受 診 者 数 a)	1 153	9 203	5 611	705	16 672	445	17 117
要 精 検 者 b)	数	50	394	230	15	689	444
	%	4.34	4.28	4.10	2.13	4.13	-
精 検 受 診 者 c)	数	40	175	184	12	411	444
	%	80.00	44.42	80.00	80.00	59.65	-
が ん 発 見 d)	数	2	14	3	4	23	37
が ん 発 見 率 d)/a)	%	0.17	0.15	0.05	0.57	0.14	3.15
陽性反応的中度 d)/b)	%	4.00	3.55	1.30	26.67	3.34	3.15
精検受診者の中率 d)/c)	%	5.00	8.00	1.63	33.33	5.60	3.15

(2025年8月31日現在)

表3 年齢階級別精密検査結果（経過観察群）

区分	受診者	精 密 検 査 結 果										受診状況 不詳
		乳がん		乳 腺 症	線 維 腺 腫	石 灰 化 像	の う 胞	そ の 他	異 常 な し	他 医 へ 受 診 *	(未 判 明 経過 観察)	
		数	%									
総 数	445	14	3.15	-	14	151	13	252	-	1	-	-
～29歳	7	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-
30～39	38	1	2.63	-	1	3	2	31	-	-	-	-
40～49	117	4	3.42	-	5	33	5	69	-	1	-	-
50～59	151	3	1.99	-	5	68	1	74	-	-	-	-
60～69	80	3	3.75	-	2	30	2	43	-	-	-	-
70歳～	52	3	5.77	-	1	17	2	29	-	-	-	-

*他医で受診により結果不明

(2025年8月31日現在)

表4 年齢階級別受診者数及び精密検査結果（MMG+US実施群）

区分	受診者	要精検者		精検受診者		精密検査結果										他医へ受診*	未受診	受診状況不詳
		数	%	数	%	乳がん		乳腺症	線維腺腫	石灰化像	のう胞	その他	異常なし	未判明 (経過観察)				
						数	%											
総数	初診	197	17	8.63	12	70.59	1	0.51	-	-	3	2	6	-	-	2	-	3
	再診	956	33	3.45	28	84.85	1	0.10	1	-	8	1	17	-	-	-	-	5
	計	1 153	50	4.34	40	80.00	2	0.17	1	-	11	3	23	-	-	2	-	8
～29歳	初診	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	再診	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30～39	初診	28	4	14.29	3	75.00	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	1
	再診	39	1	2.56	1	100.00	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	計	67	5	7.46	4	80.00	-	-	-	-	1	1	2	-	-	-	-	1
40～49	初診	82	7	8.54	5	71.43	-	-	-	-	1	1	3	-	-	1	-	1
	再診	314	16	5.10	12	75.00	-	-	-	-	4	-	8	-	-	-	-	4
	計	396	23	5.81	17	73.91	-	-	-	-	5	1	11	-	-	1	-	5
50～59	初診	51	6	11.76	4	66.67	1	1.96	-	-	1	-	2	-	-	1	-	1
	再診	400	8	2.00	7	87.50	-	-	-	-	3	1	3	-	-	-	-	1
	計	451	14	3.10	11	78.57	1	0.22	-	-	4	1	5	-	-	1	-	2
60～69	初診	26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	再診	184	7	3.80	7	100.00	-	-	1	-	1	-	5	-	-	-	-	-
	計	210	7	3.33	7	100.00	-	-	1	-	1	-	5	-	-	-	-	-
70歳～	初診	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	再診	18	1	5.56	1	100.00	1	5.56	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	20	1	5.00	1	100.00	1	5.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*他医で受診により結果不明

(2025年8月31日現在)

表5 年齢階級別受診者数及び精密検査結果（MMG実施群）

区分	受診者	要精検者		精検受診者		精密検査結果										他医へ受診*	未受診	受診状況不詳
		数	%	数	%	乳がん		乳腺症	線維腺腫	石灰化像	のう胞	その他	異常なし	未判明 (経過観察)				
						数	%											
総数	初診	1 617	145	8.97	60	41.38	2	0.12	5	-	16	1	36	-	-	2	-	83
	再診	7 586	249	3.28	115	46.18	12	0.16	14	1	20	7	61	-	-	7	-	127
	計	9 203	394	4.28	175	44.42	14	0.15	19	1	36	8	97	-	-	9	-	210
～29歳	初診	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	再診	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
30～39	初診	90	3	3.33	1	33.33	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
	再診	101	6	5.94	2	33.33	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	4
	計	191	9	4.71	3	33.33	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	6
40～49	初診	632	56	8.86	22	39.29	-	-	-	-	7	1	14	-	-	2	-	32
	再診	1 974	86	4.36	34	39.53	3	0.15	3	-	7	5	16	-	-	2	-	50
	計	2 606	142	5.45	56	39.44	3	0.12	3	-	14	6	30	-	-	4	-	82
50～59	初診	550	58	10.55	23	39.66	-	-	3	-	7	-	13	-	-	-	-	35
	再診	2 897	96	3.31	44	45.83	3	0.10	7	-	9	1	24	-	-	-	-	52
	計	3 447	154	4.47	67	43.51	3	0.09	10	-	16	1	37	-	-	-	-	87
60～69	初診	282	23	8.16	10	43.48	2	0.71	2	-	2	-	4	-	-	-	-	13
	再診	1 721	39	2.27	23	58.97	2	0.12	4	-	2	1	14	-	-	2	-	14
	計	2 003	62	3.10	33	53.23	4	0.20	6	-	4	1	18	-	-	2	-	27
70歳～	初診	59	5	8.47	4	80.00	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	1
	再診	891	22	2.47	12	54.55	4	0.45	-	1	2	-	5	-	-	3	-	7
	計	950	27	2.84	16	59.26	4	0.42	-	1	2	-	9	-	-	3	-	8

*他医で受診により結果不明

(2025年8月31日現在)

表6 年齢階級別受診者数及び精密検査結果（US実施群）

区分	受診者	要精検者		精検受診者		精密検査結果										他医へ受診*	未受診	受診状況不詳
		数	%	数	%	乳がん		乳腺症	線維腺腫	石灰化像	のう胞	その他	異常なし	未判明 (経過観察)				
						数	%											
総数	初診	1 271	65	5.11	48	73.85	-	-	-	-	1	11	36	-	-	3	-	14
	再診	4 340	165	3.80	136	82.42	3	0.07	2	-	3	25	103	-	-	2	-	27
	計	5 611	230	4.10	184	80.00	3	0.05	2	-	4	36	139	-	-	5	-	41
～29歳	初診	218	10	4.59	8	80.00	-	-	-	-	-	3	5	-	-	1	-	1
	再診	238	8	3.36	7	87.50	-	-	-	-	-	1	6	-	-	-	-	1
	計	456	18	3.95	15	83.33	-	-	-	-	-	4	11	-	-	1	-	2
30～39	初診	650	27	4.15	23	85.19	-	-	-	-	1	6	16	-	-	1	-	3
	再診	1 338	67	5.01	57	85.07	-	-	-	-	1	15	41	-	-	-	-	10
	計	1 988	94	4.73	80	85.11	-	-	-	-	2	21	57	-	-	1	-	13
40～49	初診	188	12	6.38	7	58.33	-	-	-	-	-	1	6	-	-	1	-	4
	再診	899	52	5.78	42	80.77	1	0.11	1	-	2	8	30	-	-	1	-	9
	計	1 087	64	5.89	49	76.56	1	0.09	1	-	2	9	36	-	-	2	-	13
50～59	初診	127	7	5.51	4	57.14	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	3
	再診	1 052	22	2.09	17	77.27	2	0.19	1	-	-	1	13	-	-	-	-	5
	計	1 179	29	2.46	21	72.41	2	0.17	1	-	-	2	16	-	-	-	-	8
60～69	初診	77	6	7.79	4	66.67	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	2
	再診	565	9	1.59	8	88.89	-	-	-	-	-	-	8	-	-	1	-	-
	計	642	15	2.34	12	80.00	-	-	-	-	-	-	12	-	-	1	-	2
70歳～	初診	11	3	27.27	2	66.67	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1
	再診	248	7	2.82	5	71.43	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	2
	計	259	10	3.86	7	70.00	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	3

*他医で受診により結果不明

(2025年8月31日現在)

表7 年齢階級別受診者数及び精密検査結果（視触診群）

区分	受診者	要精検者		精検受診者		精密検査結果										他医へ受診*	未受診	受診状況不詳
		数	%	数	%	乳がん		乳腺症	線維腺腫	石灰化像	のう胞	その他	異常なし	未判明 (経過観察)				
						数	%											
総数	初診	173	4	2.31	4	100.00	2	1.16	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
	再診	532	11	2.07	8	72.73	2	0.38	1	-	1	1	3	-	-	2	-	1
	計	705	15	2.13	12	80.00	4	0.57	1	-	1	1	5	-	-	2	-	1
～29歳	初診	115	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	再診	140	1	0.71	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	計	255	1	0.39	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
30～39	初診	29	1	3.45	1	100.00	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	再診	116	1	0.86	1	100.00	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
	計	145	2	1.38	2	100.00	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-
40～49	初診	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	再診	139	1	0.72	1	100.00	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	154	1	0.65	1	100.00	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
50～59	初診	9	1	11.11	1	100.00	1	11.11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	再診	107	3	2.80	2	66.67	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-
	計	116	4	3.45	3	75.00	1	0.86	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-
60～69	初診	4	1	25.00	1	100.00	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
	再診	26	2	7.69	2	100.00	1	3.85	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
	計	30	3	10.00	3	100.00	1	3.33	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-
70歳～	初診	1	1	100.00	1	100.00	1	100.00	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	再診	4	3	75.00	2	66.67	1	25.00	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-
	計	5	4	80.00	3	75.00	2	40.00	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-

*他医で受診により結果不明

(2025年8月31日現在)

乳がん検診（地域）

表1 年度別受診者数及び検診結果

区分	受診者	要精検		精検不要	
		数	%	数	%
2024年度	10 446	651	6.2	9 795	93.8
初診	2 635	204	7.7	2 431	92.3
再診	7 811	447	5.7	7 364	94.3
2023年度	10 868	642	5.9	10 226	94.1
2022年度	10 545	651	6.2	9 894	93.8

表2 プロセス評価（要精検率・精検受診率・がん発見率）

	地域
受診者数 N	10 446
要精検者数 X	651
要精検率 X/N(%)	6.2
精検受診者数 Y	582
精検受診率 Y/X(%)	89.4
がん発見数 Z	44
がん発見率 Z/N(%)	0.42
陽性反応的中度 Z/X(%)	6.76

表3 年度別受診者数及び精密検査結果

区分	受診者	要精検	精検受診者		精密検査結果										未把握
					乳がん		乳腺症	線維腺腫	乳腺炎	石灰化像	のう胞	その他の患	経過観察	異常なし	
					数	%									
2024年度	10 446	651	582	89.4	44	0.42	15	34	-	4	23	89	23	350	69
初診	2 635	204	180	88.2	19	0.72	2	14	-	-	6	28	10	101	24
再診	7 811	447	402	89.9	25	0.32	13	20	-	4	17	61	13	249	45
2023年度	10 868	642	564	87.9	34	0.31	17	37	-	7	43	59	41	326	78
2022年度	10 545	651	596	91.6	33	0.31	21	45	-	6	33	97	16	345	55

(2025年8月31日現在)

表4 年齢階級別受診者、要精検者及びがん確定者数

区分	総数	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60~64	65~69	70~74	75~79	80歳~
受診者	10 446	-	1 166	990	1 345	1 039	1 194	1 122	1 596	1 228	766
要精検	651	-	82	63	101	57	67	66	100	74	41
%	6.2	-	7.0	6.4	7.5	5.5	5.6	5.9	6.3	6.0	5.4
がん確定	44	-	1	3	6	3	9	4	5	7	6
%	0.42	-	0.09	0.30	0.45	0.29	0.75	0.36	0.31	0.57	0.78

%は各年齢階級別受診者に対する%

(2025年8月31日現在)

表5 市町村別受診者数及び精検結果

区分	受診者	要精検者		精検受診者		精密検査結果										未把握
		数	%	数	%	乳がん	乳腺症	線維腺腫	乳腺炎	石灰化像	のう胞	その他の患	経過観察	異常なし		
総数	10 446	651	6.2	582	89.4	44	15	34	-	4	23	89	23	350	69	
初診	2 635	204	7.7	180	88.2	19	2	14	-	-	6	28	10	101	24	
再診	7 811	447	5.7	402	89.9	25	13	20	-	4	17	61	13	249	45	
平塚市	1 611	121	7.5	111	91.7	6	6	3	-	-	8	24	1	63	10	
初診	423	41	9.7	38	92.7	2	1	2	-	-	3	9	1	20	3	
再診	1 188	80	6.7	73	91.3	4	5	1	-	-	5	15	-	43	7	
小田原市	855	50	5.8	28	56.0	2	-	-	-	-	4	3	1	18	22	
初診	222	14	6.3	8	57.1	1	-	-	-	-	1	1	-	5	6	
再診	633	36	5.7	20	55.6	1	-	-	-	-	3	2	1	13	16	
茅ヶ崎市	824	46	5.6	40	87.0	2	-	1	-	-	4	1	3	29	6	
初診	227	18	7.9	14	77.8	1	-	1	-	-	-	-	1	11	4	
再診	597	28	4.7	26	92.9	1	-	-	-	-	4	1	2	18	2	
厚木市	2 922	183	6.3	177	96.7	12	5	19	-	4	4	19	4	110	6	
初診	736	56	7.6	53	94.6	5	1	7	-	-	1	5	2	32	3	
再診	2 186	127	5.8	124	97.6	7	4	12	-	4	3	14	2	78	3	
大和市	476	44	9.2	42	95.5	4	-	3	-	-	-	7	4	25	2	
初診	92	11	12.0	10	90.9	-	-	2	-	-	-	-	2	6	1	
再診	384	33	8.6	32	97.0	4	-	1	-	-	-	7	2	19	1	
伊勢原市	582	37	6.4	36	97.3	1	2	1	-	-	-	8	-	23	1	
初診	103	9	8.7	8	88.9	1	-	1	-	-	-	3	-	3	1	
再診	479	28	5.8	28	100.0	-	2	-	-	-	-	5	-	20	-	
海老名市	343	19	5.5	19	100.0	4	-	1	-	-	1	7	-	6	-	
初診	77	6	7.8	6	100.0	4	-	-	-	-	-	1	-	1	-	
再診	266	13	4.9	13	100.0	-	-	1	-	-	1	6	-	5	-	
座間市	737	44	6.0	39	88.6	1	-	3	-	-	-	1	9	25	5	
初診	217	16	7.4	13	81.3	-	-	-	-	-	-	-	4	9	3	
再診	520	28	5.4	26	92.9	1	-	3	-	-	-	1	5	16	2	
大磯町	435	16	3.7	15	93.8	3	-	-	-	-	-	1	1	10	1	
初診	83	3	3.6	3	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	
再診	352	13	3.7	12	92.3	3	-	-	-	-	-	1	1	7	1	
二宮町	260	14	5.4	12	85.7	4	-	-	-	-	1	1	-	6	2	
初診	106	6	5.7	5	83.3	3	-	-	-	-	-	-	-	2	1	
再診	154	8	5.2	7	87.5	1	-	-	-	-	1	1	-	4	1	
中井町	163	7	4.3	6	85.7	-	-	-	-	-	-	1	-	5	1	
初診	26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
再診	137	7	5.1	6	85.7	-	-	-	-	-	-	1	-	5	1	
大井町	228	12	5.3	12	100.0	-	1	-	-	-	-	3	-	8	-	
初診	64	6	9.4	6	100.0	-	-	-	-	-	-	2	-	4	-	
再診	164	6	3.7	6	100.0	-	1	-	-	-	-	1	-	4	-	
山北町	197	8	4.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	
初診	29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
再診	168	8	4.8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	
真鶴町	93	6	6.5	6	100.0	-	-	-	-	-	1	2	-	3	-	
初診	25	4	16.0	4	100.0	-	-	-	-	-	1	1	-	2	-	
再診	68	2	2.9	2	100.0	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	
愛川町	578	35	6.1	31	88.6	4	1	3	-	-	-	6	-	17	4	
初診	109	10	9.2	9	90.0	2	-	1	-	-	-	3	-	3	1	
再診	469	25	5.3	22	88.0	2	1	2	-	-	-	3	-	14	3	
鎌倉市	142	9	6.3	8	88.9	1	-	-	-	-	-	5	-	2	1	
初診	96	4	4.2	3	75.0	-	-	-	-	-	-	3	-	-	1	
再診	46	5	10.9	5	100.0	1	-	-	-	-	-	2	-	2	-	

(2024年8月31日現在)

神奈川からがんをなくす会 (会員制・ACクラブ)

表1 検査項目別会員内訳

検診パターン					令和5年度まで		令和6年度入会		総 数		
					男	女	男	女	男	女	総数
1	(消)	(肺)			14	0	0	0	14	0	14
2	(消)		(子)	(乳)	0	15	0	0	0	15	15
3	(消)	(肺)	(子)	(乳)	0	3	0	0	0	3	3
4			(子)	(乳)	0	1	0	0	0	1	1
5		(肺)			1	0	0	0	1	0	1
6	(消)				1	0	0	0	1	0	1
計					16	19	0	0	16	19	35

表2 年齢階級別会員内訳

区分	総数	～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65～69	70～74	75～79	80～
男	16	0	0	0	0	0	1	0	1	3	3	4	4
女	19	0	0	0	0	0	0	1	0	5	4	4	5
計	35	0	0	0	0	0	1	1	1	8	7	8	9

消化器がん検診

表3 X線・内視鏡および確定診断

区分	X線検査 受診者	要内視鏡 検査者	内視鏡検 査受診者	精密検査結果		確 定 診 断						
				要治療	異常なし	胃がん	胃 ポリープ	*) 胃潰瘍	*) 十二指腸 潰瘍	その他の 疾患	異常なし	
男	9	0	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-
女	7	0	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-
計	16	0	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-

*) 潰瘍性瘢痕を含む

表4 超音波（エコー）検査受診者および検査結果

受診者28名（男15名 女13名）

	胆 の う	肝 臓	大 動 脈	膵 臓	腎 臓	脾 臓						
読影可能数	28	28	28	28	28	28						
有 所 見 者 内 訳	胆のうポリープ	9	肝のう胞	13	大動脈石灰化	24	膵エコーレベル上昇	6	腎のう胞	12	脾腫	2
	胆のう切除後	2	脂肪肝	9	大動脈口径不整	2	膵管拡張	1	腎石灰化	15	脾描出不良	2
	胆石症	3	肝外胆管拡張	1	大動脈蛇行	2	膵臓描出不良	9	腎盂拡張疑い	2		
	胆のう腫大疑い	1	肝血管腫	1	大動脈肥厚	3	膵臓石灰化疑い	1	腎高エコー一域	2		
	胆のう腺筋症	1	肝内高エコー域	2	全体描出不良	1			腎結石	1		
	胆のう壁在結石	1	肝内石灰化	2								
			肝実質エコー不均一	1								
		肝縁鈍化疑い	1									

表5 便潜血反応検査別大腸検診結果

区分	検受診者 便数	便潜血反応陽性	大腸ポリープ	大腸がん	異常なし	その他	未受診
男	15	0	-	-	-	-	-
女	13	0	-	-	-	-	-
合計	28	0	-	-	-	-	-

肺がん検診

表6 再検査・精密検査の内訳

	受診者	再精検 受診者	単純撮影	喀痰 細胞診	気管支鏡	CT	精密検査結果			他機関 受診
							要治療	経過観察	異常なし	
胸X-pのみ	0	0	-	-	-	-	-	-	-	-
胸X-p・CT	15	1	-	-	-	1	1	-	-	1
合計	15	1	-	-	-	1	1	-	-	1

表7 喀痰細胞診判定別検体数・率

	区分	数	率 (%)
材料不適要再検	A	0	0.0%
異常なし	B	15	100.0%
要経過観察	C	0	0.0%
至急精密検査	D	0	0.0%
がん	E	0	0.0%
	計	15	100.0%

表8 検診の結果で発見された所見

区分	肺 がん	胸胸 膜膜 肥ゆ 厚着	治 ゆ 所 見	癒 痕	結 節 影	肺 気 腫	肺 肺 纖 維 化 傾 向	中 葉 症 候 群	板 状 無 気 肺	気 管 支 拡 張 症	気 管 支 炎 炎	肺 術 後	じ ん 肺	肺 の う 胞	異常所見			そ の 他
															炎 症 所 見	微 細 所 見	疑 問 所 見	
胸X-pのみ	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
胸X-p・CT	0	0	0	12	3	1	2	0	5	2	0	0	0	0	1	0	0	6
合計	0	0	0	12	3	1	2	0	5	2	0	0	0	0	1	0	0	6

乳がん検診

表9 検査別乳がん検診結果

区分	検診			精検及半年以内の再検	穿刺細胞診	他機関紹介	乳がん
	マンモグラフィ	エコーグラム	計				
総数	7	7	14	0	-	-	-

子宮がん検診

表10 子宮がん検診結果

区分	子宮頸部がん検診				子宮体部がん検診			
	受診者	要精検	要再検	頸がん	受診者	要精検	要再検	体がん
総数	8	0	0	0	7	0	0	0

付加検診

表11 付加検診 有所見者数の内訳

	受診者	肝機能検査		血中脂質検査		血糖検査		貧血		腎・泌尿器		心電図	
		有所見者数	%	有所見者数	%	有所見者数	%	有所見者数	%	有所見者数	%	有所見者数	%
男	15	3	20.0%	8	53.0%	7	46.7%	5	33.3%	8	53.3%	4	26.7%
女	13	0	0.0%	7	53.8%	3	23.0%	0	0.0%	3	23.1%	7	53.8%
計	28	3	10.7%	15	53.6%	10	35.7%	5	17.9%	11	39.3%	11	39.3%

一般健康診断・精密総合健診

■ 一般健康診断

労働安全衛生規則第43～47条によって事業主が実施することが義務づけられている健康診断。定期健康診断、雇入時の健康診断、特定業務従事者の健康診断、海外派遣労働者の健康診断、給食従業員の検便・歯科医師による健診などがある。

産業保健において基本となる健診であり、当協会では検査～評価～集団特性を含む結果報告から事後フォローまで一貫したサービスを提供。事業場と労働者のQOLの向上を支援している。

令和6(2024)年度、当協会では1,919団体、24万1,256名に健診を実施した。また中小事業場が主体である全国健康保険協会の生活習慣病予防健診を2,367団体、24,425名が受診している。

■ 特定健康診査

平成20(2008)年度施行の「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づく40歳以上を対象とする健康診査。メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に着目した健診で、実施本体は保険者となるが、当協会ではその大半が労働安全衛生法の健診として併用実施している。

生活習慣病予防のための特定健康診査の実施総数は被保険者で118,855名、被扶養者は3,355名であり、122,210名であった。契約体系別でみると個別契約が96.0%、集合契約が4.0%、保険者別の実施割合は組合健康保険80.9%、全国健康保険協会16.4%、国民健康保険2.7%となっている。

■ 特定保健指導

平成20(2008)年度施行の「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づく40歳以上を対象とする保健指導。特定健康診査のリスクに応じて「動機付け支援」と「積極的支援」があり、保健師または管理栄養士が対応する。実施主体は保険者となる。当協会は対象者の9割以上が労働者であるため、労働者の所属している事業場と医療保険者両者の生活習慣病予防に寄与できるよう、産業看護職の視点から連携している。

平成20(2008)年度から保健指導品質管理システムを導入し、保健指導サービスの品質管理に関する方針を設定。マニュアルに沿って委員会活動、内部監査を実施し、保健指導や運営全体の質の管理をしている。

第3期特定健診・特定保健指導では、健康診断当日の初回面接を推奨している。対象者の健康意識が高まり、利便性がよく実施率の向上につながるためである。当協会では、初回面接の分割実施と階層化の後に実施する2種類がある。

また、遠隔支援では、面接にビデオ通話を導入している。保健指導を標準化し、質を担保している。

■ 骨粗しょう症予防検査

骨密度の減少を早期に発見し、将来の骨粗しょう症への進行を防止することを目的に踵骨超音波を利用した骨密度測定をしている。測定結果は、7段階(異常なし・軽度注意①・軽度注意②・要注意①・要注意②・要精検・要治療)で判定している(表2・表3)。

またこの検査は、一般健診、人間ドックのオプション検査項目としても実施し、骨密度の低い人には、医師や保健師、管理栄養士が予防のためのサポートをしている。施設に設置した骨粗しょう症外来では、受診者の経年変化も追っている。

■ 歯科健康診査

一口腔単位の(口腔全体を対象とした)健康診査。一般健診と同時に実施。歯科医師による診査、指導および結果報告として実施される。

健診内容は、基本診査項目として歯と歯周組織を中心に診査し、関連項目として口腔粘膜、舌、顎関節等についても実施する。評価は「異常なし」「要注意」「要予防処置」「要検査」「要治療」「治療中」「その他」として総合評価を実施する。

歯の診査は、う蝕の有無、処置(治療経験)有無、要治療歯等の有無を診査し、歯周組織はCPI(Community Periodontal Index)で評価する。CPIは歯周疾患の重症度の評価方法で、Code 0を正常、1：出血あり、2：歯石あり、3：4～5mmの歯周ポケットあり、4：6mm以上の歯周ポケットの存在を重症度として評価する。これは治療必要度の分類でもある。

口腔の細菌学的評価として、平成30(2018)年度より歯科用細菌カウンターによる口腔細菌数の評価も実施している。菌数レベルで7段階に評価し、歯科健康意識の向上および歯科受診のインセンティブとして利用している。

健康日本21(第3次)では、令和14(2032)年度までに歯科検診の受診率を95%とする目標が掲げられている。本事業の受診者数は、令和4(2022)年度は3,562人、令和5(2023)年度は5,553人、令和6(2024)年度は独自方式による実施分3,458人を含め5,903人と増加傾向で推移している。

■ 精密総合健診(人間ドック)

がん検診を含む日帰り方式の人間ドック。基本コースに加え多彩なオプション検査メニューが用意され、受診者の希望にそって付加できる。全受診者に当日、計測項目・検体検査の結果説明を行い、希望者には画像検査(胃・胸部など)の結果も説明している。特定保健指導(動機付け・積極的支援)も当日実施され拡充に取り組み、特定保健指導数は年々増加している。また、胃内視鏡検査の実施率をさらに拡大した。今後、人間ドックにおける胃検診は胃内視鏡による検査を基本にする予定である。

健診結果の分析では、総合判定区分の分布は例年通りで著変ないが、判定AまたはBのみのいわゆる『Super normal』の受診者は1%に満たない。脂肪肝の増加傾向は継続してみられている。胃部検査の有所見率は増加傾向であるが、これは内視鏡実施率の増加によるものである。がん発見率は0.4%前後で変わらず推移している。

一 般 健 康 診 断

表1 一般健康診断等の種類別受診者及び受診団体数

1-1 一般健康診断

区 分	総 数		一 般 健 康 診 断					一般健康診断時に行うその他の健診		
	受診者	受診団体	全項目等 ¹⁾	省略項目等 ²⁾	その他	雇入れ時	計	総合健診 ³⁾	婦人健診 ⁴⁾	その他の ⁵⁾ 検診・検査
2024年度	241 256	1 919	164 674	26 992	41 438	3 980	237 084	-	-	10 642
2023年度	237 961	1 933	162 235	28 300	33 699	3 705	227 939	-	-	10 022
2022年度	265 156	1 943	167 984	42 488	42 146	3 871	256 489	776	-	7 891

※受診者は延数、受診団体は実数（代表団体）

- 1) 全項目とは労働安全衛生規則で定められた35歳及び40歳以上の者の健診及び項目を追加して実施した健診
- 2) 省略項目とは労働安全衛生規則で認められた一部項目を省略して行った健診及び項目を追加して実施した健診
- 3) 総合健診とは一般健診に消化器検診を加えて行った健診
- 4) 婦人健診とは女性を対象とした協会のセット健診（子宮がん、乳がん、循環器、貧血など20項目）但し、子宮がん、乳がん検診結果については別掲
- 5) その他の検診・検査とは健康診断項目の一部を受託して実施した検診検査

1-2 全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診

区 分	総 数		一 般 健 診			子宮頸がん検診 (単独)	付加健診	ステップアップ 検 査
	受診者数	受診団体	健康診断	乳がん検診 (併用)	子宮頸がん検診 (併用)			
2024年度	24 425	2 367	24 051	616	1 868	374	1 881	281
2023年度	22 247	2 398	21 866	547	1 802	381	674	267
2022年度	26 056	2 349	25 629	694	2 029	427	689	325

表2 検査結果

2-1 血圧

男

区 分	受診者	最大血圧		最小血圧		(正常域) ~139 及び~89		(境界域) 140~159 又は90~99		(高血圧) 160~ 又は100~	
		平均値 (mmHg)	標準偏差	平均値 (mmHg)	標準偏差	数	%	数	%	数	%
~ 29 歳	22 997	117.0	12.2	66.9	9.5	22 418	97.5	519	2.3	60	0.3
30 ~ 39	31 375	118.6	13.0	71.8	10.5	29 421	93.8	1 548	4.9	406	1.3
40 ~ 49	30 884	121.1	14.3	76.8	11.4	26 712	86.5	2 991	9.7	1 181	3.8
50 ~ 59	36 696	124.6	14.8	80.4	11.1	28 928	78.8	5 645	15.4	2 123	5.8
60 歳 ~	21 509	127.1	15.5	79.3	10.7	16 755	77.9	3 696	17.2	1 058	4.9
計	143 461	121.7	14.0	75.0	10.6	124 234	86.6	14 399	10.0	4 828	3.4

女

区 分	受診者	最大血圧		最小血圧		(正常域) ~139 及び~89		(境界域) 140~159 又は90~99		(高血圧) 160~ 又は100~	
		平均値 (mmHg)	標準偏差	平均値 (mmHg)	標準偏差	数	%	数	%	数	%
~ 29 歳	16 481	107.2	11.3	63.4	8.6	16 381	99.4	76	0.5	24	0.1
30 ~ 39	14 888	108.1	12.7	65.3	9.9	14 596	98.0	212	1.4	80	0.5
40 ~ 49	16 302	113.1	15.0	69.1	11.6	15 319	94.0	749	4.6	234	1.4
50 ~ 59	19 870	117.9	16.3	72.5	11.7	17 818	89.7	1 611	8.1	441	2.2
60 歳 ~	11 745	123.0	16.8	73.4	11.2	9 999	85.1	1 390	11.8	356	3.0
計	79 286	113.9	14.4	68.7	10.6	74 113	93.5	4 038	5.1	1 135	1.4

2-2 BMI

男

区分	受診者	平均値	標準偏差	～18.4		18.5～24.9		25.0～29.9		30.0～34.9		35.0～39.9		40.0～	
				数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%
～29歳	22 950	22.7	3.8	2 056	9.0	15 950	69.5	3 853	16.8	798	3.5	232	1.0	61	0.3
30～39	31 356	23.8	4.0	1 459	4.7	20 055	64.0	7 534	24.0	1 758	5.6	432	1.4	118	0.4
40～49	30 866	24.2	3.9	869	2.8	19 090	61.8	8 436	27.3	1 931	6.3	431	1.4	109	0.4
50～59	36 673	24.6	3.8	850	2.3	21 465	58.5	11 251	30.7	2 523	6.9	492	1.3	92	0.3
60歳～	21 474	24.0	3.4	634	3.0	13 391	62.4	6 308	29.4	996	4.6	132	0.6	13	0.1
計	143 319	23.9	3.8	5 868	4.1	89 951	62.8	37 382	26.1	8 006	5.6	1 719	1.2	393	0.3

女

区分	受診者	平均値	標準偏差	～18.4		18.5～24.9		25.0～29.9		30.0～34.9		35.0～39.9		40.0～	
				数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%
～29歳	16 488	21.0	3.3	3 065	18.6	11 826	71.7	1 225	7.4	268	1.6	86	0.5	18	0.1
30～39	14 876	21.8	3.9	2 164	14.5	10 300	69.2	1 784	12.0	471	3.2	112	0.8	45	0.3
40～49	16 202	22.4	4.0	1 956	12.1	10 939	67.5	2 442	15.1	679	4.2	151	0.9	35	0.2
50～59	19 786	22.7	4.2	2 384	12.0	12 747	64.4	3 428	17.3	963	4.9	204	1.0	60	0.3
60歳～	11 743	22.5	3.8	1 487	12.7	7 615	64.8	2 129	18.1	435	3.7	68	0.6	9	0.1
計	79 095	22.1	3.8	11 056	14.0	53 427	67.5	11 008	13.9	2 816	3.6	621	0.8	167	0.2

2-3 腹囲

男

区分	受診者	平均値 (cm)	標準偏差	～74.9		75.0～79.9		80.0～84.9		85.0～89.9		90.0～94.9		95.0～99.9		100.0～	
				数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%
～29歳	17 101	77.0	9.6	7 856	45.9	3 870	22.6	2 421	14.2	1 334	7.8	709	4.1	404	2.4	507	3.0
30～39	25 439	82.0	10.4	6 969	27.4	5 530	21.7	4 928	19.4	3 344	13.1	2 072	8.1	1 148	4.5	1 448	5.7
40～49	30 333	83.0	10.2	5 928	19.5	5 938	19.6	6 981	23.0	4 702	15.5	2 981	9.8	1 798	5.9	2 005	6.6
50～59	35 900	85.0	10.0	5 124	14.3	6 434	17.9	8 580	23.9	6 175	17.2	4 273	11.9	2 656	7.4	2 658	7.4
60歳～	20 778	85.0	9.2	2 780	13.4	3 610	17.4	5 220	25.1	3 910	18.8	2 580	12.4	1 491	7.2	1 187	5.7
計	129 551	82.4	9.9	28 657	22.1	25 382	19.6	28 130	21.7	19 465	15.0	12 615	9.7	7 497	5.8	7 805	6.0

女

区分	受診者	平均値 (cm)	標準偏差	～74.9		75.0～79.9		80.0～84.9		85.0～89.9		90.0～94.9		95.0～99.9		100.0～	
				数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%
～29歳	10 387	69.0	7.8	8 536	82.2	964	9.3	417	4.0	225	2.2	126	1.2	46	0.4	73	0.7
30～39	10 761	73.0	9.4	7 207	67.0	1 530	14.2	874	8.1	517	4.8	311	2.9	157	1.5	165	1.5
40～49	15 388	75.0	9.9	8 539	55.5	2 642	17.2	1 846	12.0	1 109	7.2	585	3.8	320	2.1	347	2.3
50～59	18 907	78.0	10.8	8 553	45.2	3 490	18.5	2 633	13.9	1 880	9.9	1 043	5.5	629	3.3	679	3.6
60歳～	11 210	78.0	10.4	4 530	40.4	2 123	18.9	1 841	16.4	1 278	11.4	702	6.3	387	3.5	349	3.1
計	66 653	74.6	9.6	37 365	56.1	10 749	16.1	7 611	11.4	5 009	7.5	2 767	4.2	1 539	2.3	1 613	2.4

2-4 貧血

男

区分	受診者	異常なし		ほぼ正常		要経過観察		要二次検査		要受診		受診中	
		数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%
～29歳	17 090	14 883	87.1	130	0.8	2 002	11.7	49	0.3	21	0.1	5	0.0
30～39	24 871	21 721	87.3	199	0.8	2 813	11.3	93	0.4	41	0.2	4	0.0
40～49	24 406	21 064	86.3	114	0.5	2 994	12.3	159	0.7	60	0.2	15	0.1
50～59	29 081	24 045	82.7	135	0.5	4 484	15.4	281	1.0	103	0.4	33	0.1
60歳～	17 883	13 726	76.8	39	0.2	3 471	19.4	423	2.4	182	1.0	42	0.2
計	113 331	95 439	84.2	617	0.5	15 764	13.9	1 005	0.9	407	0.4	99	0.1

女

区分	受診者	異常なし		ほぼ正常		要経過観察		要二次検査		要受診		受診中	
		数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%
～29歳	13 180	11 063	83.9	11	0.1	1 417	10.8	499	3.8	141	1.1	49	0.4
30～39	12 532	10 026	80.0	22	0.2	1 372	10.9	720	5.7	256	2.0	136	1.1
40～49	13 750	10 408	75.7	21	0.2	1 693	12.3	875	6.4	521	3.8	232	1.7
50～59	16 573	13 380	80.7	36	0.2	2 239	13.5	539	3.3	214	1.3	165	1.0
60歳～	9 942	8 319	83.7	15.0	0.2	1 205	12.1	306	3.1	64	0.6	33	0.3
計	65 977	53 196	80.6	105	0.2	7 926	12.0	2 939	4.5	1 196	1.8	615	0.9

※血色素量・赤血球数を実施している者を対象とする

2-5 肝機能

男

区分	受診者	異常なし		ほぼ正常		要経過観察		要二次検査		要受診		受診中	
		数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%
～29歳	18 509	14 071	76.0	106	0.6	2 416	13.1	1 551	8.4	350	1.9	15	0.1
30～39	26 650	17 847	67.0	243	0.9	4 759	17.9	3 120	11.7	636	2.4	45	0.2
40～49	26 405	16 941	64.2	226	0.9	5 556	21.0	3 010	11.4	594	2.2	78	0.3
50～59	31 531	20 550	65.2	236	0.7	6 768	21.5	3 112	9.9	719	2.3	146	0.5
60歳～	19 343	13 667	70.7	115	0.6	3 648	18.9	1 361	7.0	399	2.1	153	0.8
計	122 438	83 076	67.9	926	0.8	23 147	18.9	12 154	9.9	2 698	2.2	437	0.4

女

区分	受診者	異常なし		ほぼ正常		要経過観察		要二次検査		要受診		受診中	
		数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%
～29歳	14 013	13 272	94.7	10	0.1	493	3.5	176	1.3	53	0.4	9	0.1
30～39	13 420	12 350	92.0	10	0.1	704	5.2	250	1.9	90	0.7	16	0.1
40～49	14 837	13 299	89.6	18	0.1	1 082	7.3	316	2.1	101	0.7	21	0.1
50～59	18 222	14 878	81.6	44	0.2	2 215	12.2	744	4.1	292	1.6	49	0.3
60歳～	11 074	9 124	82.4	14	0.1	1 286	11.6	388	3.5	203	1.8	59	0.5
計	71 566	62 923	87.9	96	0.1	5 780	8.1	1 874	2.6	739	1.0	154	0.2

※AST (GOT). ALT (GPT). γ -GTPについて検査した者を対象とする

2-6 脂質

男

区 分	受診者	異常なし		ほぼ正常		要経過観察		要二次検査		要受診		受診中	
		数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%
～29歳	17 628	12 220	69.3	214	1.2	4 089	23.2	926	5.3	138	0.8	41	0.2
30～39	25 617	14 248	55.6	611	2.4	7 718	30.1	2 231	8.7	493	1.9	316	1.2
40～49	25 817	11 829	45.8	844	3.3	8 848	34.3	2 459	9.5	573	2.2	1 264	4.9
50～59	31 121	12 670	40.7	1 344	4.3	10 182	32.7	2 691	8.6	588	1.9	3 646	11.7
60歳～	18 698	7 659	41.0	865	4.6	5 384	28.8	1 266	6.8	195	1.0	3 329	17.8
計	118 881	58 626	49.3	3 878	3.3	36 221	30.5	9 573	8.1	1 987	1.7	8 596	7.2

女

区 分	受診者	異常なし		ほぼ正常		要経過観察		要二次検査		要受診		受診中	
		数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%
～29歳	13 306	10 782	81.0	306	2.3	1 756	13.2	394	3.0	51	0.4	17	0.1
30～39	12 772	9 471	74.2	410	3.2	2 100	16.4	616	4.8	101	0.8	74	0.6
40～49	14 312	9 493	66.3	750	5.2	2 825	19.7	857	6.0	135	0.9	252	1.8
50～59	17 340	7 413	42.8	1 527	8.8	4 751	27.4	2 045	11.8	399	2.3	1 205	6.9
60歳～	10 515	3 636	34.6	879	8.4	2 878	27.4	1 178	11.2	229	2.2	1 715	16.3
計	68 245	40 795	59.8	3 872	5.7	14 310	21.0	5 090	7.5	915	1.3	3 263	4.8

※LDLコレステロール、HDLコレステロール、トリグリセライドについて検査した者を対象とする

2-7 選別聴力

男

区 分	総 数		年 代									
			～29歳		30～39		40～49		50～59		60歳～	
	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%
総 数	108 370	100.0	12 765	100.0	19 133	100.0	26 247	100.0	31 337	100.0	18 888	100.0
所見あり総数	11 380	10.5	164	1.3	347	1.8	1 222	4.7	3 634	11.6	6 013	31.8
1 KHzのみ	1 547	1.4	35	0.3	96	0.5	220	0.8	525	1.7	671	3.6
4 KHzのみ	6 706	6.2	57	0.4	130	0.7	686	2.6	2 328	7.4	3 505	18.6
1.4KHzとも	3 127	2.9	72	0.6	121	0.6	316	1.2	781	2.5	1 837	9.7
所見なし	96 990	89.5	12 601	98.7	18 786	98.2	25 025	95.3	27 703	88.4	12 875	68.2

女

区 分	総 数		年 代									
			～29歳		30～39		40～49		50～59		60歳～	
	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%
総 数	60 606	100.0	8 652	100.0	9 179	100.0	14 462	100.0	17 850	100.0	10 463	100.0
所見あり総数	3 267	5.4	102	1.2	133	1.4	377	2.6	952	5.3	1 703	16.3
1 KHzのみ	1 219	2.0	29	0.3	46	0.5	142	1.0	397	2.2	605	5.8
4 KHzのみ	923	1.5	19	0.2	35	0.4	104	0.7	258	1.4	507	4.8
1.4KHzとも	1 125	1.9	54	0.6	52	0.6	131	0.9	297	1.7	591	5.6
所見なし	57 339	94.6	8 550	98.8	9 046	98.6	14 085	97.4	16 898	94.7	8 760	83.7

2-8 心電図

男

区分	受診者	異常なし		ほぼ正常		要経過観察		要二次検査		要受診		受診中	
		数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%
～29歳	13 833	11 154	80.6	2 088	15.1	532	3.8	39	0.3	6	0.0	14	0.1
30～39	20 849	16 821	80.7	3 002	14.4	925	4.4	58	0.3	13	0.1	30	0.1
40～49	26 328	20 019	76.0	4 077	15.5	1 999	7.6	76	0.3	43	0.2	114	0.4
50～59	31 448	22 219	70.7	4 973	15.8	3 451	11.0	162	0.5	135	0.4	508	1.6
60歳～	19 210	11 228	58.4	3 383	17.6	3 189	16.6	261	1.4	190	1.0	959	5.0
計	111 668	81 441	72.9	17 523	15.7	10 096	9.0	596	0.5	387	0.3	1 625	1.5

女

区分	受診者	異常なし		ほぼ正常		要経過観察		要二次検査		要受診		受診中	
		数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%
～29歳	8 866	7 479	84.4	1 046	11.8	321	3.6	9	0.1	-	-	11	0.1
30～39	9 724	8 090	83.2	1 135	11.7	453	4.7	20	0.2	6	0.1	20	0.2
40～49	14 582	11 867	81.4	1 583	10.9	1 041	7.1	35	0.2	13	0.1	43	0.3
50～59	17 981	13 683	76.1	2 114	11.8	1 989	11.1	78	0.4	24	0.1	93	0.5
60歳～	10 648	7 172	67.4	1 488	14.0	1 671	15.7	88	0.8	47	0.4	182	1.7
計	61 801	48 291	78.1	7 366	11.9	5 475	8.9	230	0.4	90	0.1	349	0.6

2-9 眼底

男

女

区分	受診者	Keith-Wagener (KW) 分類								受診者	Keith-Wagener (KW) 分類							
		0	I	II	II a	II b	III	III a	IV		0	I	II	II a	II b	III	III a	IV
～29歳	131	128	2	-	-	-	1	-	-	100	99	1	-	-	-	-	-	-
30～39	3 987	3 913	65	-	4	2	3	-	-	2 173	2 142	29	-	2	-	-	-	-
40～49	11 617	10 267	1 305	-	33	8	4	-	-	6 285	5 819	448	-	12	5	1	-	-
50～59	13 640	6 791	6 624	-	162	61	2	-	-	7 155	4 540	2 553	-	48	13	1	-	-
60歳～	7 810	2 026	5 505	-	228	49	2	-	-	4 146	1 585	2 475	-	65	21	-	-	-
計	37 185	23 125	13 501	-	427	120	12	-	-	19 859	14 185	5 506	-	127	39	2	-	-

2-10 糖代謝

男

区分	受診者	異常なし		ほぼ正常		要経過観察		要二次検査		要受診		受診中	
		数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%
～29歳	17 618	16 729	95.0	107	0.6	690	3.9	41	0.2	27	0.2	24	0.1
30～39	25 604	22 912	89.5	290	1.1	1 905	7.4	215	0.8	127	0.5	155	0.6
40～49	25 765	21 095	81.9	369	1.4	2 892	11.2	593	2.3	281	1.1	535	2.1
50～59	31 015	21 722	70.0	531	1.7	5 175	16.7	1 214	3.9	615	2.0	1 758	5.7
60歳～	18 598	10 656	57.3	305	1.6	3 959	21.3	1 306	7.0	446	2.4	1 926	10.4
計	118 600	93 114	78.5	1 602	1.4	14 621	12.3	3 369	2.8	1 496	1.3	4 398	3.7

女

区分	受診者	異常なし		ほぼ正常		要経過観察		要二次検査		要受診		受診中	
		数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%
～29歳	13 316	12 551	94.3	52	0.4	654	4.9	32	0.2	8	0.1	19	0.1
30～39	12 775	11 499	90.0	85	0.7	1 071	8.4	63	0.5	21	0.2	36	0.3
40～49	14 284	12 054	84.4	96	0.7	1 786	12.5	171	1.2	56	0.4	121	0.8
50～59	17 316	12 093	69.8	109	0.6	4 158	24.0	469	2.7	144	0.8	343	2.0
60歳～	10 505	6 313	60.1	50	0.5	3 110	29.6	470	4.5	155	1.5	407	3.9
計	68 196	54 510	79.9	392	0.6	10 779	15.8	1 205	1.8	384	0.6	926	1.4

2-11 胸部X線

男

区分	受診者	異常なし		年1回観察		要経過観察		要二次検査		要受診		受診中	
		数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%
～29歳	19 477	19 049	97.8	243	1.2	109	0.6	58	0.3	16	0.1	2	0.0
30～39	26 689	25 322	94.9	796	3.0	449	1.7	93	0.3	23	0.1	6	0.0
40～49	25 912	23 360	90.2	1 612	6.2	737	2.8	174	0.7	20	0.1	9	0.0
50～59	30 799	26 159	84.9	3 146	10.2	1 132	3.7	311	1.0	30	0.1	21	0.1
60歳～	18 835	15 003	79.7	2 348	12.5	959	5.1	455	2.4	24	0.1	46	0.2
計	121 712	108 893	89.5	8 145	6.7	3 386	2.8	1 091	0.9	113	0.1	84	0.1

女

区分	受診者	異常なし		年1回観察		要経過観察		要二次検査		要受診		受診中	
		数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%
～29歳	14 721	14 582	99.1	64	0.4	46	0.3	17	0.1	11	0.1	1	0.0
30～39	12 991	12 566	96.7	186	1.4	174	1.3	48	0.4	13	0.1	4	0.0
40～49	14 748	13 585	92.1	518	3.5	525	3.6	102	0.7	16	0.1	2	0.0
50～59	18 153	15 350	84.6	1 258	6.9	1 318	7.3	192	1.1	24	0.1	11	0.1
60歳～	10 753	8 181	76.1	1 178	11.0	1 121	10.4	232	2.2	23	0.2	18	0.2
計	71 366	64 264	90.0	3 204	4.5	3 184	4.5	591	0.8	87	0.1	36	0.1

※心臓、大動脈等の異常で呼吸器系として問題のない所見は除く

〈参考〉 労働安全衛生規則第52条（様式第6号）報告する際の「有所見」の数え方

1	聴力検査（オーディオメータ）	左右の1000Hz、4000Hzのいずれかで、規定レベルの音を聴取できず「所見あり」となった者
2	聴力検査（その他の方法）	会話聴力で異常の認められた者、及び補聴器使用中の者
3	胸部エックス線検査	「異常なし」と判定された以外の者（肺、胸膜の治癒所見を含む）
4	喀痰検査	「異常なし」と判定された以外の者
5	血圧	(1) 収縮期血圧 140mmHg以上の者 (2) 拡張期血圧 90mmHg以上の者
6	貧血検査	血色素量が男で13.6g/dl以下、女で11.5g/dl以下の者
7	肝機能検査	(1) AST (GOT) 34U/l以上 (2) ALT (GPT) 33U/l以上 (3) γ-GTP 75U/l以上の者
8	血中脂質検査	(1) LDLコレステロール 140mg/dl以上の者 (2) HDLコレステロール 39mg/dl以下の者 (3) トリグリセライド 150mg/dl以上の者 (4) 随時トリグリセライド 175mg/dl以上の者
9	血糖検査	(1) 空腹時血糖 110mg/dl以上の者 (2) 随時血糖 140mg/dl以上の者 (3) HbA1C 6.0%以上の者
10	尿検査（糖）	+以上の者。（±は除く）
11	尿検査（蛋白）	+以上の者。（±は除く）
12	心電図検査	判定において「異常なし」「心配なし」以外の者
13	所見のあった者の人数	前記1～12の各項において、「有所見」となった者の実人数
14	医師の指示人数	総合判定において、「要二次検査（要精検・再検）」「要受診」「受診中」とされた者

表3-1 年齢階層別有所見者数及び有所見率(男)

		～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳～	全年齢
受診者数		667	23 829	33 436	33 854	40 760	19 839	3 715	156 100
有所見者数		139	8 135	16 586	20 876	28 844	15 469	3 254	93 303
有所見率		20.8%	34.1%	49.6%	61.7%	70.8%	78.0%	87.6%	59.8%
医師の指示人数		67	3 174	7 401	10 242	17 720	11 231	2 560	52 395
指示率		10.0%	13.3%	22.1%	30.3%	43.5%	56.6%	68.9%	33.6%
聴力(1000Hz)	実施者数	349	12 771	19 418	26 504	31 564	15 954	3 012	109 572
	有所見者数	5	102	217	536	1 306	1 621	887	4 674
	有所見率	1.4%	0.8%	1.1%	2.0%	4.1%	10.2%	29.4%	4.3%
聴力(4000Hz)	実施者数	338	12 425	19 130	26 243	31 324	15 871	3 003	108 334
	有所見者数	9	120	251	1 002	3 109	3 651	1 691	9 833
	有所見率	2.7%	1.0%	1.3%	3.8%	9.9%	23.0%	56.3%	9.1%
聴力その他	実施者数	180	9 940	12 238	4 592	5 252	1 859	316	34 377
	有所見者数	-	1	12	6	23	10	3	55
	有所見率	-	0.0%	0.1%	0.1%	0.4%	0.5%	0.9%	0.2%
胸部X線	実施者数	429	19 048	26 689	25 912	30 799	15 780	3 055	121 712
	有所見者数	4	450	1 575	3 161	5 801	3 888	1 124	16 003
	有所見率	0.9%	2.4%	5.9%	12.2%	18.8%	24.6%	36.8%	13.1%
血圧	実施者数	500	22 497	31 375	30 884	36 696	18 009	3 500	143 461
	有所見者数	11	651	2 091	4 448	8 265	4 171	761	20 398
	有所見率	2.2%	2.9%	6.7%	14.4%	22.5%	23.2%	21.7%	14.2%
貧血	実施者数	353	18 587	27 516	27 340	32 598	16 351	3 204	125 949
	有所見者数	16	727	1 552	2 125	3 540	2 706	1 048	11 714
	有所見率	4.5%	3.9%	5.6%	7.8%	10.9%	16.5%	32.7%	9.3%
肝機能	実施者数	352	18 464	27 155	27 136	32 380	16 389	3 223	125 099
	有所見者数	73	4 135	8 388	9 079	10 389	4 355	611	37 030
	有所見率	20.7%	22.4%	30.9%	33.5%	32.1%	26.6%	19.0%	29.6%
血中脂質	実施者数	351	18 453	26 995	26 938	32 163	16 323	3 204	124 427
	有所見者数	44	3 835	9 138	11 260	13 722	6 161	903	45 063
	有所見率	12.5%	20.8%	33.9%	41.8%	42.7%	37.7%	28.2%	36.2%
血糖	実施者数	350	18 440	26 982	26 883	32 056	16 216	3 210	124 137
	有所見者数	7	363	1 460	3 525	8 266	5 966	1 501	21 088
	有所見率	2.0%	2.0%	5.4%	13.1%	25.8%	36.8%	46.8%	17.0%
尿糖	実施者数	500	22 546	31 395	30 877	36 671	17 992	3 498	143 479
	有所見者数	1	125	387	981	2 576	1 924	469	6 463
	有所見率	0.2%	0.6%	1.2%	3.2%	7.0%	10.7%	13.4%	4.5%
尿蛋白	実施者数	500	22 546	31 395	30 879	36 671	17 993	3 498	143 482
	有所見者数	12	188	288	475	901	647	209	2 720
	有所見率	2.4%	0.8%	0.9%	1.5%	2.5%	3.6%	6.0%	1.9%
心電図	実施者数	334	13 500	20 850	26 333	31 454	16 060	3 152	111 683
	有所見者数	15	689	1 261	2 504	4 445	3 410	946	13 270
	有所見率	4.5%	5.1%	6.0%	9.5%	14.1%	21.2%	30.0%	11.9%

表3-2 年齢階層別有所見者数及び有所見率(女)

		～19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳～	全年齢
受診者数		306	16 924	15 789	17 751	21 817	10 889	1 680	85 156
有所見者数		37	3 536	5 036	7 949	13 396	7 992	1 383	39 329
有所見率		12.1%	20.9%	31.9%	44.8%	61.4%	73.4%	82.3%	46.2%
医師の指示人数		17	1 672	2 615	4 306	8 006	5 449	1 026	23 091
指示率		5.6%	9.9%	16.6%	24.3%	36.7%	50.0%	61.1%	27.1%
聴力(1000Hz)	実施者数	167	8 508	9 186	14 467	17 855	9 153	1 311	60 647
	有所見者数	1	82	98	273	694	864	332	2 344
	有所見率	0.6%	1.0%	1.1%	1.9%	3.9%	9.4%	25.3%	3.9%
聴力(4000Hz)	実施者数	167	8 484	9 179	14 462	17 851	9 153	1 311	60 607
	有所見者数	1	72	87	235	555	779	319	2 048
	有所見率	0.6%	0.8%	0.9%	1.6%	3.1%	8.5%	24.3%	3.4%
聴力その他	実施者数	87	7 748	5 671	1 422	1 525	570	52	17 075
	有所見者数	—	2	5	1	2	1	—	11
	有所見率	—	0.0%	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%	—	0.1%
胸部X線	実施者数	215	14 506	12 991	14 748	18 153	9 343	1 410	71 366
	有所見者数	—	144	475	1 397	3 372	2 638	490	8 516
	有所見率	—	1.0%	3.7%	9.5%	18.6%	28.2%	34.8%	11.9%
血圧	実施者数	217	16 264	14 888	16 302	19 870	10 177	1 568	79 286
	有所見者数	1	124	323	1 038	2 160	1 416	349	5 411
	有所見率	0.5%	0.8%	2.2%	6.4%	10.9%	13.9%	22.3%	6.8%
貧血	実施者数	143	14 222	13 786	15 102	18 449	9 329	1 449	72 480
	有所見者数	8	987	1 433	2 055	850	273	99	5 705
	有所見率	5.6%	6.9%	10.4%	13.6%	4.6%	2.9%	6.8%	7.9%
肝機能	実施者数	144	14 083	13 667	15 162	18 642	9 706	1 517	72 921
	有所見者数	5	572	851	1 150	2 586	1 288	181	6 633
	有所見率	3.5%	4.1%	6.2%	7.6%	13.9%	13.3%	11.9%	9.1%
血中脂質	実施者数	138	14 025	13 592	15 076	18 562	9 680	1 501	72 574
	有所見者数	11	1 216	1 943	2 833	6 400	3 513	484	16 400
	有所見率	8.0%	8.7%	14.3%	18.8%	34.5%	36.3%	32.2%	22.6%
血糖	実施者数	138	14 030	13 589	15 044	18 533	9 653	1 512	72 499
	有所見者数	4	264	545	1 303	3 582	2 793	578	9 069
	有所見率	2.9%	1.9%	4.0%	8.7%	19.3%	28.9%	38.2%	12.5%
尿糖	実施者数	217	16 285	14 868	16 187	19 771	10 174	1 567	79 069
	有所見者数	1	102	137	188	454	334	79	1 295
	有所見率	0.5%	0.6%	0.9%	1.2%	2.3%	3.3%	5.0%	1.6%
尿蛋白	実施者数	217	16 285	14 868	16 188	19 771	10 175	1 567	79 071
	有所見者数	8	313	212	248	207	119	27	1 134
	有所見率	3.7%	1.9%	1.4%	1.5%	1.0%	1.2%	1.7%	1.4%
心電図	実施者数	133	8 733	9 725	14 587	18 000	9 251	1 434	61 863
	有所見者数	5	383	562	1 192	2 269	1 631	296	6 338
	有所見率	3.8%	4.4%	5.8%	8.2%	12.6%	17.6%	20.6%	10.2%

特定健康診査・特定保健指導

特定健康診査

表1 年度別受診者数

区分	総数	男	女
2024年度	122 210	75 259	46 951
2023年度	117 375	73 028	44 347
2022年度	124 096	78 784	45 312

表2 特定健康診査契約別実施数

区分	受診者	個別契約		集合契約	
		数	%	数	%
男	75 259	73 920	98.2	1 339	1.8
女	46 951	43 444	92.5	3 507	7.5
計	122 210	117 364	96.0	4 846	4.0

個別契約：医療保険者（健保）と個々の契約に基づき健診を実施したもの
 集合契約：契約取りまとめ団体との契約に基づき健診を実施したもの

表3 特定健康診査保険者別実施数

区分	受診者	全国健康保険協会		組合健康保険(※)		国民健康保険	
		数	%	数	%	数	%
男	75 259	12 468	16.6	61 632	81.9	1 159	1.5
女	46 951	7 577	16.1	37 266	79.4	2 108	4.5
計	122 210	20 045	16.4	98 898	80.9	3 267	2.7

※組合健康保険には共済組合も含む

表4 特定健康診査対象別実施数

区分	受診者		被保険者				被扶養者			
	計	40-64歳	計	%	40-64歳	%	計	%	40-64歳	%
		65-74歳			65-74歳				65-74歳	
男	75 259	66 808	75 161	99.9	66 740	99.9	98	0.1	68	0.1
		8 451			8 421				99.6	
女	46 951	41 221	43 694	93.1	38 626	93.7	3 257	6.9	2 595	6.3
		5 730			5 068				88.4	
計	122 210	108 029	118 855	97.3	105 366	97.5	3 355	2.7	2 663	2.5
		14 181			13 489				95.1	

表5 メタボリックシンドローム判定結果

区分	受診者		基準該当				予備群該当				非該当			
	計	40-64歳	計	% ¹⁾	40-64歳	% ²⁾	計	% ¹⁾	40-64歳	% ²⁾	計	% ¹⁾	40-64歳	% ²⁾
		65-74歳			65-74歳				65-74歳				65-74歳	
男	75 259	66 808	15 481	20.6	13 114	19.6	10 830	14.4	9 710	14.5	48 889	65.0	43 939	65.8
		8 451			2 367				28.0				1 120	
女	46 951	41 221	2 335	5.0	1 930	4.7	1 742	3.7	1 565	3.8	42 795	91.1	37 647	91.3
		5 730			405				7.1				177	
計	122 210	108 029	17 816	14.6	15 044	13.9	12 572	10.3	11 275	10.4	91 684	75.0	81 586	75.5
		14 181			2 772				19.5				1 297	

1) 受診者合計に対するそれぞれの該当群合計の割合

2) 対象年齢群合計に対する該当群の割合

表6 階層化結果

区分	受診者		積極的支援				動機づけ支援				情報提供			
	計	40-64歳	計	% ¹⁾	40-64歳	% ²⁾	計	% ¹⁾	40-64歳	% ²⁾	計	% ¹⁾	40-64歳	% ²⁾
		65-74歳			65-74歳	% ²⁾			65-74歳	% ²⁾			65-74歳	% ²⁾
男	75 259	66 808	8 929	11.9	8 929	13.4	6 901	9.2	5 783	8.6	59 414	78.9	52 084	78.0
		8 451							1 118	13.2			7 330	86.7
女	46 951	41 221	1 174	2.5	1 174	2.8	3 387	7.2	2 990	7.3	42 361	90.2	37 028	89.8
		5 730							397	6.9			5 333	93.1
計	122 210	108 029	10 103	8.3	10 103	9.4	10 288	8.4	8 773	8.1	101 775	83.3	89 112	82.5
		14 181							1 515	10.7			12 663	89.3

1) 受診者合計に対するそれぞれの該当群合計の割合
 2) 対象年齢群合計に対する該当群の割合

特定保健指導

表1 特定保健指導 実施数 (2024/4/1~2025/3/31)

	積極的支援		動機付け支援		動機付け支援相当	
	初回支援実施数	途中終了者数	初回支援実施数	途中終了者数	初回支援実施数	途中終了者数
男	365	94	241	6	12	0
女	53	14	185	6	3	0
総数	418	108	426	12	15	0

保健指導サービスの品質管理に関する方針

神奈川県予防医学協会の定めた理念に基づいて、顧客の信頼が得られる質の高い保健指導の品質管理に関する方針を定める。

1. 総合健康支援機関として高質で真に価値あるサービスを創造していくために、保健指導の品質管理体制を確立する。
2. 高質な保健指導を目指し、その品質向上に努め、顧客の健康と信頼の確保に寄与する。
3. 総合健康支援機関として、高質な保健指導の普及に努め、広く社会に貢献する。

2009年8月27日 制定
 (公財)神奈川県予防医学協会 保健指導品質管理委員会

骨粗しょう症予防検査

表1 年度別受診者数

年度	受診者数		
	総数	男	女
2024年度	2 933	145	2 788
2023年度	2 883	148	2 735
2022年度	3 077	277	2 800

表2 性別・年代別受診者数および判定内訳

男性

区分	受診者数	異常なし		軽度注意①		軽度注意②		要注意①		要注意②		要精検		要治療	
		数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%
～29歳	1	1	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—
30～39歳	3	2	66.7	0	—	0	—	0	—	1	33.3	0	—	0	—
40～49歳	22	15	68.2	0	—	6	27.3	0	—	1	4.5	0	—	0	—
50～59歳	41	30	73.2	0	—	10	24.4	0	—	1	2.4	0	—	0	—
60～69歳	48	33	68.8	0	—	10	20.8	0	—	5	10.4	0	—	0	—
70歳以上	30	17	56.7	0	—	8	26.7	0	—	4	13.3	1	3.3	0	—
	145	98	67.6	0	—	34	23.4	0	—	12	8.3	1	0.7	0	—

女性

区分	受診者数	異常なし		軽度注意①		軽度注意②		要注意①		要注意②		要精検		要治療	
		数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%
～29歳	2	2	100.0	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—	0	—
30～39歳	501	458	91.4	8	1.6	1	0.2	34	6.8	0	—	0	—	0	—
40～49歳	653	594	91.0	0	—	28	4.3	24	3.7	0	—	7	1.1	0	—
50～59歳	958	746	77.9	0	—	168	17.5	0	—	35	3.7	8	0.8	1	0.1
60～69歳	503	270	53.7	0	—	177	35.2	0	—	52	10.3	4	0.8	0	—
70歳以上	171	54	31.6	0	—	72	42.1	0	—	44	25.7	1	0.6	0	—
	2 788	2 124	76.2	8	0.3	446	16.0	58	2.1	131	4.7	20	0.7	1	0.0

表3 総合判定（昨年と比較）

	2023年度		2024年度	
	数	%	数	%
合計	2 883		2 933	
異常なし	2 110	73.2	2 222	75.8
軽度注意①	4	0.1	8	0.3
軽度注意②	506	17.6	480	16.4
要注意①	70	2.4	58	2.0
要注意②	168	5.8	143	4.9
要精検	23	0.8	21	0.7
要治療	2	0.1	1	0.0

歯科健康診査

表1 年度別受診者数

区分	受診者			受診団体
	総数	男	女	
2024年度	5 903 [*])	4 192	1 711	12
2023年度	5 553	4 021	1 532	8
2022年度	3 562	2 354	1 208	9

^{*}) 独自方式で実施の3,458名含む

表2 歯周病検査(CPI)結果-歯周組織の状態について

区分		受診者	0:健全		1:歯周炎あり		2:進行した歯周炎あり		9:除外歯		X:該当歯なし	
			数	%	数	%	数	%	数	%	数	%
総数	男	2 082	1 576	75.7	410	19.7	96	4.6	0	-	0	-
	女	363	332	91.4	29	8.0	2	0.6	0	-	0	-
	計	2 445	1 908	78.0	439	18.0	98	4.0	0	-	0	-
~29歳	男	509	452	88.8	57	11.2	0	-	0	-	0	-
	女	100	94	94.0	6	6.0	0	-	0	-	0	-
	計	609	546	89.7	63	10.3	0	-	0	-	0	-
30~39歳	男	478	397	83.1	76	15.9	5	1.0	0	-	0	-
	女	84	79	94.0	5	6.0	0	-	0	-	0	-
	計	562	476	84.7	81	14.4	5	0.9	0	-	0	-
40~49歳	男	418	317	75.8	81	19.4	20	4.8	0	-	0	-
	女	69	62	89.9	6	8.7	1	1.4	0	-	0	-
	計	487	379	77.8	87	17.9	21	4.3	0	-	0	-
50~59歳	男	507	314	61.9	141	27.8	52	10.3	0	-	0	-
	女	95	87	91.6	8	8.4	0	-	0	-	0	-
	計	602	401	66.6	149	24.8	52	8.6	0	-	0	-
60歳~	男	170	96	56.5	55	32.3	19	11.2	0	-	0	-
	女	15	10	66.6	4	26.7	1	6.7	0	-	0	-
	計	185	106	57.3	59	31.9	20	10.8	0	-	0	-

CPI: Community Periodontal Index

表3 口腔診査結果-歯の状態について

区分		受診者	要治療歯のある人		1本		2本		3本		4本		5本以上	
			数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%
総数	男	2 082	531	25.5	261	12.5	113	5.4	52	2.5	30	1.4	75	3.6
	女	363	69	19.0	38	10.5	19	5.2	5	1.4	2	0.6	5	1.4
	計	2 445	600	24.5	299	12.2	132	5.4	57	2.3	32	1.3	80	3.3

表4 総合評価

区分		受診者数	A:異常なし		B:要注意		C:要歯垢歯石除去		D:要精検・治療		E:治療中		F:その他		判定なし	
			数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%
総数	男	2 082	327	15.7	236	11.3	814	39.1	562	27.0	143	6.9	0	-	0	-
	女	363	111	30.6	44	12.1	117	32.2	68	18.7	23	6.4	0	-	0	-
	計	2 445	438	17.9	280	11.4	931	38.1	630	25.8	166	6.8	0	-	0	-

表5 歯みがきの状態

区分		受診者数	1:良好		2:ほぼ良い		3:やや不良		4:不良		記入無し	
			数	%	数	%	数	%	数	%	数	%
総数	男	2 082	371	17.8	1 459	70.1	234	11.2	18	0.9	0	-
	女	363	112	30.8	237	65.3	14	3.9	0	-	0	-
	計	2 445	483	19.8	1 696	69.4	248	10.1	18	0.7	0	-

精密総合健診（人間ドック）

表1-1 年度別受診者数

区分	受診者	男	女
2024年度	8 360	5 062	3 298
2023年度	8 279	5 022	3 257
2022年度	8 375	5 097	3 278

表1-2 年代別受診者数

性別	受診数	29歳以下		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳代		80歳以上		平均年齢
		数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	
男	5 062	11	0.2	317	6.3	1 145	22.6	1 765	34.9	1 194	23.6	519	10.3	111	2.2	55.8
女	3 298	10	0.3	189	5.7	683	20.7	1 202	36.4	797	24.2	354	10.7	63	1.9	56.2
計	8 360	21	0.3	506	6.1	1 828	21.9	2 967	35.5	1 991	23.8	873	10.4	174	2.1	56.0

表2 受診者前歴内訳

	6年以上	5年連続	4年連続	3年連続	2年連続	初回	総数	前年未受診	2年以上中断
男	2 448 48.4%	267 5.3%	351 6.9%	394 7.8%	492 9.7%	661 13.1%	5 062	174 3.4%	275 5.4%
女	1 293 39.2%	171 5.2%	261 7.9%	334 10.1%	402 12.2%	495 15.0%	3 298	174 5.3%	168 5.1%
合計	3 741	438	612	728	894	1 156	8 360		

6年以上は、連続、非連続を含む

表3 総合判定区分内訳

区分	総合判定									総数
	異常なし	心配なし	要観察	生活注意	要再検査	要精密検査	要受診	治療中 〔検査正常〕	治療中 〔検査異常〕	
男	8 0.2%	10 0.2%	286 5.6%	1 360 26.9%	1 017 20.1%	717 14.2%	861 17.0%	398 7.9%	405 8.0%	5 062 100.0%
女	18 0.5%	44 1.3%	507 15.4%	905 27.4%	492 14.9%	432 13.1%	423 12.8%	261 7.9%	216 6.5%	3 298 100.0%
合計	26	54	793	2 265	1 509	1 149	1 284	659	621	8 360

表4 がん発見状況の推移（新規発見）

がんの部位	2022年度	2023年度	2024年度
	8 375	8 279	8 360
食道	1	1	4
胃	5	3	5
大腸	8	3	6
膵臓	1	-	-
胆管	-	-	1
腎臓	-	2	1
肺	1	3	3
乳房	11	10	8
卵巣	-	-	1
甲状腺	-	-	1
膀胱	-	1	-
前立腺	7	7	7
リンパ腫	-	1	4
白血病	1	1	-
合計	35	32	41
がん発見率	0.42%	0.39%	0.49%

R6.8.1~R7.7.31

表5 前立腺がん検査実施状況

年齢階級	ドック男性 受診者数	PSA実施		要再・精検		がん発見数 〔集計期間〕 '24/8/1~'25/7/31
		数	%	数	%	
29歳以下	11	1	9.1	-	0.0	-
30~39歳	317	28	8.8	-	0.0	-
40~49歳	1 145	195	17.0	5	2.6	-
50~54歳	908	459	50.6	16	3.5	-
55~59歳	857	461	53.8	29	6.3	-
60~64歳	746	435	58.3	48	11.0	1
65~69歳	448	291	65.0	32	11.0	1
70~74歳	325	219	67.4	21	9.6	4
75~79歳	194	132	68.0	14	10.6	-
80~84歳	79	61	77.2	5	8.2	1
85歳以上	32	18	56.3	3	16.7	-
合計	5 062	2 300	45.4	173	7.5	7

表6 計測・検査データ平均値

計測・検査項目		男								女							
		合計	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	合計	29歳以下	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上
		5 062	11	317	1 145	1 765	1 194	519	111	3 298	10	189	683	1 202	797	354	63
計測	身長 (cm)	170.6	172.7	172.7	172.4	171.5	169.4	166.9	163.0	157.7	159.2	159.9	159.7	158.7	156.6	153.6	149.0
	体重 (kg)	70.6	67.5	70.3	72.3	72.7	69.6	64.8	60.6	55.1	56.6	55.7	57.1	56.2	54.0	51.1	47.8
	肥満度 (%)	10.0	2.8	7.0	10.3	12.1	10.0	5.5	3.5	0.8	1.5	-0.8	1.9	1.7	0.1	-1.4	-2.0
	体脂肪率 (%)	21.5	18.6	20.4	21.3	22.1	21.7	20.6	20.0	30.1	30.6	29.0	30.3	30.5	30.0	28.9	28.5
	腹囲 (cm)	85.0	79.1	82.3	84.4	86.1	85.6	84.1	82.9	78.0	74.1	74.7	77.0	78.5	78.7	78.4	77.5
	眼圧 (mmHg)	12.4	14.6	13.1	12.5	12.3	12.3	11.8	11.7	12.6	13.0	13.0	12.8	12.6	12.5	12.2	11.6
	最大血圧 (mmHg)	119.8	116.5	114.5	117.2	119.3	122.2	123.8	127.5	115.9	101.7	104.4	110.5	114.8	119.5	126.6	126.6
	最小血圧 (mmHg)	76.4	66.7	70.9	74.9	77.6	78.4	75.1	73.5	71.4	62.0	64.9	68.8	71.8	73.2	74.6	71.9
	心胸郭比 (%)	43.6	42.1	42.2	42.9	43.5	44.1	44.9	46.4	44.3	40.6	41.5	42.5	43.9	45.4	47.5	49.5
生化学検査	総コレステロール (mg/dl)	202	175	200	203	203	201	200	191	213	173	196	196	219	222	218	219
	HDLコレステロール (mg/dl)	57	54	55	56	56	59	61	61	71	56	69	68	71	73	73	72
	LDLコレステロール (mg/dl)	118	105	121	121	120	116	113	105	119	100	108	108	124	124	119	121
	トリグリセライド (mg/dl)	116	61	110	123	120	114	106	92	84	76	76	77	86	86	88	88
	クレアチニン (mg/dl)	0.95	0.87	0.92	0.95	0.95	0.96	0.97	1.01	0.70	0.66	0.68	0.69	0.71	0.71	0.72	0.74
	eGFR	67.8	89.6	77.5	72.7	68.0	64.2	60.7	56.6	68.5	89.5	79.8	74.4	67.9	65.3	61.8	58.6
	尿素窒素 (mg/dl)	14.4	13.6	13.3	13.5	13.8	14.9	16.6	18.0	13.3	9.6	11.4	11.6	13.1	14.5	15.4	16.9
	尿酸 (mg/dl)	6.2	6.5	6.5	6.4	6.3	6.1	5.9	5.7	4.8	4.5	4.6	4.6	4.9	5.0	4.9	5.1
	AST (U/l)	24	20	25	24	24	24	23	24	21	17	19	19	22	23	22	24
	ALT (U/l)	28	22	33	31	28	25	21	20	19	16	17	17	20	21	18	17
	γ GTP (U/l)	48	26	47	52	51	47	36	31	27	17	21	24	28	29	25	26
	ALP(IFCC) (U/l)	68	63	69	69	69	66	66	71	67	57	55	56	69	72	72	74
	LDH(IFCC) (U/l)	177	166	169	172	176	179	186	201	183	152	159	164	183	194	205	219
	総ビリルビン (mg/dl)	1.0	1.2	1.1	1.1	1.0	1.0	1.0	1.0	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9	0.9
	血清総蛋白 (g/dl)	7.0	7.2	7.2	7.1	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0	7.1	7.1	7.0	7.0	7.0	7.0	7.0
	アルブミン (g/dl)	4.4	4.7	4.6	4.5	4.4	4.3	4.3	4.2	4.3	4.4	4.4	4.3	4.3	4.3	4.3	4.1
	血清アミラーゼ (U/l)	76	78	72	72	74	80	86	97	78	74	77	74	77	79	86	91
	膵型アミラーゼ (U/l)	37	36	35	36	36	38	40	41	37	31	36	36	36	38	40	40
	空腹時血糖 (mg/dl)	109	99	102	105	109	113	112	112	101	93	94	97	101	104	107	105
	HbA1c (%)	5.7	5.3	5.4	5.5	5.7	5.8	5.8	5.9	5.6	5.2	5.3	5.4	5.6	5.7	5.8	5.8
リウマチ因子 (U/ml)	7	3	4	4	6	8	12	5	8	3	5	5	8	10	8	9	
血液検査	白血球数 (/ μ l)	5 424	5 373	5 473	5 509	5 472	5 299	5 354	5 338	5 001	6 110	5 528	5 240	4 954	4 744	4 996	4 856
	赤血球数 (万/ μ l)	478	509	499	490	481	469	454	437	436	457	435	434	439	436	431	411
	血色素量 (g/dl)	14.7	14.7	15.0	14.9	14.8	14.6	14.2	13.6	13.1	12.8	12.8	12.8	13.2	13.3	13.1	12.6
	ヘマトクリット値 (%)	44.0	44.1	44.7	44.5	44.2	43.7	42.7	41.3	39.9	39.1	39.1	39.0	40.2	40.4	40.2	38.7
	血小板数 (万/ μ l)	23.0	23.0	24.3	24.2	23.7	22.1	20.2	18.9	23.8	27.8	24.6	25.0	24.4	22.9	21.9	21.5
肺機能	努力性肺活量 (L)	4.1	4.5	4.5	4.4	4.1	3.8	3.5	3.0	2.9	3.3	3.3	3.2	2.9	2.7	2.4	2.2
	%肺活量 (%)	100.4	94.5	98.5	100.7	100.7	100.8	99.8	99.0	106.2	98.0	103.4	105.5	105.9	106.6	108.4	112.7
	1秒量 (L)	3.2	3.8	3.8	3.6	3.3	3.0	2.6	2.3	2.3	2.9	2.8	2.6	2.4	2.1	1.9	1.7
	1秒率 (%)	79.3	84.3	83.3	81.8	79.6	77.3	76.0	75.0	80.6	90.2	84.6	83.3	80.6	78.7	77.9	76.7
	%1秒量 (%)	94.8	90.2	93.7	95.4	94.8	94.3	94.6	96.4	104.5	100.6	101.8	104.2	103.5	104.5	108.5	115.6

表7 項目別判定内訳

区分	受診数	A：異常なし		B：心配なし		C1、C2：経過観察		D1：要再検		D2：要精検		E：要受診		F1、F2：治療中		
		数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	
肥満	男	5 062	2 496	49.3	3	0.1	2 563	50.6	-	-	-	-	-	-	-	
	女	3 298	2 243	68.0	-	-	1 055	32.0	-	-	-	-	-	-	-	
	計	8 360	4 739	56.7	3	0.0	3 618	43.3	-	-	-	-	-	-	-	
眼底	男	5 034	2 343	46.5	-	-	2 069	41.1	51	1.0	-	-	369	7.3	202	4.0
	女	3 271	1 567	47.9	-	-	1 308	40.0	50	1.5	-	-	181	5.5	165	5.0
	計	8 305	3 910	47.1	-	-	3 377	40.7	101	1.2	-	-	550	6.6	367	4.4
尿	男	5 061	4 770	94.3	89	1.8	84	1.7	113	2.2	5	0.1	-	-	-	-
	女	3 298	2 819	85.5	164	5.0	225	6.8	89	2.7	-	-	1	0.0	-	-
	計	8 359	7 589	90.8	253	3.0	309	3.7	202	2.4	5	0.1	1	0.0	-	-
腎機能	男	5 062	3 602	71.2	187	3.7	1 047	20.7	131	2.6	-	-	74	1.5	21	0.4
	女	3 298	2 436	73.9	100	3.0	664	20.1	69	2.1	-	-	22	0.7	7	0.2
	計	8 360	6 038	72.2	287	3.4	1 711	20.5	200	2.4	-	-	96	1.1	28	0.3
脂質	男	5 062	2 437	48.1	18	0.4	1 444	28.5	297	5.9	-	-	30	0.6	836	16.5
	女	3 298	1 973	59.8	15	0.5	666	20.2	131	4.0	-	-	27	0.8	486	14.7
	計	8 360	4 410	52.8	33	0.4	2 110	25.2	428	5.1	-	-	57	0.7	1 322	15.8
糖代謝	男	5 062	3 301	65.2	-	-	1 062	21.0	123	2.4	85	1.7	110	2.2	381	7.5
	女	3 298	2 713	82.3	-	-	390	11.8	44	1.3	44	1.3	26	0.8	81	2.5
	計	8 360	6 014	71.9	-	-	1 452	17.4	167	2.0	129	1.5	136	1.6	462	5.5
尿酸	男	5 062	3 451	68.2	-	-	734	14.5	295	5.8	-	-	67	1.3	515	10.2
	女	3 298	3 179	96.4	-	-	76	2.3	16	0.5	-	-	4	0.1	23	0.7
	計	8 360	6 630	79.3	-	-	810	9.7	311	3.7	-	-	71	0.8	538	6.4
肝機能	男	5 062	3 167	62.6	-	-	1 324	26.2	463	9.1	-	-	77	1.5	31	0.6
	女	3 298	2 850	86.4	-	-	340	10.3	81	2.5	-	-	10	0.3	17	0.5
	計	8 360	6 017	72.0	-	-	1 664	19.9	544	6.5	-	-	87	1.0	48	0.6
血圧	男	5 062	3 383	66.8	-	-	380	7.5	-	-	-	-	75	1.5	1 224	24.2
	女	3 298	2 622	79.5	-	-	188	5.7	-	-	-	-	30	0.9	458	13.9
	計	8 360	6 005	71.8	-	-	568	6.8	-	-	-	-	105	1.3	1 682	20.1
心電図	男	5 062	2 952	58.3	366	7.2	1 594	31.5	11	0.2	100	2.0	39	0.8	-	-
	女	3 296	2 224	67.5	225	6.8	782	23.7	5	0.2	53	1.6	7	0.2	-	-
	計	8 358	5 176	61.9	591	7.1	2 376	28.4	16	0.2	153	1.8	46	0.6	-	-
胸部	男	5 031	2 977	59.2	169	3.4	1 791	35.6	15	0.3	79	1.6	-	-	-	-
	女	3 254	2 007	61.7	42	1.3	1 146	35.2	7	0.2	51	1.6	1	0.0	-	-
	計	8 285	4 984	60.2	211	2.5	2 937	35.4	22	0.3	130	1.6	1	0.0	-	-
胃部	男	4 429	1 498	33.8	1 729	39.0	983	22.2	7	0.2	208	4.7	4	0.1	-	-
	女	2 372	644	27.2	1 288	54.3	369	15.6	1	0.0	69	2.9	1	0.0	-	-
	計	6 801	2 142	31.5	3 017	44.4	1 352	19.9	8	0.1	277	4.1	5	0.1	-	-
便潜血	男	4 898	4 636	94.7	-	-	1	0.0	-	-	243	5.0	18	0.4	-	-
	女	3 144	3 029	96.3	-	-	-	-	13	0.4	98	3.1	4	0.1	-	-
	計	8 042	7 665	95.3	-	-	1	0.0	13	0.2	341	4.2	22	0.3	-	-
腹部エコー	男	5 021	219	4.4	315	6.3	4 249	84.6	148	2.9	89	1.8	1	0.0	-	-
	女	3 265	370	11.3	326	10.0	2 418	74.1	106	3.2	45	1.4	-	-	-	-
	計	8 286	589	7.1	641	7.7	6 667	80.5	254	3.1	134	1.6	1	0.0	-	-
子宮頸部 (非がん系)	女	1 956	1 915	97.9	-	-	4	0.2	29	1.5	8	0.4	-	-	-	-
		173	-	-	-	-	116	5.9	-	-	-	-	46	2.4	11	0.6
子宮体部	女	26	26	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
乳腺	女	2 220	2 144	96.6	-	-	-	-	18	0.8	58	2.6	-	-	-	-
前立腺	男	2 300	2 126	92.4	-	-	1	0.0	166	7.2	7	0.3	-	-	-	-

表8 腹部超音波臓器別所見内訳

対象臓器	腹部超音波実施者					
	男	*	女	*	計	*
	5 021		3 265		8 286	
胆のう	有所見者（数・率）					
胆石	1 839	36.6%	876	26.8%	2 715	32.8%
胆のうポリープ	397	7.9%	225	6.9%	622	7.5%
胆嚢筋腫症	1 226	24.4%	563	17.2%	1 789	21.6%
胆のう壁肥厚	122	2.4%	44	1.3%	166	2.0%
胆のうコメット様エコー	169	3.4%	73	2.2%	242	2.9%
胆のう切除後	116	2.3%	52	1.6%	168	2.0%
胆のうのその他の所見	127	2.5%	75	2.3%	202	2.4%
胆のうのその他の所見	109	2.2%	55	1.7%	164	2.0%
肝臓	有所見者（数・率）					
脂肪肝	3 521	70.1%	1 743	53.4%	5 264	63.5%
肝のう胞	2 708	53.9%	790	24.2%	3 498	42.2%
肝血管腫	975	19.4%	712	21.8%	1 687	20.4%
肝内結石・石灰化	53	1.1%	63	1.9%	116	1.4%
肝内高エコー域	195	3.9%	119	3.6%	314	3.8%
肝内低エコー域	340	6.8%	334	10.2%	674	8.1%
肝線維症	171	3.4%	72	2.2%	243	2.9%
肝内・肝外胆管拡張	5	0.1%	—	—	5	0.1%
肝臓のその他の所見	103	2.1%	121	3.7%	224	2.7%
肝臓のその他の所見	208	4.1%	102	3.1%	310	3.7%
腎臓	有所見者（数・率）					
腎石灰化	2 911	58.0%	1 568	48.0%	4 479	54.1%
腎結石	1 965	39.1%	1 058	32.4%	3 023	36.5%
腎のう胞	166	3.3%	45	1.4%	211	2.5%
多発性のう胞腎	1 703	33.9%	646	19.8%	2 349	28.3%
腎血管筋脂肪腫	5	0.1%	—	—	5	0.1%
腎変形・辺縁不整	2	0.0%	10	0.3%	12	0.1%
水腎症・腎盂拡張	358	7.1%	117	3.6%	475	5.7%
腎高エコー域	159	3.2%	159	4.9%	318	3.8%
腎低エコー域	80	1.6%	116	3.6%	196	2.4%
腎臓のその他の所見	14	0.3%	3	0.1%	17	0.2%
腎臓のその他の所見	116	2.3%	94	2.9%	210	2.5%
膵臓	有所見者（数・率）					
膵のう胞	2 766	55.1%	1 153	35.3%	3 919	47.3%
膵管拡張	65	1.3%	107	3.3%	172	2.1%
膵石灰化	159	3.2%	54	1.7%	213	2.6%
膵高エコー域	36	0.7%	32	1.0%	68	0.8%
膵低エコー域	25	0.5%	28	0.9%	53	0.6%
膵エコーレベル上昇	14	0.3%	14	0.4%	28	0.3%
膵実質エコー不均一	963	19.2%	742	22.7%	1 705	20.6%
膵抽出不良	223	4.4%	79	2.4%	302	3.6%
膵臓のその他の所見	1 512	30.1%	180	5.5%	1 692	20.4%
膵臓のその他の所見	8	0.2%	14	0.4%	22	0.3%
脾臓	有所見者（数・率）					
副脾	624	12.4%	427	13.1%	1 051	12.7%
脾腫	296	5.9%	276	8.5%	572	6.9%
脾臓石灰化	180	3.6%	57	1.7%	237	2.9%
脾のう胞	15	0.3%	26	0.8%	41	0.5%
脾臓のその他の所見	10	0.2%	10	0.3%	20	0.2%
脾臓のその他の所見	123	2.4%	58	1.8%	181	2.2%
大動脈・その他	有所見者（数・率）					
大動脈石灰化	2 320	46.2%	1 112	34.1%	3 432	41.4%
大動脈壁在血栓	2 215	44.1%	1 053	32.3%	3 268	39.4%
腹部大動脈瘤・拡張	52	1.0%	4	0.1%	56	0.7%
腹部大動脈蛇行	19	0.4%	3	0.1%	22	0.3%
大動脈のその他の所見	104	2.1%	97	3.0%	201	2.4%
大動脈のその他の所見	14	0.3%	2	0.1%	16	0.2%
副腎腫瘍	5	0.1%	3	0.1%	8	0.1%
腹部腫瘍	8	0.2%	12	0.4%	20	0.2%
腹部リンパ節腫大	4	0.1%	1	0.0%	5	0.1%
全体描出不良	118	2.4%	13	0.4%	131	1.6%
その他の所見	21	0.4%	16	0.5%	37	0.4%
有所見者（数・率）	4 802	95.6%	2 895	88.7%	7 697	92.9%

*は腹部超音波検査の臓器ごと男女各受診者に対する有所見率 所見数は延べ件数 有所見者（数・率）は実人数

表9 胸部X線（単純・CT）検査所見数内訳

胸部X線	胸部X線（単純・CT）検査実施者					
	男	*	女	*	計	*
	5 031		3 254		8 285	
肺野	2 014	40.0%	1 255	38.6%	3 269	39.5%
心陰影	1 083	21.5%	493	15.2%	1 576	19.0%
骨系	369	7.3%	93	2.9%	462	5.6%
その他	124	2.5%	68	2.1%	192	2.3%
有所見者（数・率）	2 054	40.8%	1 247	38.3%	3 301	39.8%

*はドック胸部X線（CT同時実施を含む）検査、男女各受診者に対する有所見率 所見数は延べ件数 有所見者（数・率）は実人数

表10 安静時心電図所見内訳

心電図所見	安静時心電図実施者					
	男	*	女	*	計	*
	5 062		3 296		8 358	
頻拍性不整脈（期外収縮含む）	247	4.9%	124	3.8%	371	4.4%
洞徐脈（洞不全を含む）	180	3.6%	92	2.8%	272	3.3%
房室伝導異常	118	2.3%	21	0.6%	139	1.7%
脚ブロック	757	15.0%	367	11.1%	1 124	13.4%
虚血性変化（ST-T異常）	283	5.6%	167	5.1%	450	5.4%
Q異常	40	0.8%	8	0.2%	48	0.6%
高電位差	444	8.8%	95	2.9%	539	6.4%
心房負荷	-	-	1	0.0%	1	0.0%
その他	832	16.4%	451	13.7%	1 283	15.4%
有所見者（数・率）	2 110	41.7%	1 072	32.5%	3 182	38.1%

*はドック心電図検査、男女各受診者に対する有所見率 所見数は延べ件数 有所見者（数・率）は実人数

表11 胃部（X線・内視鏡）検査所見数内訳

所見	胃部X線検査実施者						胃内視鏡検査実施者						
	男	*	女	*	計	*	男	*	女	*	計	*	
	2 371		1 345		3 716		2 058		1 027		3 085		
胃	胃潰瘍及びその癒痕	9	0.4%	-	-	9	0.2%	39	1.9%	7	0.7%	46	1.5%
	共存潰瘍及びその癒痕	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	胃ポリープ	734	31.0%	663	49.3%	1 397	37.6%	865	42.0%	600	58.4%	1 465	47.5%
	胃炎	143	6.0%	57	4.2%	200	5.4%	1 092	53.1%	487	47.4%	1 579	51.2%
	胃粘膜下腫瘍	33	1.4%	31	2.3%	64	1.7%	93	4.5%	57	5.6%	150	4.9%
	その他の胃所見	20	0.8%	8	0.6%	28	0.8%	36	1.7%	13	1.3%	49	1.6%
食道	食道裂孔ヘルニア	1	0.0%	4	0.3%	5	0.1%	640	31.1%	218	21.2%	858	27.8%
	逆流性食道炎	-	-	-	-	-	-	548	26.6%	115	11.2%	663	21.5%
	その他の食道所見	33	1.4%	15	1.1%	48	1.3%	181	8.8%	83	8.1%	264	8.6%
十二指腸	十二指腸潰瘍及びその癒痕	50	2.1%	12	0.9%	62	1.7%	55	2.7%	12	1.2%	67	2.2%
	その他の十二指腸所見	259	10.9%	149	11.1%	408	11.0%	148	7.2%	24	2.3%	172	5.6%
その他	2	0.1%	1	0.1%	3	0.1%	1	0.0%	2	0.2%	3	0.1%	
有所見者（数・率）	1 121	47.3%	825	61.3%	1 946	52.4%	1 810	87.9%	903	87.9%	2 713	87.9%	

*はドック胃部検査、男女各受診者に対する有所見率 所見数は延べ件数 有所見者（数・率）は実人数

表12 人間ドックのフォロー

区分	ドック受診時				事後フォロー		合計
	保健相談 ¹⁾	特定保健指導 ²⁾	循環器プログラム相談 ³⁾	栄養相談 ⁴⁾	フォロー数 ⁵⁾	事後の保健相談 ⁶⁾	
2024年度	487	702	21	3	2 850	136	4 199
2023年度	516	616	13	3	2 779	118	4 045
2022年度	563	524	15	6	2 578	63	3 749

- 1) 本人希望、医師の指示等で実施
- 2) 契約健保からの委託により動機付け・積極的支援対象者に実施
- 3) オプションで虚血性心疾患予防の指導を実施
- 4) オプションで管理栄養士が実施
- 5) 健診結果で要受診、要再・精検対象者への電話・文書によるフォロー
- 6) 受診後に受診者からの希望相談

特殊健康診断・作業環境測定・環境検査

■ 特殊健康診断

労働安全衛生法および関連規則・行政指導に基づく、有害業務による障害防止のための健診。尿中代謝物、生体試料中の重金属検査等すべて当協会検査室で実施している。また、アスベスト健診や作業態様に基づく情報機器作業健診、腰痛、頸肩腕障害健診等も実施している。

平成28(2016)年6月に施行された改正労働安全衛生法により、一定の危険有害性のある化学物質について、リスクアセスメントの実施が義務づけられ、その結果に基づいてリスクの低減措置(危険有害性の高い物質から低い物質への変更、作業手順の改善、有効な保護具の使用等)を実施することが必要となっている。

■ 作業環境調査

国内で輸入、製造、使用されている化学物質は数万種類にのぼり、その中には危険性や有害性が不明な物質が多く含まれている。そこで令和4(2022)年2月に労働安全衛生法の関係政省令が改正され、令和5(2023)年4月および令和6(2024)年4月に相次いで施行された。今回の改正によりリスクアセスメントの結果に基づくばく露濃度の低減措置が義務化になるなど、自律的な化学物質管理がより一層強化されることになった。

■ 簡易専用水道検査

簡易専用水道検査の受検率は全国平均では8割に満たない中、横浜市は約9割の高い受検率で推移しており、行政と連携した検査体制が整備されてきている。飲料水に係る当該検査はきわめて公共性の高い検査のため、一般社団法人全国給水衛生検査協会(国土交通省及び環境省 後援)の外部精度管理に定期的に参加し精度の向上に努めるとともに、ISO9001をベースとした品質保証活動を展開している。

特 殊 健 康 診 断

表1 項目・年度別受診団体及び受診者数

区 分	受 診 団 体			受 診 者		
	2022年度	2023年度	2024年度	2022年度	2023年度	2024年度
総 数	399	398	384	85 477	81 365	80 637
じん肺	131	137	135	3 213	3 200	2 752
石綿	57	60	56	2 379	2 703	2 943
有機溶剤	202	201	205	18 148	16 848	17 276
電離放射線	76	70	68	5 342	4 989	5 122
鉛	25	33	34	817	809	927
四アルキル鉛	-	-	-	-	-	-
高気圧	11	12	12	309	288	276
特定化学物質	221	228	230	23 649	23 092	23 643
行政指導によるもの	147	149	150	26 815	24 466	22 697
その他	88	86	85	4 805	4 970	5 001

※受診団体は実数（代表団体）、受診者は延数

表2 じん肺検診有所見者の内訳（粉じん業務従事年数別じん肺の型別数・率）

区分 従事年数	総 数		P R ₁		P R ₂		P R ₃		P R ₄ (A)		P R ₄ (B)		P R ₄ (C)	
	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%
～ 9 年	21	100.0	11	*)	9	*)	1	*)	-	-	-	-	-	-
10 ～ 19	15	100.0	5	*)	2	*)	3	*)	2	*)	2	*)	1	*)
20 ～ 29	14	100.0	4	*)	2	*)	-	-	6	*)	2	*)	-	-
30 年 ～	22	100.0	12	*)	5	*)	3	*)	2	*)	-	-	-	-
不 詳	15	100.0	6	*)	4	*)	4	*)	1	*)	-	-	-	-
計	87	100.0	38	43.7	22	25.3	11	12.6	11	12.6	4	4.6	1	1.1

*) 基数100未満により計算せず ※フィルム読影のみ依頼された者を含まず

表3 じん肺の型別と肺機能検査結果内訳

区 分	受診者	第一次肺機能検査			第二 次 肺機能検査	総 合 判 定		
		一 秒 率	%一秒量	%肺活量	AaDo ₂ ¹⁾	F(-)	F(+)	F(++)
PR ₁	4	4	4	4	-	4	-	-
PR ₂	4	4	4	4	-	4	-	-
PR ₃	3	3	3	3	-	3	-	-
PR ₄ (A)	8	8	8	8	-	8	-	-
PR ₄ (B)	3	3	3	3	-	3	-	-
PR ₄ (C)	1	1	1	1	-	1	-	-
計	23	23	23	23	0	23	0	0

1) AaDo₂：肺胞気・動脈血酸素分圧較差 肺機能一次検査の結果二次検査となった者

総合判定 F(-)：じん肺による肺機能障害がないと判定

F(+)：じん肺による肺機能障害があると判定

F(++)：じん肺による著しい肺機能障害があると判定

表4 管理手帳じん肺検診結果

区 分	受診者			異常なし	定期観察	要経過観察	要精密検査	要受診	治療継続
	数	C T	喀痰						
管理手帳	65	45	34	-	-	60	-	5	-

表5-1 種別別一次検査結果

区 分	一 次 検 査						
	事業場	受診者	異常なし	有 所 見			要 再 検 査 要 二 次
				業務性	非業務性		
法 規 に よ る も の	じん肺	135	2 752	2 698	-	-	54
	石綿	56	2 943	2 881	-	-	62
	有機溶剤	205	17 276	17 029	-	-	247
	電離放射線	68	5 122	4 574	-	-	548
	高圧	34	927	915	-	-	12
	特定化学物質 ¹⁾	12	276	258	-	-	18
	ベシジン	230	23 447	22 783	-	-	664
	アルファ-ナフチルアミン	3	10	4	-	-	6
	ベータ-ナフチルアミン	3	22	22	-	-	-
	オルト-トリジン	4	33	19	-	-	14
	オマゼン	3	19	17	-	-	2
	塩素化ビフェニル	2	15	15	-	-	-
	ベリリウム	5	21	21	-	-	-
	アクリルアミド	9	44	44	-	-	-
	アクリロニトリル	11	219	219	-	-	-
	エチレンイミン	6	148	148	-	-	-
	塩化ビニル	1	2	2	-	-	-
	塩素素	2	38	7	-	-	31
	塩化ラミン	13	348	348	-	-	-
	オカドミウム	1	26	26	-	-	-
	クロム酸	8	109	104	-	-	5
	コルタール	35	670	664	-	-	6
	シアン化合物	5	154	72	-	-	82
	五酸化バナジウム	16	191	191	-	-	-
	3,3'-ジクロロ-4,4'-ジアミノジフェニルメタン	4	140	131	-	-	9
	臭化メチル	6	156	144	-	-	12
	臭化メチル	2	52	52	-	-	-
	トリレンジイソシアネート	13	143	133	-	-	10
	トリレンジイソシアネート	6	319	319	-	-	-
	弗化水素	29	793	793	-	-	-
	ベシジン	30	1 110	1 004	-	-	106
	マシジン	40	1 669	1 662	-	-	7
	沃化メチル	5	63	63	-	-	-
	硫酸	10	753	753	-	-	-
	硫酸ジメチル	4	65	64	-	-	1
	ビスエーテル	1	2	2	-	-	-
	クロロメチルエーテル	1	1	1	-	-	-
	ニッケルカルボニル	1	100	100	-	-	-
	パラジメチルアミノアゾベンゼン	1	16	14	-	-	2
	砒素又はその化合物	26	54	53	-	-	1
	ニッケル化合物	32	1 432	1 432	-	-	-
	酸化プロピレン	4	26	26	-	-	-
	インジウム化合物	14	140	129	-	-	11
	エチルベンゼン	69	3 454	3 450	-	-	4
	コバルト又はその無機化合物	45	1 287	1 287	-	-	-
	クロロホルム	51	1 096	1 022	-	-	74
	四塩化炭素	8	103	92	-	-	11
	1・4-ジオキサ	16	166	147	-	-	19
	1・2-ジクロロエタン	12	151	133	-	-	18
	ジクロロメタン	61	986	888	-	-	98
	スチレン	31	362	288	-	-	74
	1・1・2・2-テトラクロロエタン	5	44	40	-	-	4
	テトラクロロエチレン	6	37	31	-	-	6
	トリクロロエチレン	6	52	46	-	-	6
	メチルイソブチルケトン	54	1 834	1 833	-	-	1
	リフラクトリーセラミックファイバー	17	500	492	-	-	8
	ナフタレン	12	163	156	-	-	7
	三酸化ニアンチモン	7	515	515	-	-	-
	溶接ヒューム	97	3 555	3 532	-	-	23
	1・3-ブタジエン	1	1	1	-	-	-
	アセトニトリル	3	30	24	-	-	6
	過酸化水素	1	8	8	-	-	-

1) 特定化学物質の団体は全特定化学物質に対する延数

表5-2 種類別一次検査結果

区分	一 次 検 査						
	事業場	受診者	異常なし	有 所 見			要再検査 要二次
				業務性	非業務性		
行政指導によるもの	有機燐剤	2	136	131	-	-	5
	亜硫酸ガス	3	19	19	-	-	-
	メチレンジフェニルイソシアネート	5	133	133	-	-	-
	砒素	5	54	53	-	-	1
	沃素	1	2	2	-	-	-
	黄燐	-	-	-	-	-	-
	半導体関連物質 ¹⁾	4	127	98	-	-	29
	有害光線	39	1 822	1 812	-	-	10
	騒音	70	11 182	7 239	-	-	3 943
	振動	22	1 769	1 769	-	-	-
	引金工具取扱	3	636	636	-	-	-
	頸肩腕健診	3	61	60	-	-	1
	腰痛健診	6	199	177	-	-	22
	情報機器作業	49	5 630	5 583	-	-	47
	レザー光線	50	1 414	1 330	-	-	84
	超音波	3	77	77	-	-	-
脂肪族の塩化又は臭化炭化水素	1	51	51	-	-	-	
マングア合物	-	-	-	-	-	-	
その他の特殊健診	アミン	79	3 463	3 459	-	-	4
	アセトン	14	521	521	-	-	-
	苛性ソーダ	9	179	179	-	-	-
	ホルムアルデヒド	2	20	20	-	-	-
	フェノール	5	199	197	-	-	2
	一酸化炭素	3	57	57	-	-	-
	二酸化窒素	1	30	30	-	-	-
	オゾン	1	75	72	-	-	3
	エポキシ樹脂硬化剤	9	415	407	-	-	8
	高温作業	-	61	59	-	-	2
	高職	3	14	14	-	-	-
	その他	-	-	-	-	-	-

1) ホスフィン、シラン、半導体ガス等を含む

表6 石綿一次・二次健診結果

	受診者数	団体数	異常なし	定期観察	要経過観察	要二次検査	要受診	受診中
一次	2 943	56	1 846	260	775	38	24	-
二次	11	3	7	2	2	-	-	-

注) 一次受診者数2,943名のうち、管理手帳908名分を含む

表7 情報機器作業健診判定結果内訳

区分	受診者		問題なし		ほぼ正常		要経過観察		要受診		受診中		その他	
	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%	数	%
男	3 818	100	2 315	60.6	513	13.4	90	2.4	26	0.7	396	10.4	478	12.5
女	1 812	100	904	49.9	364	20.1	107	5.9	21	1.2	225	12.4	191	10.5
計	5 630	100	3 219	57.2	877	15.6	197	3.5	47	0.8	621	11.0	669	11.9

表8 代謝物検査等が付加される有機溶剤健診・特定化学物質健診・鉛健診

区分	代謝物検査等	対象有機溶剤名(特定化学物質名)	受診者	分布2	分布3
尿	馬尿酸	トルエン	5 507	157	18
	メチル馬尿酸	キシレン	4 039	3	-
	マンデル酸	スチレン(エチルベンゼン)	3 303	2	-
中	総三塩化物	テトラクロルエチレン	81	2	9
		1・1・1-トリクロルエタン			
		トリクロルエチレン			
血	2・5-ヘキサジオン	ノルマルヘキサン	2 628	1	-
	N-メチルホルムアミド	N・N-ジメチルホルムアミド	913	-	-
	デルタアミノレブリン酸		929	-	1
血中鉛			929	8	3

作業環境調査

表1 年度別の調査実施事業場数・単位作業場所数・測定数

区分	調査事業場延数	単位作業場所延数	測定延数
2024年度	277	2 120	20 776
2023年度	262	2 330	22 311
2022年度	247	1 990	19 770

表2 有害要因別の事業場数・単位作業場所数・測定数

	事業場数		単位作業場所延数	測定数		
	実数 ¹⁾	延数 ²⁾		延数 ²⁾	1事業所当り	1単位作業場所当り
総数	126	277	2 120	20 776	-	-
粉じん	47	94	388	5 039	53.6	13.0
有機溶剤	81	165	687	4 519	27.4	6.6
特化物	59	116	443	2 959	25.5	6.7
金属（鉛）等	15	31	129	808	26.1	6.3
その他	4	8	40	832	104.0	20.8
小計	206	414	1 687	14 157	34.2	8.4
騒音	39	72	433	5 571	77.4	12.9
事務所測定	16	32	-	359	11.2	-
その他（気中濃度）	8	12	-	36	-	-
（個人暴露）	11	18	-	130	-	-
（物理的要因）	10	13	-	150	-	-
（局排開口面風速）	17	20	-	316	-	-
（遊離けい酸）	13	25	-	57	-	-
小計	114	192	433	6 619	-	-

1) 同一事業場で2項目以上の調査を実施した場合、それぞれ計上し加算したので実際の事業場数より多い
 2) 同一事業場で2項目以上の調査を2回以上行った場合、項目ごとに延数で計上し加算した

表3 業種・規模別の調査実施事業場数

規模	総計	食品製造業	同出版・印刷業	化学工業	石炭・石油製品製造業	製窯業・土石製品業	鉄鋼業	金属製品製造業	製一般機械器具業	製電気機械器具業	製輸送用機械器具業	製精密機械器具業	その他の製造業	水道業	医療業	廃棄物処理業	保健及び業	教育機関	学術研究機関	サービス・その他
事業場数	126	12	1	12	3	3	2	10	17	9	5	5	14	0	6	3	3	11	10	
50人未満	47	3	0	2	1	0	0	5	12	3	2	1	5	0	1	3	1	1	7	
50～99人	27	2	1	3	1	0	0	3	2	1	0	0	5	0	0	0	1	7	1	
100～199人	25	4	0	2	0	0	1	1	2	3	2	3	1	0	3	0	0	1	2	
200～299人	12	1	0	3	1	1	0	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	2	0	
300～499人	9	2	0	1	0	1	1	0	0	1	0	0	1	0	2	0	0	0	0	
500～999人	4	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	
1000人以上	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

表4 作業環境管理区分の過去3カ年の推移

有害要因	作業環境管理区分											
	2022年度				2023年度				2024年度			
	1	2	3	計	1	2	3	計	1	2	3	計
総数	1 608 (81.3)	165 (8.3)	206 (10.4)	1 979	1 902 (81.9)	217 (9.3)	203 (8.7)	2 322	1 728 (81.8)	191 (9.0)	194 (9.2)	2 113
粉じん	317 (90.8)	13 (3.7)	19 (5.4)	349	341 (88.3)	20 (5.2)	25 (6.5)	386	353 (91.0)	17 (4.4)	18 (4.6)	388
有機溶剤	613 (93.9)	29 (4.4)	11 (1.7)	653	644 (94.3)	28 (4.1)	11 (1.6)	683	653 (95.1)	25 (3.6)	9 (1.3)	687
特定化学物質	392 (96.3)	10 (2.5)	5 (1.2)	407	644 (94.6)	26 (3.8)	11 (1.6)	681	427 (96.6)	9 (2.0)	6 (1.4)	442
金属(鉛)等	128 (97.0)	1 (0.8)	3 (2.3)	132	115 (98.3)	2 (1.7)	0 (0.0)	117	120 (97.6)	3 (2.4)	0 (0.0)	123
その他の有害物質	42 (93.3)	0 (0.0)	3 (6.7)	45	45 (93.8)	1 (2.1)	2 (4.2)	48	38 (95.0)	0 (0.0)	2 (5.0)	40
騒音	116 (29.5)	112 (28.5)	165 (42.0)	393	113 (27.8)	140 (34.4)	154 (37.8)	407	137 (31.6)	137 (31.6)	159 (36.7)	433

※()内は%

表5 調査結果に基づく改善指導の状況

作業の区分	改善指導の内容	改善指導事業場数		
		実数	%	
有害物質	生産技術的対策	代替・使用制限	9	5
		生産工程・作業方法の改善	25	13
	環境技術的対策	設備の密閉化・湿式化	9	5
		局所排気装置(設置・改良)	27	14
		全体換気装置(設置・改良)	5	3
	作業管理対策	汚染防止設備の保守管理	17	9
作業行動の改善		15	8	
騒音	その他の対策	保護具	59	31
		その他の対策	26	14
		合計	192	100
	騒音発生源・伝ば経路対策	発生源の低騒音化	19	4
		設備・工程等の改善	32	7
遮音対策		31	7	
受音者対策	保護具	163	34	
	管理区分・保護具着用の掲示 衛生教育	36 130	8 27	
その他の対策	その他の対策	64	13	
合計		475	100	
総合		667		

※第2、第3管理区分のみ記載

簡易専用水道検査

表1 簡易専用水道検査* 年度別の検査実施状況

地域 (検査エリア)	2022年度	2023年度	2024年度
横浜市	1 361 (269)	1 312 (264)	1 346 (264)
川崎市	55 (2)	53 (2)	66 (2)
横須賀市	16 (0)	15 (0)	14 (0)
藤沢市	10 (2)	10 (2)	9 (2)
その他の市町村	39 (13)	42 (12)	44 (11)
実施数	1 481 (286)	1 432 (280)	1 479 (279)

*受水槽の有効容量10tを超えるもの

**実施数には、現場検査と書類検査が含まれ、()内は、書類検査の実施数を示す

表2 小規模受水槽水道検査* 年度別の検査実施状況

地域 (検査エリア)	2022年度	2023年度	2024年度
横浜市	130 (10)	118 (7)	118 (9)
その他の市町村	12 (0)	15 (0)	17 (0)
実施数	142 (10)	133 (7)	135 (9)

*受水槽の有効容量10t以下のもの

**実施数には、現場検査と書類検査が含まれ、()内は、書類検査の実施数を示す

表3 簡易専用水道検査等の検査結果

地域 (検査エリア)	検査実施施設数 (B)	不適合施設数		不適合率 (C)/(B)%	報告助言率 (D)/(C)%		
		総数 (C)	助言施設* (D)				
簡専水	横浜市	現場検査	1 082	153	32	14.1	20.9
		書類検査	264	3	0	1.1	0
	その他市町村	現場検査	118	30	6	25.4	20
		書類検査	15	0	0	0	0
小規模	現場検査	126	21	3	16.7	14.3	
	書類検査	9	0	0	0	0	
合計	1 614	207	41	12.8	19.8		

*助言施設とは、厚生労働省告示262号に該当する項目

表4 簡易専用水道検査 不適合内容の内訳

区分	不適合施設数	不適合内容数(施設の外觀検査等)																								累計	
		受水槽									高置水槽									水質検査							
		水槽の周囲の状態	本体の状態	上部の状態	内部の状態	マンホールの状態	オーバーフロー管の状態	通気管の状態	水抜管の状態	給水管の状態	水槽の周囲の状態	本体の状態	上部の状態	内部の状態	マンホールの状態	オーバーフロー管の状態	通気管の状態	水抜管の状態	給水管の状態	臭気	味	色	色度	濁度	残留塩素		
横浜市	156	31	39	16	18	26	9	15	4	0	0	12	2	0	20	8	25	0	0	0	0	0	0	0	1	10	236
その他の市町村	30	9	7	2	1	6	4	6	3	0	0	1	0	0	2	1	4	0	0	0	0	0	0	0	2	3	51
合計	186	40	46	18	19	32	13	21	7	0	0	13	2	0	22	9	29	0	0	0	0	0	0	0	3	13	287

表5 小規模受水槽水道検査 不適合内容の内訳

区分	不適合施設数	不適合内容数(施設の外觀検査等)																								累計		
		受水槽									高置水槽									水質検査								
		水槽の周囲の状態	本体の状態	上部の状態	内部の状態	マンホールの状態	オーバーフロー管の状態	通気管の状態	水抜管の状態	給水管の状態	水槽の周囲の状態	本体の状態	上部の状態	内部の状態	マンホールの状態	オーバーフロー管の状態	通気管の状態	水抜管の状態	給水管の状態	臭気	味	色	色度	濁度	残留塩素			
横浜市	17	1	5	1	1	4	2	2	1	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	6	27
その他の市町村	4	2	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	
合計	21	3	5	1	1	5	3	2	2	0	0	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	6	32	

母子・学校保健

■ 新生児マススクリーニング検査

新生児マススクリーニング検査は生後早期に診断、治療を始めることで持って生まれた病気による障害から子どもたちを守る母子保健事業の一つで、先天性代謝異常検査として1977年から全国的に実施された。

神奈川県では1976年、県医師会事業として「神奈川県先天性代謝異常対策委員会」を発足し(令和6年、新生児マススクリーニング委員会と名称変更)、同年全国に先立ち5つの対象疾患の検査を開始した。次第に拡大し現在では20疾患が対象になっている。検査は生後4～7日の新生児の足底から濾紙に血液を採取し、自然乾燥(2時間程度)させたものを用い、開始当初検査方法はガスリー法だったが、2011年からタンデム法(質量分析)に変わり、より短時間で多種類の分析が可能になり対象疾患が拡大された。

これまで、アミノ酸代謝異常症5疾患、有機酸代謝異常症7疾患及び脂肪酸代謝異常症5疾患の17疾患の検査がタンデム法で行われ、その他の甲状腺機能低下症などの3疾患は免疫化学的測定法や酵素化学的測定法で行われ、合計20疾患の検査を実施してきた。

2022年度に始められた拡大マススクリーニング検査は国の令和5年度補正予算事業「新生児マススクリーニング検査実証事業」に参加し、令和6年(2024年)10月1日から2疾患の検査料について公費負担として進められた。検査数は2023年度29,508に比べ2024年度は38,291と増加した。重症複合免疫不全症(SCID)、脊髄性筋萎縮症(SMA)の確定診断に至ったものは現在のところ明らかになっていない。

■ 腎臓病検診

腎臓病検診は小児の腎疾患の早期発見と治療により腎機能の低下を予防する重要な検査である。IgA腎症に代表される無症候性に進行する慢性腎炎は長い時を経て腎不全に至る。早期に発見し治療することで成人期の腎不全の減少につながる。

検査は早朝尿を用いて行われるが尿中たんぱく量の測定に際し、尿の希釈、濃縮が大きく影響する。たんぱくクレアチニン比の測定が一つの指標になるが煩雑である。協会では二次検尿から、試験紙法による半定量的測定を行うことを導入し判定に役立てている。

今年度も小学校、中学校の検診から腎炎、ネフローゼ症候群、その他の腎疾患が発見された。当協会独自の至急再検や緊急受診勧告からは新たに腎疾患が見つかる率が高く、大変意義のある検査である。一次検診の後の精密検査については県内の自治体により差があるが三次精密検診や経過観察者を管理する判定委員会を持つ自治体は、精度が高く安定した検査結果及び質の高い事後管理が継続している。こうした取り組みの自治体が増えることが期待される。

■ 糖尿病検診

糖尿病検診システムについて横浜市の例を資料Aに示した。同市では一次検査から事後指導・管理まで医師会・教育委員会・当協会が参画した小児生活習慣病委員会が管理し、二次検査および精検は横浜市立大学医学部小児科医師が担当し、一貫した診療を実施している。また特徴として二次検査に際し児童・生徒が保護者同伴で検診会場に会場し、受診に合わせ糖尿病の病気と予防について医師からの講話を親子で一緒に聞く場を設置し、家族ぐるみの健康教育を実施していることである。

一次検査での陽性率は幼稚園・保育園で0.04%が小学校で0.05%、中学校で0.12%、高等学校で0.22

%と次第に上がってきている。特別支援学校では0.41%である。横浜市での追跡では9名の糖尿病の発見に至っている。1型糖尿病(インスリン依存性糖尿病)ではケトアシドーシスを防ぐインスリン投与を含め早急な管理が必要になるし、インスリン非依存性の2型糖尿病では、健康教育も含めたケアが必要になる。糖尿病検診は大きな役割を果たしているといえる。

■ 心臓検診

学校心臓検診は学校保健安全法に基づき、教育委員会、医師会学校医部会、専門医等の指導協力を得ながら、資料Aに示した流れを基本に小、中、高の1年生を対象に約99,687名実施した。高校は諸事情が重なり年々減少している。

一次検診後、要精検等様々の判定区分が行われているが、特徴的なのは判定委員会の設置で、当協会はこの委員会の中で事務局的作用をもって検診の質の向上に努めている。数市町村では校医の抽出後、協会で二次検診が行われている。横浜市、相模原市ではそれぞれ各医師会による判定が行われている。二次検診に区分されるのはいずれも新たに発見されたものである。

コロナ禍の影響も残り今年も省略心電図・心音図検査の実施市町村では、これに変え標準12誘導心電図を実施した。また二次検診では、どの市町村においても負荷心電図は実施しなかった。負荷心電図を必要とする場合は、一次検診の後、直接要精検・要観察となった。

近年、二次検診で心エコーを実施する市町村が増加し、三次検診対象者の絞り込みに大きく寄与している。

令和6(2024)年度は二次検診から要精検となったものが、小学校で127名、中学校で138名だった。

■ 貧血検査

学校貧血検査は、平成6(1994)年の学校保健法一部改正により、採血による貧血検査の義務付けが簡略化された影響で、受験者数の減少が続いている。令和6(2024)年度は中学校1校、高等学校2校となった。検査項目は、血色素量、ヘマトクリット値、赤血球数、白血球数であり、その判定は〔当協会における検査の基準範囲〕(P.113)に基づき「正常」「要注意」「要受診」の3群で報告している。このうち、「要注意」「要受診」の多くは血色素量が低下する鉄欠乏性貧血と考えられる。貧血のため要受診は中学校182名中1例、高等学校297名中3例であった。

新生児マススクリーニング検査

表1 年度別受付数及び検査数

区 分	アミノ酸・糖代謝異常症			甲状腺機能低下症			副腎過形成症			有機酸・脂肪酸代謝異常症等		
	検 体 受付数	初回検査 不能数 (%)	検査数 (前年比)	検 体 受付数	初回検査 不能数 (%)	検査数 (前年比)	検 体 受付数	初回検査 不能数 (%)	検査数 (前年比)	検 体 受付数	初回検査 不能数 (%)	検査数 (前年比)
2024年度	48 979	6 (0.01)	48 973 (95.74)	48 979	6 (0.01)	48 973 (95.74)	48 979	6 (0.01)	48 973 (95.74)	48 979	6 (0.01)	48 973 (95.74)
2023年度	51 162	8 (0.02)	51 154 (95.88)	51 162	8 (0.02)	51 154 (95.88)	51 162	8 (0.02)	51 154 (95.88)	51 162	8 (0.02)	51 154 (95.88)
2022年度	53 364	12 (0.02)	53 352 (94.78)	53 364	12 (0.02)	53 352 (94.78)	53 364	12 (0.02)	53 352 (94.78)	53 364	12 (0.02)	53 352 (94.78)
累 計	3 322 529	7 911 (0.24)	3 314 618	3 103 715	4 622 (0.15)	3 099 093	2 601 026	1 955 (0.08)	2 599 071	809 265	225 (0.03)	809 040

※開始年度 代謝異常症は1976年11月、甲状腺機能低下症は1979年10月、副腎過形成症は1988年4月（1986年7月からのパイロットスタディを含む）、
有機酸・脂肪酸代謝異常症等は2011年10月

※（％）は検査受付数に対する％

表2 項目別検査結果

区 分		一 次 検 査					再 検 査			要精密 診 査 計	（％）
		検査数	要再検査	要精密 診 査	計	（％）	検査数	要精密 診 査	（％）		
アミノ酸・糖 代謝異常症	フェニルアラニン	48 973	7	－	7	0.01	6	1	－	1	－
	メチオニン	48 973	－	2	2	－	－	－	－	2	－
	ロイシン	48 973	3	－	3	0.01	2	－	－	－	－
	ガラクトース	48 973	17	1	18	0.04	17	3	0.01	4	0.01
	2024年度	48 973	27	3	30	0.06	25	4	0.01	7	0.01
	累 計	3 314 618	6 831	134	6 965	0.21	6 627	487	0.01	621	0.02
甲 状 腺 機 能 低 下 症	2024年度	48 973	274	19	293	0.60	255	21	0.04	40	0.08
	累 計	3 099 093	24 322	1 745	26 067	0.84	23 416	3 034	0.10	4 779	0.15
副 腎 過 形 成 症	2024年度	48 973	29	11	40	0.08	29	1	－	12	0.02
	累 計	2 599 071	6 926	565	7 491	0.29	6 729	730	0.03	1 295	0.05
有 機 酸 ・ 脂 肪 酸 代 謝 異 常 症 等	2024年度	48 973	63	5	68	0.14	62	6	0.01	11	0.02
	累 計	809 040	2 394	75	2 469	0.31	2 362	140	0.02	215	0.03

※（％）は一次検査検査数に対する％

(2025年6月30日現在)

表3 行政別一次検査数及び結果

区 分	検体受付数	初回検査不能数	検査数	要再検査数	（％）	要精密診査数	（％）
横 浜 市	20 694	1	20 693	176	0.85	20	0.10
川 崎 市	7 925	－	7 925	73	0.92	7	0.09
相 模 原 市	4 094	1	4 093	30	0.73	2	0.05
神 奈 川 県（県域）	16 266	4	16 262	114	0.70	9	0.06
計	48 979	6	48 973	393	0.80	38	0.08

※（％）は検査数に対する％

表4 甲状腺機能低下症 検査結果

区分	一次検査									再検査				要精密 診査 計	
	検査数	要再検査				要精密診査				検査数	要精密診査				
		TSH	FT ₄	TSH FT ₄	計	TSH	FT ₄	TSH FT ₄	計		TSH	FT ₄	TSH FT ₄		計
2024年度	48 973	220	53	1	274	11	-	8	19	255	10	9	2	21	40
累計	3 099 093	17 514	6 734	74	24 322	1 132	198	415	1 745	23 416	1 020	1 908	106	3 034	4 779

※累計にT₄のデータを含む 1990年度からT₄をFT₄に変更 (2025年6月30日現在)
 ※2015年4月よりTSHの単位表示を血清単位から血液単位に変更
 ※TSH：甲状腺刺激ホルモン T₄：サイロキシシン FT₄：遊離型サイロキシシン

表5 精密診査診断症例数（アミノ酸・糖代謝異常症）

区分		2022年度	2023年度	2024年度	累計	発生頻度 ¹⁾
フェニルアラニン	総数	10	3	1	259	
	フェニルケトン尿症	1	-	-	28	
	高フェニルアラニン血症	7	1	-	42	
	一過性高フェニルアラニン血症	2	1	-	24	28
	一過性高フェニルアラニン血症疑い	-	-	-	1	3 314 618
	シトリン欠損症疑い	-	-	-	1	
	肝障害	-	-	-	3	($\frac{1}{118 379}$)
	正常	-	-	-	133	
	その他（他疾患など）	-	-	-	3	
	死亡	-	1	-	6	
精査中または、診断未定	-	-	1	18		
メチオニン	総数	3	1	2	159	
	ホモシスチン尿症	-	-	-	5	
	高メチオニン血症	2	1	-	25	5
	一過性高メチオニン血症	-	-	-	11	3 314 618
	一過性高メチオニン血症疑い	-	-	1	2	
	正常	-	-	-	89	($\frac{1}{662 924}$)
	その他（他疾患など）	-	-	-	9	
	死亡	-	-	-	2	
精査中または、診断未定	1	-	1	16		
ロイシン	総数	-	-	-	16	5
	メーブルシロップ尿症	-	-	-	5	3 314 618
	一過性高ロイシン血症	-	-	-	2	($\frac{1}{662 924}$)
正常	-	-	-	9		
ガラクトース	総数	3	1	4	187	
	ガラクトース血症	-	-	-	35	
	ガラクトース血症Ⅲ型	1	-	-	5	
	高ガラクトース血症	1	-	-	32	
	一過性高ガラクトース血症	-	1	2	32	40
	ガラクトース血症疑い	-	-	-	1	3 314 618
	一過性高ガラクトース血症疑い	1	-	-	6	
	肝障害	-	-	-	6	($\frac{1}{82 865}$)
	低出生体重児	-	-	-	3	
	正常	-	-	-	35	
	その他（他疾患など）	-	-	-	9	
死亡	-	-	-	2		
精査中または、診断未定	-	-	2	21		

1) 発生頻度は本疾患児のみ（ゴシック字体） (2025年6月30日現在)
 ※神奈川県医師会新生児マススクリーニング委員会治療研究班 資料より

表6 精密診査診断症例数（甲状腺機能低下症）

区 分	2022年度	2023年度	2024年度	累計	発生頻度 ¹⁾
総 数	63	68	40	4 779	
先天性甲状腺機能低下症	16	19	11	1 088	
中枢性甲状腺機能低下症	—	1	—	64	
一過性中枢性甲状腺機能低下症	—	—	—	10	
一過性甲状腺機能低下症	1	3	—	286	
高TSH血症	3	8	—	187	
TBG低下症	—	—	—	838	
TBG增多症	—	—	—	1	
低出生体重T ₄ 低下	5	5	1	452	$\frac{1\ 152}{3\ 099\ 093}$
栄養失調に伴うT ₄ 低下	1	—	—	21	
ダウン症	3	1	—	24	
先天性甲状腺機能低下症疑い	—	1	—	19	
中枢性甲状腺機能低下症疑い	—	—	—	10	$\left[\frac{1}{2\ 690} \right]$
一過性中枢性甲状腺機能低下症疑い	—	—	—	19	
一過性甲状腺機能低下症疑い	1	—	1	18	
高TSH血症疑い	14	16	5	86	
TBG低下症疑い	—	—	—	1	
低出生体重児	—	—	—	4	
正常	—	—	—	1 196	
その他（他疾患など）	—	—	—	9	
死亡	—	—	—	38	
精査中または、診断未定	19	14	22	408	

1) 発生頻度は本疾患児のみ（ゴシック字体）（続発性を含む）

（2025年6月30日現在）

※神奈川県医師会新生児マススクリーニング委員会治療研究班 資料より

表7 精密診査診断症例数（副腎過形成症）

区 分	2022年度	2023年度	2024年度	累計	発生頻度 ¹⁾
総 数	17	20	12	1 295	
副腎過形成症	3	1	—	125	
副腎過形成症疑い	—	—	—	1	
一過性高17-OHP	—	1	—	96	$\frac{125}{2\ 599\ 071}$
一過性高17-OHP疑い	1	—	—	61	
低出生体重児	10	13	2	602	
3β-水酸化ステロイド脱水素酵素欠損	—	—	—	2	$\left[\frac{1}{20\ 793} \right]$
正常	—	—	—	117	
その他（他疾患など）	—	—	—	8	
死亡	—	—	—	2	
精査中または、診断未定	3	5	10	281	

1) 発生頻度は本疾患児のみ（ゴシック字体）

（2025年6月30日現在）

※神奈川県医師会新生児マススクリーニング委員会治療研究班 資料より

表8 精密診査診断症例数（有機酸・脂肪酸代謝異常症等）

区 分	2022年度	2023年度	2024年度	累計	発生頻度 ¹⁾
総 数	21	18	11	217	
メチルマロン酸血症	—	—	—	10	
プロピオン酸血症	1	—	—	18	
イソ吉草酸血症	—	—	—	1	
メチルクロトニルグリシン尿症	1	1	—	5	
グルタル酸血症 I 型	—	—	—	1	
MCAD欠損症	—	—	—	6	
VLCAD欠損症	1	—	—	8	
CPT1欠損症	—	—	—	1	
CPT2欠損症	—	—	—	1	
シトルリン血症 I 型	—	—	—	1	
シトリン欠損症	—	—	—	3	
全身性カルニチン欠乏症	—	—	1	5	
一過性高C5血症	1	—	—	11	52
一過性高C5-OH血症	3	5	1	38	809 040
一過性高C5-DC血症	—	—	—	6	
一過性高C3血症	—	—	—	3	
一過性高C8血症	—	—	—	1	
一過性高C0/(C16+C18)血症	—	1	—	2	(1 / 15 558)
一過性低C0血症	—	—	—	6	
一過性低C0血症疑い	—	—	—	2	
一過性高C14:1血症	—	—	—	1	
一過性高C16-OH血症	1	—	—	2	
VLCAD欠損症疑い	—	—	—	1	
CPT1欠損症疑い	1	—	—	2	
CPT2欠損症疑い	5	1	—	9	
一過性高シトルリン血症	—	—	—	1	
シトルリン血症 I 型疑い	—	—	—	2	
シトリン欠損症疑い	—	—	—	2	
正常	6	6	2	24	
その他	—	1	—	1	
精査中または、診断未定	1	3	7	43	

1) 発生頻度は本疾患のみ（ゴシック字体）

（2025年6月30日現在）

疾患名はパイロットスタディのデータも含む

※神奈川県医師会新生児マススクリーニング委員会治療研究班 資料より

表9 その他の検査

区 分	低出生体重児検査			再 検 査			精 密 診 査 他		
	検体受付数	検査不能数 (%)	検 査 数	検体受付数	検査不能数 (%)	検 査 数	検体受付数	検査不能数 (%)	検 査 数
2024年度	1 013	(—)	1 013	359	(—)	359	272	(—)	272

※低出生体重児とは出生体重2,000g未満の初回検査

※(%)は検査受付数に対する%

資料A 疾患名・検査項目及び検査方法

疾 患 名	検査項目	検査方法	疾 患 名	検査項目	検査方法
アミノ酸代謝異常症			脂肪酸代謝異常症		
フェニルケトン尿症	Phe	タンデムマス法	MCAD欠損症	C8, C8/C10	タンデムマス法
ホモシスチン尿症	Met		VLCAD欠損症	C14:1, C14:1/C2	
メーブルシロップ尿症	Leu+ Ile		TFP/LCHAD欠損症	C16-OH, C18:1-OH	
シトルリン血症 I 型	Cit		CPT1欠損症	C16/C0+C18/C0	
アルギニノコハク酸尿症	Cit, ASA		CPT2欠損症	(C16+C18:1)/C2, C16, C14/C3	
有機酸代謝異常症			糖代謝異常症		
メチルマロン酸血症	C3, C3/C2	タンデムマス法	ガラクトース血症	Gal	酵素化学的測定法
プロピオン酸血症	C3, C3/C2		甲状腺機能低下症	TSH	免疫化学的測定法
イソ吉草酸血症	C5			FT ₄	
メチルクロトニルグリシン尿症	C5-OH		副腎過形成症	17-OHP	タンデムマス法
ヒドロキシメチルグルタル酸血症	C5-OH		重症複合免疫不全症	TREC	リアルタイムPCR法
複合カルボキシラーゼ欠損症	C5-OH			KREC	
グルタル酸血症 I 型	C5-DC		脊髄性筋萎縮症	SMN1	リアルタイムPCR法

拡大新生児マススクリーニング

表10 年度別受付数及び検査数

区 分	重症複合免疫不全症			脊髄性筋萎縮症		
	検体受付数	検査不能数 (%)	検査数	検体受付数	検査不能数 (%)	検査数
2024年度	38 291	$\frac{2}{(0.01)}$	38 289	38 291	$\frac{2}{(0.01)}$	38 289
2023年度	29 508	$\frac{2}{(0.01)}$	29 506	29 508	$\frac{2}{(0.01)}$	29 506
2022年度	23 795	$\frac{1}{(-)}$	23 794	23 795	$\frac{1}{(-)}$	23 794
累 計	91 594	$\frac{5}{(0.01)}$	91 589	91 594	$\frac{5}{(0.01)}$	91 589

※開始年度 重症複合免疫不全症は2022年4月、脊髄性筋萎縮症は2022年4月
 ※(%)は検査受付数に対する%
 ※2022年4月～2023年9月は有料検査、2023年10月より国の実証事業開始（有料検査を含む）

表11 項目別検査結果

区 分		一 次 検 査					再 検 査			要精密 診 査 計	(%)
		検査数	要再検査	要精密 診 査	計	(%)	検査数	要精密 診 査	(%)		
重症複合免疫 不 全 症	2024年度	38 289	26	17	43	0.11	22	2	-	19	0.05
	累 計	91 589	50	25	75	0.08	44	3	-	28	0.03
脊 髄 性 筋 萎 縮 症	2024年度	38 289	-	2	2	0.01	-	-	-	2	0.01
	累 計	91 589	-	5	5	0.01	-	-	-	5	0.01

※ (%) は一次検査検査数に対する% (2025年6月30日現在)

表12 精密診査診断症例数（重症複合免疫不全症）

区 分	2022年度	2023年度	2024年度	累計	発生頻度 ¹⁾
総 数	3	6	19	28	$\frac{0}{91\,589}$
重症複合免疫不全症	-	-	-	-	
X連鎖無ガンマグロブリン血症	1	-	-	1	
特発性B細胞減少症	1	-	-	1	
精査中または、診断未定	1	6	19	26	

1) 発生頻度は本疾患児のみ（ゴシック字体） (2025年6月30日現在)
 ※神奈川県医師会新生児マススクリーニング委員会治療研究班 資料より

表13 精密診査診断症例数（脊髄性筋萎縮症）

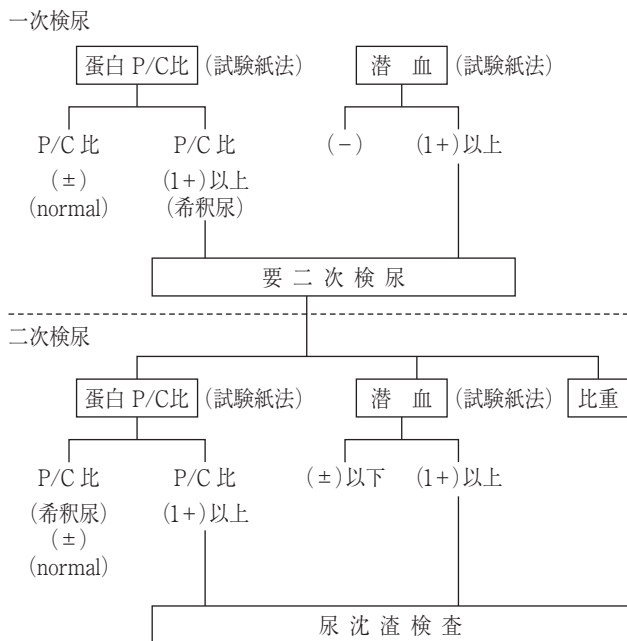
区 分	2022年度	2023年度	2024年度	累計	発生頻度 ¹⁾
総 数	3	-	2	5	$\frac{5}{91\,589}$
脊髄性筋萎縮症	3	-	2	5	
					$\left[\frac{1}{18\,318} \right]$

1) 発生頻度は本疾患児のみ（ゴシック字体） (2025年6月30日現在)
 ※神奈川県医師会新生児マススクリーニング委員会治療研究班 資料より

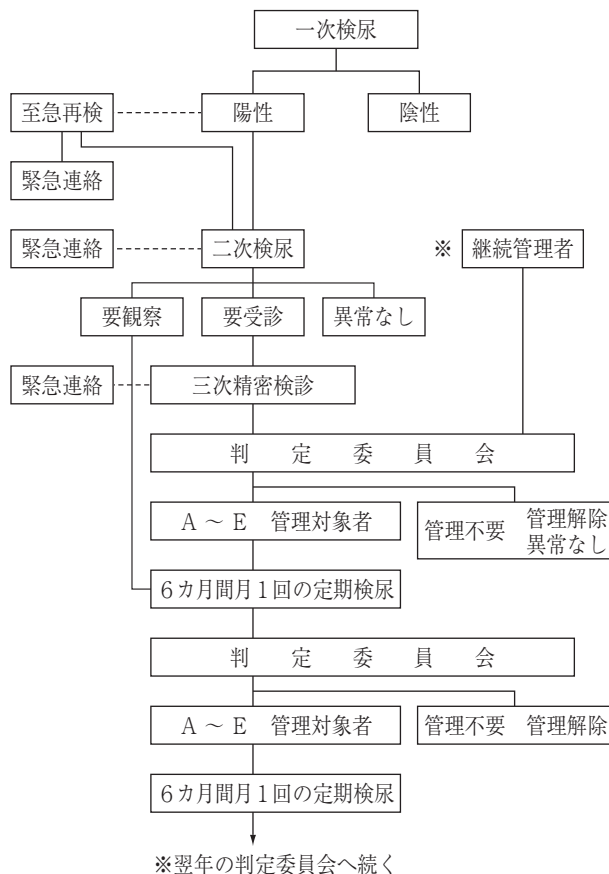
腎臓病検診

1. 同一学校で年2回実施している学校もある。
2. 二次検尿の協会判定なしの要受診者数については不明のため計上しない。
3. 三次精密検診者暫定診断結果は腎疾患管理研究会のご協力により作成した。
4. 協会判定とは二次検尿で「要三次精検（要受診）者」の判定を予防医学協会で行ったもの。
5. 判定なしとは二次検尿で「要三次精検（要受診）者」の判定を予防医学協会で行わなかったもの。

資料A 検査方法



資料B 判定委員会のスタンダードな流れ



資料C 二次検尿判定基準

<p>1) 要受診</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 蛋白試験紙 (2+) 以上またはP/C試験紙 (2+) (2) 蛋白試験紙 (1+) 以下でP/C試験紙 (1+) かつ沈渣軽度異常 (3) 沈渣高度異常 (4) 潜血 (2+) 以上 <p>2) 要観察</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 蛋白試験紙 (1+) 以下でP/C試験紙 (1+) かつ沈渣異常なし (2) P/C試験紙 (希釈尿) <p>3) 異常なし</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) P/C試験紙 (normal) か (±) (2) 潜血 (1+) で沈渣は異常なし、あるいは軽度異常 (3) 潜血 (-) か (±) 	<p>沈渣基準</p> <table border="0"> <tr> <td>・ 沈渣高度異常</td> <td></td> <td rowspan="5">} のいずれかあるもの</td> </tr> <tr> <td>赤血球</td> <td>20個/HPF以上</td> </tr> <tr> <td>白血球</td> <td>10個/HPF以上</td> </tr> <tr> <td>ガラス円柱</td> <td>10個/WF以上</td> </tr> <tr> <td>顆粒円柱</td> <td>5個/WF以上</td> </tr> <tr> <td>赤血球円柱</td> <td>1個/WF以上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 沈渣軽度異常</td> <td></td> <td rowspan="4">} のいずれかあるもの</td> </tr> <tr> <td>赤血球</td> <td>10-19個/HPF</td> </tr> <tr> <td>白血球</td> <td>5-9個/HPF</td> </tr> <tr> <td>ガラス円柱</td> <td>5-9個/WF</td> </tr> <tr> <td>顆粒円柱</td> <td>3-4個/WF</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ 沈渣異常なし</td> <td></td> <td rowspan="4"></td> </tr> <tr> <td>赤血球</td> <td>0-9個/HPF</td> </tr> <tr> <td>白血球</td> <td>0-4個/HPF</td> </tr> <tr> <td>ガラス円柱</td> <td>0-4個/WF</td> </tr> <tr> <td>顆粒円柱</td> <td>0-2個/WF</td> <td></td> </tr> </table>	・ 沈渣高度異常		} のいずれかあるもの	赤血球	20個/HPF以上	白血球	10個/HPF以上	ガラス円柱	10個/WF以上	顆粒円柱	5個/WF以上	赤血球円柱	1個/WF以上		・ 沈渣軽度異常		} のいずれかあるもの	赤血球	10-19個/HPF	白血球	5-9個/HPF	ガラス円柱	5-9個/WF	顆粒円柱	3-4個/WF		・ 沈渣異常なし			赤血球	0-9個/HPF	白血球	0-4個/HPF	ガラス円柱	0-4個/WF	顆粒円柱	0-2個/WF	
・ 沈渣高度異常		} のいずれかあるもの																																					
赤血球	20個/HPF以上																																						
白血球	10個/HPF以上																																						
ガラス円柱	10個/WF以上																																						
顆粒円柱	5個/WF以上																																						
赤血球円柱	1個/WF以上																																						
・ 沈渣軽度異常		} のいずれかあるもの																																					
赤血球	10-19個/HPF																																						
白血球	5-9個/HPF																																						
ガラス円柱	5-9個/WF																																						
顆粒円柱	3-4個/WF																																						
・ 沈渣異常なし																																							
赤血球	0-9個/HPF																																						
白血球	0-4個/HPF																																						
ガラス円柱	0-4個/WF																																						
顆粒円柱	0-2個/WF																																						

表1 年度別受検者及び受検学校数

区 分	受 検 者 ¹⁾			受 検 学 校 ¹⁾		
	2022年度	2023年度	2024年度	2022年度	2023年度	2024年度
総 数	674 765	648 196	638 364	2 027	1 974	1 980
幼稚園・保育園	58 382	50 479	48 500	766	737	747
小 学 校	412 279	399 332	393 264	803	788	785
中 学 校	183 331	177 515	175 566	389	381	380
高 等 学 校	17 042	17 084	17 177	32	31	30
特別支援学校	3 372	3 395	3 437	36	36	37
専 修 学 校	359	391	420	1	1	1

1) 同一学校で年2回実施している場合は、延数で計上した。

表2 学校区分別受検者及び受検学校数

区 分	受 検 者 ¹⁾		受 検 学 校 ¹⁾	
	協会判定	判定なし	協会判定	判定なし
総 数	605 365	32 999	1 925	55
幼稚園・保育園	48 500	-	747	-
小 学 校	370 602	22 662	750	35
中 学 校	165 360	10 206	361	19
高 等 学 校	17 177	-	30	-
特別支援学校	3 306	131	36	1
専 修 学 校	420	-	1	-

1) 同一学校で年2回実施している場合は、延数で計上した。

資料D 川崎市二次検尿判定基準

<p>1) A検査診</p> <p>(1) 蛋白試験紙(2+)以上 またはP/C試験紙(2+)</p> <p>(2) 潜血(3+)以上</p> <p>(3) 沈渣中の赤血球 30個/HPF以上</p> <p>(4) 沈渣中の顆粒円柱 5個/WF以上</p> <p>(5) 沈渣中のガラス円柱 10個/WF以上</p>	<p>のいずれか があるもの</p>
<p>2) A'検査診</p> <p>(1) 蛋白試験紙(1+)以下で P/C試験紙(1+)</p> <p>(2) P/C試験紙(希釈尿)</p>	
<p>3) C検査診</p> <p>蛋白試験紙(1+)以下で、沈渣中の白血球 10個/HPF以上のもの</p>	<p>のいずれか があるもの</p>
<p>4) 異常なし</p> <p>A検査診、A'検査診、C検査診に該当しないもの</p>	

資料E 各市町村の検診システム

区 分	一次対象者	三次対象者	三次検診機関
鎌倉市 茅ヶ崎市 小田原市	管理中を除く	1) 協会判定の要受診	神奈川県予防医学協会
大和市 海老名市 平塚市	管理中を除く	1) 協会判定の要受診 要観察	神奈川県予防医学協会
綾瀬市	全員	1) 協会判定の要受診 要観察	神奈川県予防医学協会
横浜市	全員	1) 協会判定の要受診	指定医療機関
川崎市	全員	2) A検査診 川崎市判定のA'検査診 C検査診	指定医療機関
相模原市 座間市	全員	1) 協会判定の要受診 要観察	指定医療機関
秦野市 厚木市 愛川町 清川村	全員	1) 協会判定の要受診	指定医療機関
藤沢市	管理中を除く	医師会判定の要受診	指定医療機関

1) 協会判定基準は資料C参照 2) 川崎市の判定基準は資料D参照

表3 一次、二次及び三次精密検診成績

区 分	一次検尿		二次検尿		三 次 精 密 検 診										
	受 検 者	陽 性 者	受 検 者	要 ¹⁾ (要 三 次 精 検 者)	回 答 者	受診状況		暫 定 診 断 結 果							
						受 診	不 明	腎 ²⁾ 疾 患	腎 ²⁾ 炎 の 疑 い	泌 ²⁾ 尿 器 系 疾 患	起 ²⁾ 立 性 蛋 白 尿	そ ²⁾ の 他 の 疾 患	要 ²⁾ 経 過 観 察	病 ²⁾ 名 不 詳	異 ²⁾ 常 な し
総 数	計 数 638 364	24 660	22 651	…	1 135	913	222	27	35	16	90	1	410	34	300
	% ・	3.9	91.9	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…	…
協 会 判 定	計 数 605 365	23 393	21 468	1 268	1 122	900	222	24	35	16	88	1	402	34	300
	% ・	3.9	91.8	0.2	88.5	79.9	19.8	0.01	0.01	0.00	0.02	0.00	0.10	0.01	0.08
判 定 な し	計 数 32 999	1 267	1 183	…	13	13	-	3	-	-	2	-	8	-	-

1) % : $\frac{\text{実 数}}{\text{一次受検者数} \times \text{二次受検率}} \times 100$ 2) % : $\frac{\text{実 数}}{\text{一次受検者数} \times \text{二次受検率} \times \text{三次受診率}} \times 100$

表4 三次精密検診結果のうち腎疾患、泌尿器系疾患、要経過観察の内訳

区 分	腎 疾 患									泌 尿 器 系 疾 患				要 経 過 観 察				
	腎 炎	急 性 腎 炎	慢 性 腎 炎	ネ フ ロ ー ゼ 群	腎 不 全	先 天 性 腎 疾 患	腎 血 管 性 疾 患	そ の 他 の 腎 疾 患	計	尿 路 感 染 症	尿 路 結 石	尿 路 奇 形	そ の 他 の 疾 患	計	血 尿	蛋 白 尿	血 尿 ・ 蛋 白 尿	計
総 数	3	3	10	2	-	2	5	2	27	14	-	2	-	16	344	61	5	410
幼 稚 園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小 学 校	1	2	5	2	-	1	2	2	15	9	-	1	-	10	220	27	2	249
中 学 校	-	1	4	-	-	1	2	-	8	5	-	1	-	6	111	32	3	146
高 等 学 校	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	4	-	-	4
特 別 支 援 学 校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	3
専 修 学 校	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
協 会 判 定	1	3	9	2	-	2	5	2	24	14	-	2	-	16	336	61	5	402
判 定 な し	2	-	1	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	8	-	-	8

幼稚園・保育園

表5 幼稚園・保育園の一次、二次及び三次精密検診成績

区 分	受 検 者		一次検尿		二次検尿		三 次 精 密 検 診											
			受 検 者	陽 性 者	受 検 者	要1) 三 次 精 検 者	回 答 者	受診状況		暫 定 診 断 結 果								
								受 診	不 明	腎2) 疾 患	腎2) 炎 の 疑 い	泌2) 尿 器 系 疾 患	起2) 立 性 蛋 白 尿	そ2) の 他 の 疾 患	要2) 経 過 観 察	病2) 名 不 詳	異2) 常 な し	
総 数 ³⁾	計	数	48 500	2 433	2 136	51	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	%	%	5.0	87.8	0.0	2.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.12
協 会 判 定	計	数	48 500	2 433	2 136	51	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	%	%	5.0	87.8	0.0	2.0	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.12

1) % : $\frac{\text{実 数}}{\text{一次受検者数} \times \text{二次受検率}} \times 100$ 2) % : $\frac{\text{実 数}}{\text{一次受検者数} \times \text{二次受検率} \times \text{三次受診率}} \times 100$
 3) 同一学校で年2回実施している場合は、延数で計上した。

表6 幼稚園・保育園の公（市町村）・私立別一次、二次及び三次精密検診成績

区 分	受 検 学 校	一次検尿		二次検尿		三 次 精 密 検 診												
		受 検 者	陽 性 者	受 検 者	要(要 三 次 精 検 者	回 答 者	受診状況		暫 定 診 断 結 果									
							受 診	不 明	腎 疾 患	腎 炎 の 疑 い	泌 尿 器 系 疾 患	起 立 性 蛋 白 尿	そ の 他 の 疾 患	要 経 過 観 察	病 名 不 詳	異 常 な し		
協 会 判 定	鎌倉市	4	174	16	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	海老名市	4	195	4	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	平塚市	2	27	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	秦野市	41	1 644	56	54	2	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
	小田原市	19	901	28	25	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	大磯町	3	219	15	12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	中井町	1	67	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	大井町	4	202	15	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	松田町	2	78	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	山北町	3	122	5	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	開成町	1	63	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	真鶴町	4	67	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	箱根町	4	136	19	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	湯河原町	2	32	2	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
私 立	653	44 573	2 264	1 984	46	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
計	747	48 500	2 433	2 136	51	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

小学校

表7 小学校の一次、二次及び三次精密検診成績

区分			一次検尿		二次検尿		三 次 精 密 検 診										
	計	数 %	受 検 者	陽 性 者	受 検 者	要1) 三 次 精 要 診 者 (要 受 診 精 要 診 者)	回 答 者	受診状況		暫 定 診 断 結 果							
								受 診	不 明	腎2) 疾 患	腎2) 炎 の 疑 い	泌2) 尿 器 系 疾 患	起2) 立 性 蛋 白 尿	そ2) 其 他 の 疾 患	要2) 経 過 観 察	病2) 名 不 詳	異2) 常 な し
総 数	計	数 %	393 264 .	11 080 2.8	10 305 93.0	… …	597 …	490 …	107 …	15 …	21 …	10 …	37 …	0 …	252 …	17 …	138 …
協 会 判 定	計	数 %	370 602 .	10 415 2.8	9 675 92.9	635 0.2	593 93.4	486 81.4	107 18.0	15 0.01	21 0.01	10 0.00	36 0.01	- -	249 0.09	17 0.01	138 0.05
判 定 な し	計	数	22 662	665	630	…	4	4	-	-	-	-	1	-	3	-	-

1) % : $\frac{\text{実 数}}{\text{一次受検者数} \times \text{二次受検率}} \times 100$ 2) % : $\frac{\text{実 数}}{\text{一次受検者数} \times \text{二次受検率} \times \text{三次受診率}} \times 100$

表8 小学校の国・公（市町村）・私立別一次、二次及び三次精密検診成績

区分	受 検 学 校			一次検尿		二次検尿		三 次 精 密 検 診										
		計	数 %	受 検 者	陽 性 者	受 検 者	要1) 三 次 精 要 診 者 (要 受 診 精 要 診 者)	回 答 者	受診状況		暫 定 診 断 結 果							
									受 診	不 明	腎 疾 患	腎 炎 の 疑 い	泌 尿 器 系 疾 患	起 立 性 蛋 白 尿	其 他 の 疾 患	要 経 過 観 察	病 名 不 詳	異 常 な し
協 会 判 定	横 浜 市	338	167 707	4 572	4 193	209	209	157	52	9	7	5	12	-	101	17	6	
	川 崎 市	114	72 227	2 013	1 921	129	129	97	32	-	13	-	9	-	29	-	46	
	鎌 倉 市	16	7 191	201	191	12	12	9	3	-	-	-	-	-	9	-	-	
	茅ヶ 崎 市	19	12 475	390	365	17	17	17	-	-	-	1	2	-	10	-	4	
	三 浦 市	8	1 309	57	55	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	相 模 原 市	71	32 203	966	895	107	111	111	-	3	-	2	6	-	63	-	37	
	大 和 市	19	11 606	278	260	19	19	12	7	-	1	-	2	-	3	-	6	
	海 老 名 市	13	7 024	215	192	20	20	16	4	1	-	-	3	-	5	-	7	
	座 間 市	11	5 872	195	182	20	20	15	5	-	-	-	-	-	6	-	9	
	綾 瀬 市	10	4 302	130	123	11	11	11	-	-	-	-	1	-	6	-	4	
	平 塚 市	28	11 343	293	272	21	21	21	-	-	-	1	-	-	7	-	13	
	秦 野 市	13	6 974	206	197	16	16	12	4	1	-	1	-	-	7	-	3	
	小 田 原 市	25	8 071	212	198	8	8	8	-	1	-	-	1	-	3	-	3	
	厚 木 市	23	10 036	325	291	27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	大 磯 町	2	1 440	47	47	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	二 宮 町	3	1 106	34	32	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	中 井 町	2	306	6	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	大 井 町	3	739	22	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	松 田 町	2	409	5	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	山 北 町	1	333	4	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	開 成 町	2	1 135	23	22	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
真 鶴 町	1	196	4	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
愛 川 町	6	1 610	45	42	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
清 川 村	1	107	3	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
箱 根 町	3	227	6	6	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
湯 河 原 町	3	612	16	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
国 立	2	1 233	38	35	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
私 立	11	2 809	109	100	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
計		750	370 602	10 415	9 675	635	593	486	107	15	21	10	36	-	249	17	138	
判 定 な し	藤 沢 市	35	22 662	665	630	…	4	4	-	-	-	-	1	-	3	-	-	

中学校

表9 中学校の一次、二次及び三次精密検診成績

区 分	一次検尿		二次検尿		三 次 精 密 検 診												
	受 検 者	陽 性 者	受 検 者	要1) (要 三次 精 診) 検 者	回 答 者	受診状況		暫 定 診 断 結 果									
						受 診	不 明	腎2) 疾 患	腎2) 炎の 疑い	泌2) 尿器 系疾 患	起2) 立性 蛋白 尿	そ2) 他の 疾患	要2) 経過 観察	病2) 名不 詳	異2) 常な し		
総 数	計 数 175 566	計 % 9 871 5.6	計 数 9 085	計 % 92.0	計 数 487	計 数 393	計 % 94	計 数 11	計 数 11	計 % 6	計 数 53	計 % 1	計 数 151	計 % 14	計 数 146		
協 会 判 定	計 数 165 360	計 % 9 282 5.6	計 数 8 544	計 % 92.0	計 数 478	計 数 384	計 % 94	計 数 8	計 数 11	計 % 6	計 数 52	計 % 1	計 数 146	計 % 14	計 数 146		
判 定 な し	計 数 10 206		計 数 541		計 数 9	計 数 9	計 % -	計 数 3	計 数 -	計 % -	計 数 1	計 % -	計 数 5	計 % -	計 数 -		

1) % : $\frac{\text{実 数}}{\text{一次受検者数} \times \text{二次受検率}} \times 100$ 2) % : $\frac{\text{実 数}}{\text{一次受検者数} \times \text{二次受検率} \times \text{三次受診率}} \times 100$

表10 中学校の国・公（市町村）・私立別一次、二次及び三次精密検診成績

区 分	受 検 学 校	一次検尿		二次検尿		三 次 精 密 検 診												
		受 検 者	陽 性 者	受 検 者	要（要 三次 精 診） 検 者	回 答 者	受診状況		暫 定 診 断 結 果									
							受 診	不 明	腎 疾 患	腎 炎 の 疑 い	泌 尿 器 系 疾 患	起 立 性 蛋 白 尿	そ の 他 の 疾 患	要 経 過 観 察	病 名 不 詳	異 常 な し		
協 会 判 定	横 浜 市	146	71 952	4 219	3 876	159	159	117	42	6	4	2	23	-	54	14	14	
	川 崎 市	53	28 965	1 410	1 268	105	105	75	30	-	2	-	8	1	19	-	45	
	鎌 倉 市	9	3 216	143	132	10	10	6	4	-	-	-	2	-	1	-	3	
	茅ヶ 崎 市	13	5 725	308	298	15	15	15	-	-	1	-	2	-	5	-	7	
	三 浦 市	3	733	46	44	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	相 模 原 市	37	15 681	954	867	92	92	92	-	-	-	2	9	-	49	-	32	
	大 和 市	9	5 398	278	259	14	14	9	5	-	-	-	-	-	4	-	5	
	海 老 名 市	6	3 180	189	174	15	15	13	2	1	1	-	3	-	1	-	7	
	座 間 市	6	2 951	186	178	15	15	11	4	-	-	-	-	-	3	-	8	
	綾 瀬 市	5	2 256	114	99	10	10	10	-	1	2	1	2	-	1	-	3	
	平 塚 市	15	5 560	349	330	23	23	23	-	-	1	1	2	-	4	-	15	
	秦 野 市	9	3 736	181	168	11	11	4	7	-	-	-	-	-	2	-	2	
	小 田 原 市	11	4 132	185	175	9	9	9	-	-	-	-	1	-	3	-	5	
	厚 木 市	13	5 314	336	315	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	大 磯 町	2	713	30	27	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	二 宮 町	2	539	24	23	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	中 大 井 町	1	192	9	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	大 井 町	1	420	26	23	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	松 田 町	1	201	11	10	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	山 北 町	1	186	6	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	開 成 町	1	525	29	26	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	真 鶴 町	1	97	5	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	愛 川 町	3	839	54	54	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	清 川 村	2	56	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	箱 根 町	1	125	9	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	湯 河 原 町	1	411	24	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
国 立 市	2	757	41	38	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
私 立	7	1 500	114	110	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
計	361	165 360	9 282	8 544	513	478	384	94	8	11	6	52	1	146	14	146		
判 定 な し	藤 沢 市	19	10 206	589	541	9	9	-	3	-	-	1	-	5	-	-		

高等学校

表11 高等学校の公（市）・私立別一次、二次及び三次精密検診成績

区分	受 検 学 校	一次検尿		二次検尿		三 次 精 密 検 診											
		受 検 者	陽 性 者	受 検 者	要1) 三 次 精 要 診 精 者 者	回 答 者	受診状況		暫 定 診 断 結 果								
							受 診	不 明	腎 ²⁾ 疾 患	腎 ²⁾ 炎 の 疑 い	泌 ²⁾ 尿 器 系 疾 患	起 ²⁾ 立 性 蛋 白 尿	そ ²⁾ の 他 の 疾 患	要 ²⁾ 経 過 観 察	病 ²⁾ 名 不 詳	異 ²⁾ 常 な し	
総数	計	数	17 177	1 003	907	50	34	22	12	1	2	-	-	-	4	2	13
		%	5.8	90.4	0.3	68.0	64.7	35.3	0.01	0.03	-	-	-	0.06	0.03	0.19	
協会 判定	横 浜 市	13	7 300	395	353	11	11	6	5	1	-	-	-	-	2	2	1
	川 崎 市	9	4 001	243	227	23	23	16	7	-	2	-	-	-	2	-	12
	私 立	8	5 876	365	327	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

1) % : $\frac{\text{実 数}}{\text{一次受検者数} \times \text{二次受検率}} \times 100$ 2) % : $\frac{\text{実 数}}{\text{一次受検者数} \times \text{二次受検率} \times \text{三次受診率}} \times 100$

特別支援学校

表12 特別支援学校の国・公（市）・私立別一次、二次及び三次精密検診成績

区分	受 検 学 校	一次検尿		二次検尿		三 次 精 密 検 診											
		受 検 者	陽 性 者	受 検 者	要1) 三 次 精 要 診 精 者 者	回 答 者	受診状況		暫 定 診 断 結 果								
							受 診	不 明	腎 ²⁾ 疾 患	腎 ²⁾ 炎 の 疑 い	泌 ²⁾ 尿 器 系 疾 患	起 ²⁾ 立 性 蛋 白 尿	そ ²⁾ の 他 の 疾 患	要 ²⁾ 経 過 観 察	病 ²⁾ 名 不 詳	異 ²⁾ 常 な し	
総数	計	数	3 437	251	198	...	16	7	9	-	1	-	-	-	3	1	2
		%	7.3	78.9
協会 判定	横 浜 市	13	1 194	104	72	9	9	4	5	-	1	-	-	-	2	1	-
	川 崎 市	10	637	42	36	7	7	3	4	-	-	-	-	1	-	2	
	海 老 名 市	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	国 立	2	108	10	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	私 立	10	1 365	82	69	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	数	3 306	238	186	18	16	7	9	-	1	-	-	3	1	2	
		%	7.2	78.2	0.7	88.9	43.8	56.3	-	0.10	-	-	-	0.30	0.10	0.20	
判定 なし	藤 沢 市	1	131	13	12	...	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

1) % : $\frac{\text{実 数}}{\text{一次受検者数} \times \text{二次受検率}} \times 100$ 2) % : $\frac{\text{実 数}}{\text{一次受検者数} \times \text{二次受検率} \times \text{三次受診率}} \times 100$

専修学校

表13 専修学校の一次、二次及び三次精密検診成績

区分	受 検 学 校	一次検尿		二次検尿		三 次 精 密 検 診											
		受 検 者	陽 性 者	受 検 者	要1) 三 次 精 要 診 精 者 者	回 答 者	受診状況		暫 定 診 断 結 果								
							受 診	不 明	腎 ²⁾ 疾 患	腎 ²⁾ 炎 の 疑 い	泌 ²⁾ 尿 器 系 疾 患	起 ²⁾ 立 性 蛋 白 尿	そ ²⁾ の 他 の 疾 患	要 ²⁾ 経 過 観 察	病 ²⁾ 名 不 詳	異 ²⁾ 常 な し	
総数	計	数	420	22	20	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		%	5.2	90.9	0.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
協会 判定	私 立	1	420	22	20	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

1) % : $\frac{\text{実 数}}{\text{一次受検者数} \times \text{二次受検率}} \times 100$ 2) % : $\frac{\text{実 数}}{\text{一次受検者数} \times \text{二次受検率} \times \text{三次受診率}} \times 100$

糖 尿 病 検 診

表1 年度別受検学校及び受検者数

区 分	受 検 学 校			受 検 者			2024年度 陽性者	
	2022年度	2023年度	2024年度	2022年度	2023年度	2024年度	数	%
総 数	2 027	1 974	1 980	674 765	648 196	638 364	492	0.08
幼稚園・保育園	766	737	747	58 382	50 479	48 500	19	0.04
小 学 校	803	788	785	412 279	399 332	393 264	210	0.05
中 学 校	389	381	380	183 331	177 515	175 566	211	0.12
高 等 学 校	32	31	30	17 042	17 084	17 177	37	0.22
特別支援学校	36	36	37	3 372	3 395	3 437	14	0.41
専 修 学 校	1	1	1	359	391	420	1	0.24

※同一学校で年2回実施している場合は、延数で計上した。

表2 国・公（市・町・村）私立別受検者数

区 分	受検者	区 分	受検者
総 数	638 364		
横 浜 市	248 153	大 磯 町	2 372
川 崎 市	105 830	二 宮 町	1 645
藤 沢 市	32 999	中 井 町	565
鎌 倉 市	10 581	大 井 町	1 361
茅ヶ崎 市	18 200	松 田 町	688
三 浦 市	2 042	山 北 町	641
相 模 原 市	47 884	開 成 町	1 723
大 和 市	17 004	真 鶴 町	360
海 老 名 市	10 401	愛 川 町	2 449
座 間 市	8 823	清 川 村	163
綾 瀬 市	6 558	箱 根 町	488
平 塚 市	16 930	湯 河 原 町	1 055
秦 野 市	12 354	国 立	2 098
小 田 原 市	13 104	私 立	56 543
厚 木 市	15 350		

表3 幼稚園・保育園の一次検査成績

区 分	学 校	受検者	陽 性 者	
			数	%
総 数	747	48 500	19	0.04
鎌 倉 市	4	174	—	—
海 老 名 市	4	195	1	0.51
平 塚 市	2	27	—	—
秦 野 市	41	1 644	1	0.06
小 田 原 市	19	901	—	—
大 磯 町	3	219	—	—
中 井 町	1	67	—	—
大 井 町	4	202	—	—
松 田 町	2	78	—	—
山 北 町	3	122	1	0.82
開 成 町	1	63	—	—
真 鶴 町	4	67	—	—
箱 根 町	4	136	—	—
湯 河 原 町	2	32	—	—
私 立	653	44 573	16	0.04

※同一学校で年2回実施している場合は、延数で計上した。

表4 小学校の一次検査成績

区分	学校	受検者	陽性者	
			数	%
総数	785	393 264	210	0.05
横浜市	338	167 707	83	0.05
川崎市	114	72 227	46	0.06
藤沢市	35	22 662	9	0.04
鎌倉市	16	7 191	3	0.04
茅ヶ崎市	19	12 475	3	0.02
三浦市	8	1 309	1	0.08
相模原市	71	32 203	22	0.07
大和市	19	11 606	8	0.07
海老名市	13	7 024	4	0.06
座間市	11	5 872	4	0.07
綾瀬市	10	4 302	3	0.07
平塚市	28	11 343	5	0.04
秦野市	13	6 974	3	0.04
小田原市	25	8 071	6	0.07
厚木市	23	10 036	6	0.06
大磯町	2	1 440	-	-
二宮町	3	1 106	-	-
中井町	2	306	-	-
大井町	3	739	-	-
松田町	2	409	-	-
山北町	1	333	-	-
開成町	2	1 135	-	-
真鶴町	1	196	1	0.51
愛川町	6	1 610	1	0.06
清川村	1	107	-	-
箱根町	3	227	-	-
湯河原町	3	612	-	-
国立	2	1 233	-	-
私立	11	2 809	2	0.07

表5 中学校の一次検査成績

区分	学校	受検者	陽性者	
			数	%
総数	380	175 566	211	0.12
横浜市	146	71 952	64	0.09
川崎市	53	28 965	46	0.16
藤沢市	19	10 206	13	0.13
鎌倉市	9	3 216	4	0.12
茅ヶ崎市	13	5 725	5	0.09
三浦市	3	733	4	0.55
相模原市	37	15 681	26	0.17
大和市	9	5 398	8	0.15
海老名市	6	3 180	7	0.22
座間市	6	2 951	4	0.14
綾瀬市	5	2 256	1	0.04
平塚市	15	5 560	9	0.16
秦野市	9	3 736	5	0.13
小田原市	11	4 132	1	0.02
厚木市	13	5 314	10	0.19
大磯町	2	713	-	-
二宮町	2	539	-	-
中井町	1	192	1	0.52
大井町	1	420	1	0.24
松田町	1	201	-	-
山北町	1	186	-	-
開成町	1	525	-	-
真鶴町	1	97	-	-
愛川町	3	839	-	-
清川村	2	56	-	-
箱根町	1	125	-	-
湯河原町	1	411	-	-
国立	2	757	-	-
私立	7	1 500	2	0.13

表6 高等学校の一次検査成績

区分	学校	受検者	陽性者	
			数	%
総数	30	17 177	37	0.22
横浜市	13	7 300	19	0.26
川崎市	9	4 001	8	0.20
私立	8	5 876	10	0.17

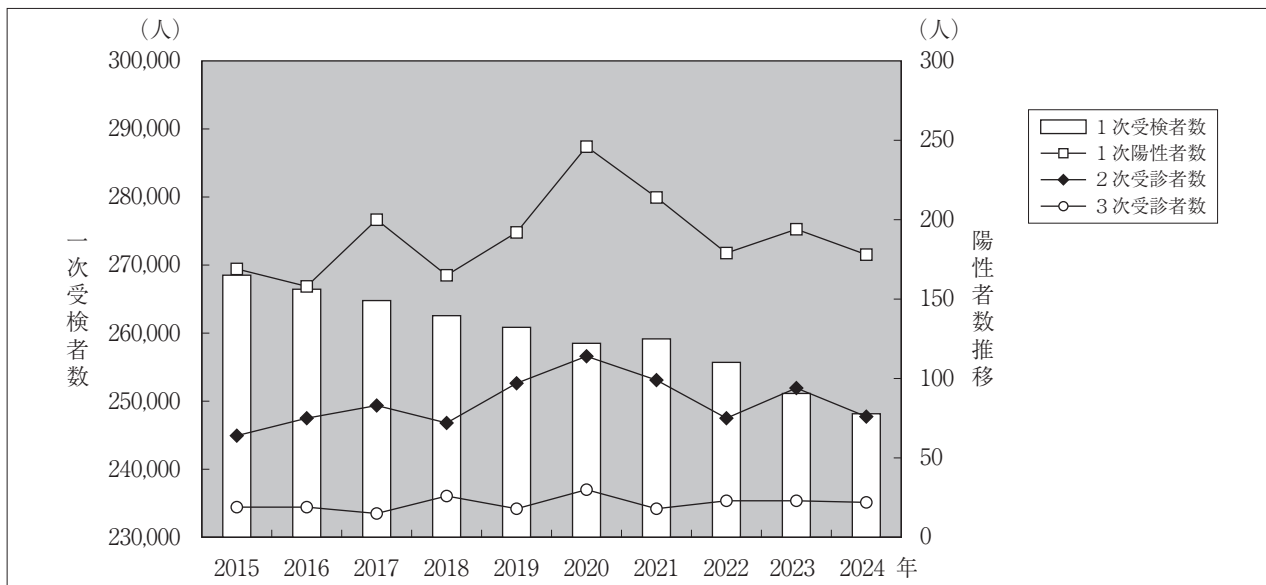
表7 特別支援学校の一次検査成績

区分	学校	受検者	陽性者	
			数	%
総数	37	3 437	14	0.41
横浜市	13	1 194	12	1.01
川崎市	10	637	2	0.31
藤沢市	1	131	-	-
海老名市	1	2	-	-
国立	2	108	-	-
私立	10	1 365	-	-

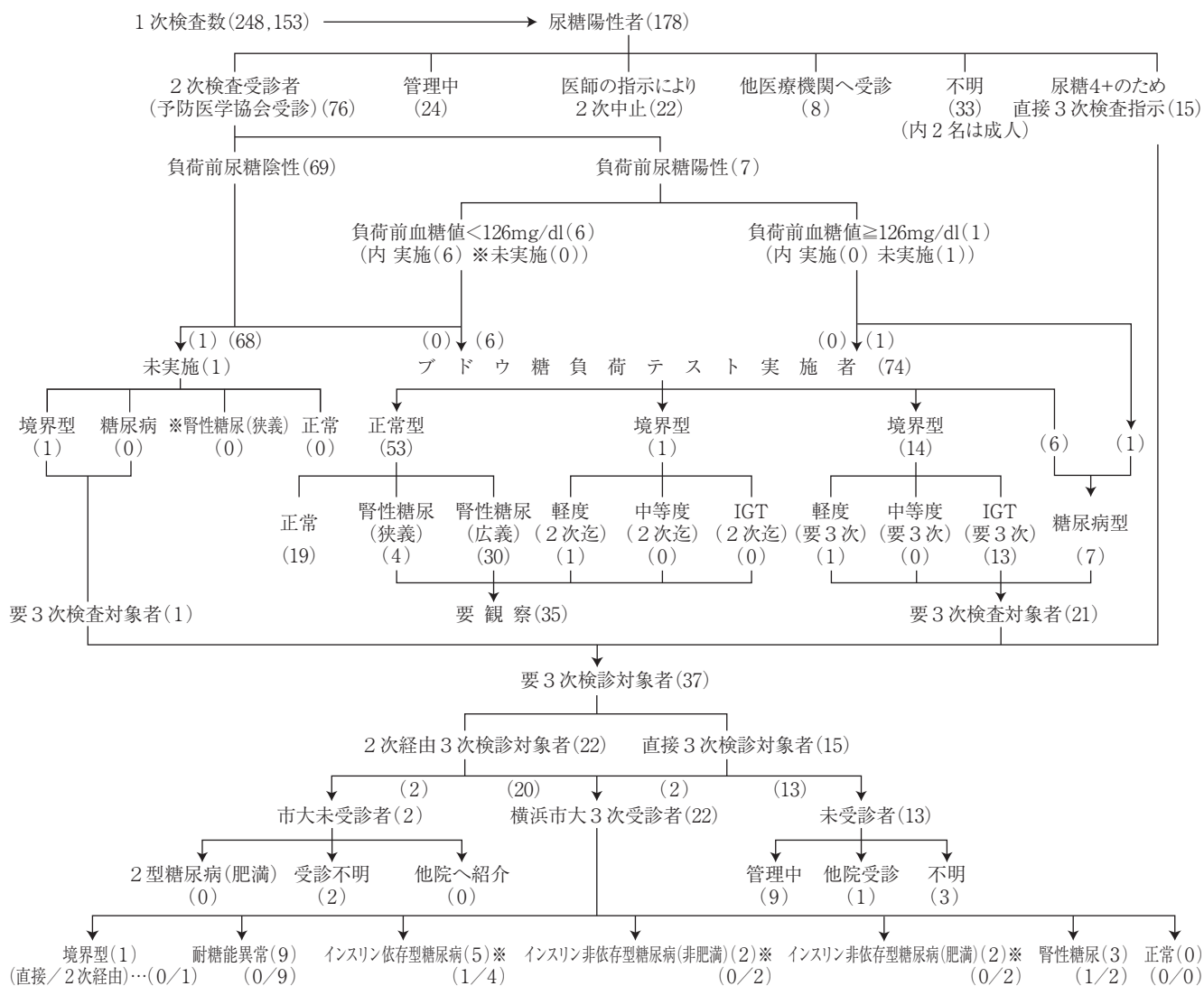
表8 専修学校の一次検査成績

区分	学校	受検者	陽性者	
			数	%
総数	1	420	1	0.24
私立	1	420	1	0.24

図1 横浜市学童糖検診結果推移



資料A 横浜市の検診結果



※糖尿病 9名

(横浜市医師会学校医部会資料提供)

心 臓 検 診

表1 年度別 受診者及び受診学校数

区 分	受 診 者			受 診 学 校		
	2022年度	2023年度	2024年度	2022年度	2023年度	2024年度
総 数	103 355	102 381	99 687	875	875	872
小 学 校	44 612	43 540	42 475	514	513	512
中 学 校	39 857	39 789	38 945	259	260	259
高 等 学 校	18 661	18 788	18 007	94	94	93
特別支援学校	225	264	260	8	8	8

資料A 心臓検診の流れ

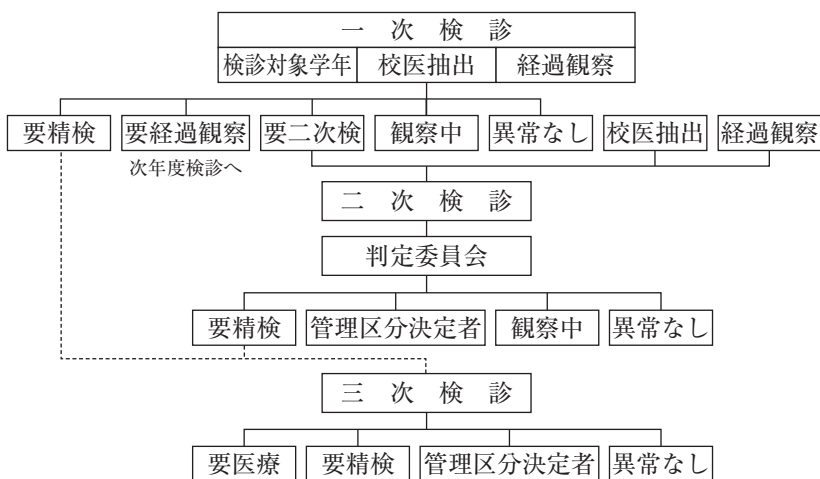


図1 年度・学校別受診者数の推移

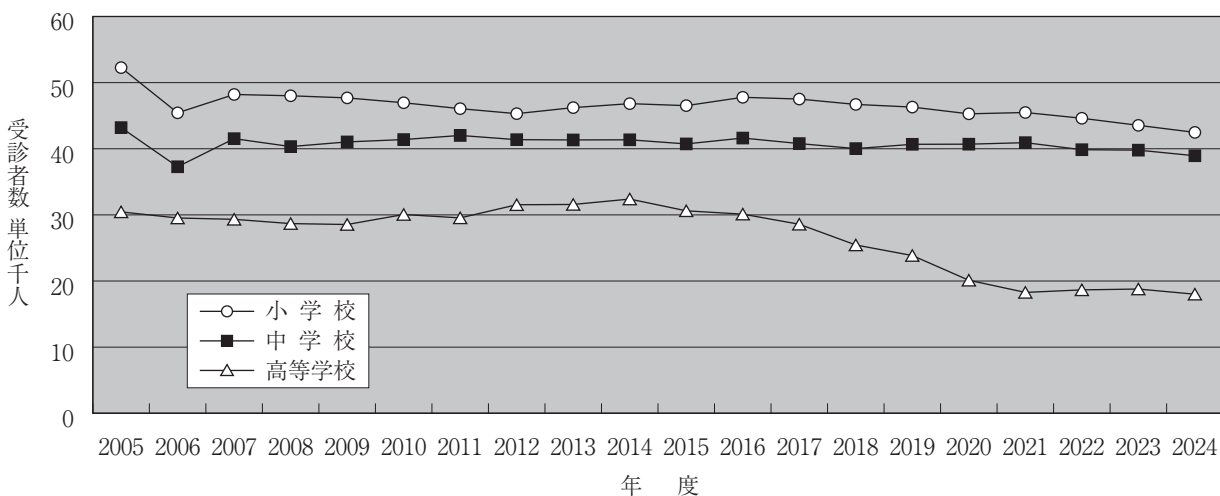


表2 小学校の一次検診から心電図または心電・心音図検査を実施した検診成績

区 分	一 次 検 診												二 次 検 診							
	受 診 学 校 数	受 診 者 数	異 常 な し	観 察 中	個 人 管 理	そ の 他 の 再 精 検	要 経 過 観 察 ・ 次 年 度 検 診	管 理 区 分 決 定 者	管 理 不 要	判 定 な し	要 二 次 検 者		受 診 者 数	異 常 な し	管 理 不 要	管 理 中	個 人 管 理	要 精 検	管 理 区 分 決 定 者	
											数	%							数	%
総 数	512	42 475	30 025	348	-	33	-	54	106	10 997	912	2.1	818	248	356	1	-	127	86	10.5
横 浜 市	80	5 829	-	-	-	-	-	-	-	5 829	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
川 崎 市	114	11 880	11 307	109	-	26	-	54	106	-	278	2.3	267	173	13	1	-	44	36	13.5
藤 沢 市	35	3 740	3 616	53	-	7	-	-	-	-	64	1.7	59	11	31	-	-	4	13	22.0
茅ヶ崎市	19	1 984	1 929	26	-	-	-	-	-	-	29	1.5	27	5	15	-	-	-	7	25.9
三 浦 市	8	211	203	1	-	-	-	-	-	-	7	3.3	7	-	6	-	-	1	-	-
相模原市	71	5 168	-	-	-	-	-	-	-	5 168	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
大 和 市	19	1 946	1 844	27	-	-	-	-	-	-	75	3.9	70	16	50	-	-	4	-	-
海老名市	13	1 186	1 139	14	-	-	-	-	-	-	33	2.8	29	2	25	-	-	2	-	-
綾 瀬 市	10	678	661	5	-	-	-	-	-	-	12	1.8	12	3	7	-	-	2	-	-
平 塚 市	28	1 839	1 730	15	-	-	-	-	-	-	94	5.1	93	7	58	-	-	15	13	14.0
秦 野 市	13	997	913	14	-	-	-	-	-	-	70	7.0	67	3	56	-	-	6	2	3.0
伊勢原市	10	750	684	11	-	-	-	-	-	-	55	7.3	55	5	35	-	-	12	3	5.5
南足柄市	5	230	211	3	-	-	-	-	-	-	16	7.0	16	1	12	-	-	2	1	6.3
小田原市	25	2 642	2 546	27	-	-	-	-	-	-	69	2.6	66	6	36	-	-	18	6	9.1
厚 木 市	23	1 575	1 513	26	-	-	-	-	-	-	36	2.3	32	15	5	-	-	9	3	9.4
大 磯 町	2	241	231	2	-	-	-	-	-	-	8	3.3	8	-	4	-	-	4	-	-
二 宮 町	3	174	169	3	-	-	-	-	-	-	2	1.1	2	-	2	-	-	-	-	-
中 井 町	2	52	48	-	-	-	-	-	-	-	4	7.7	4	-	1	-	-	2	1	-
大 井 町	3	131	122	2	-	-	-	-	-	-	7	5.3	・	・	・	・	・	・	・	・
松 田 町	2	68	59	1	-	-	-	-	-	-	8	11.8	・	・	・	・	・	・	・	・
山 北 町	1	53	52	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
開 成 町	2	202	191	1	-	-	-	-	-	-	10	5.0	・	・	・	・	・	・	・	・
箱 根 町	3	37	30	-	-	-	-	-	-	-	7	18.9	・	・	・	・	・	・	・	・
真 鶴 町	1	33	32	-	-	-	-	-	-	-	1	3.0	・	・	・	・	・	・	・	・
湯河原町	3	81	74	3	-	-	-	-	-	-	4	4.9	・	・	・	・	・	・	・	・
愛 川 町	6	229	224	-	-	-	-	-	-	-	5	2.2	4	1	-	-	-	2	1	25.0
清 川 村	1	17	17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
私 立	10	502	480	4	-	-	-	-	-	-	18	3.6	・	・	・	・	・	・	・	・

表3 中学校の一次検診から心電図または心電・心音図検査を実施した検診成績

区 分	一 次 検 診												二 次 検 診							
	受診学校数	受診者数	異常なし	観察中	個人管理	その他の再精検	要経過観察・次年度検診	管理区分決定者	管理不要	判定なし	要二次検診者		受診者数	異常なし	管理不要	管理中	個人管理	要精検	管理区分決定者	
											数	%							数	%
総 数	259	38 945	26 853	238	-	44	-	21	154	10 627	1 008	2.6	923	347	313	1	-	138	124	13.4
横 浜 市	36	5 456	-	-	-	-	-	-	-	5 456
川 崎 市	52	9 851	9 224	65	-	20	-	21	154	-	367	3.7	353	210	30	1	-	50	62	17.6
藤 沢 市	19	3 566	3 438	36	-	24	-	-	-	-	68	1.9	66	14	24	-	-	8	20	30.3
茅ヶ崎市	13	1 968	1 891	21	-	-	-	-	-	-	56	2.8	54	19	22	-	-	2	11	20.4
三 浦 市	3	225	218	2	-	-	-	-	-	-	5	2.2	5	-	4	-	-	1	-	-
相模原市	37	5 171	-	-	-	-	-	-	-	5 171
大 和 市	9	1 828	1 732	17	-	-	-	-	-	-	79	4.3	74	24	42	-	-	8	-	-
海老名市	6	1 124	1 056	4	-	-	-	-	-	-	64	5.7	62	15	41	-	-	6	-	-
綾 瀬 市	5	721	688	3	-	-	-	-	-	-	30	4.2	29	7	18	-	-	4	-	-
平 塚 市	15	1 937	1 849	21	-	-	-	-	-	-	67	3.5	64	7	35	-	-	16	6	9.4
秦 野 市	9	1 248	1 180	12	-	-	-	-	-	-	56	4.5	53	6	31	-	-	9	7	13.2
伊勢原市	4	729	690	8	-	-	-	-	-	-	31	4.3	31	6	18	-	-	5	2	6.5
南足柄市	3	336	320	4	-	-	-	-	-	-	12	3.6	12	1	5	-	-	4	2	16.7
小田原市	11	1 365	1 320	12	-	-	-	-	-	-	33	2.4	33	4	18	-	-	6	5	15.2
厚 木 市	13	1 694	1 627	16	-	-	-	-	-	-	51	3.0	49	27	10	-	-	7	5	10.2
大 磯 町	2	234	218	2	-	-	-	-	-	-	14	6.0	14	2	7	-	-	3	2	14.3
二 宮 町	2	178	171	2	-	-	-	-	-	-	5	2.8	5	-	1	-	-	4	-	-
中 井 町	1	66	60	1	-	-	-	-	-	-	5	7.6	5	-	3	-	-	2	-	-
大 井 町	1	143	128	2	-	-	-	-	-	-	13	9.1
松 田 町	1	51	48	-	-	-	-	-	-	-	3	5.9
山 北 町	1	72	67	-	-	-	-	-	-	-	5	6.9	5	1	2	-	-	2	-	-
開 成 町	1	171	156	4	-	-	-	-	-	-	11	6.4
箱 根 町	1	48	46	-	-	-	-	-	-	-	2	4.2
真 鶴 町	1	36	35	-	-	-	-	-	-	-	1	2.8
湯河原町	1	142	132	1	-	-	-	-	-	-	9	6.3
愛 川 町	3	279	267	3	-	-	-	-	-	-	9	3.2	9	4	2	-	-	1	2	22.2
清 川 村	1	21	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
私 立	8	285	271	2	-	-	-	-	-	-	12	4.2	-	-

表4 校医抽出による二次検診結果

区 分		小 学 校							中 学 校							
		総 数	茅 ヶ 崎 市	海 老 名 市	平 塚 市	秦 野 市	伊 勢 原 市	小 田 原 市	厚 木 市	総 数	茅 ヶ 崎 市	平 塚 市	秦 野 市	伊 勢 原 市	小 田 原 市	厚 木 市
二 次 検 診	受 診 者	120	39	16	30	7	-	20	8	61	20	10	14	-	12	5
	異 常 な し	59	38	2	7	1		3	8	31	18	4	3		2	4
	管 理 不 要	54	1	12	22	5		14	-	22	1	4	9		8	-
	観 察 中	-	-	-	-	-		-	-	-	-	-	-		-	-
	要 精 検	7	-	2	1	1		3	-	5	-	1	2		2	-
管 理 区 分 決 定 者	-	-	-	-	-		-	-	3	1	1	-		-	1	

表5 経過観察者の追跡結果

区 分		小 学 校			中 学 校		
		総 数	厚 木 市	愛 川 町	総 数	厚 木 市	愛 川 町
二 次 検 診	受 診 者	8	7	1	16	15	1
	異 常 な し	3	3	-	8	7	1
	管 理 不 要	1	1	-	-	-	-
	観 察 中	-	-	-	-	-	-
	要 精 検	2	1	1	4	4	-
管 理 区 分 決 定 者	2	2	-	4	4	-	

表6 高等学校の一次検診から心電図または心電・心音図を実施した検診成績

区 分		総数	県立	市立	私立
一 次 検 診	受 診 学 校 数	93	68	16	9
	受 診 者 数	18 007	14 817	2 559	631
	異 常 な し	16 187	14 310	1 289	588
	観 察 中	125	101	16	8
	個 人 管 理	-	-	-	-
	そ の 他 の 再 精 検	-	-	-	-
	要経過観察・次年度検診	-	-	-	-
	管 理 区 分 決 定 者	2	-	2	-
二 次 検 診	管 理 不 要	21	-	21	-
	判 定 な し	1 198	-	1 198	-
	要 二 次 検 者 数	474	406	33	35
	%	2.6	2.7	1.3	5.5
	受 診 者 数	32	-	32	-
	異 常 な し	20	-	20	-
	管 理 不 要	2	-	2	-
	管 理 中	-	-	-	-
一 次 検 診	個 人 管 理	-	-	-	-
	要 精 検	4	-	4	-
	管 理 区 分 決 定 者 数	6	-	6	-
	%	18.8	-	18.8	-

貧 血 検 査

表1 学校・年度別 受検者及び受検学校数

区 分	受 検 者			受 検 学 校		
	2022年度	2023年度	2024年度	2022年度	2023年度	2024年度
総 数	458	464	479	3	3	3
中 学 校	187	186	182	1	1	1
高 等 学 校	271	278	297	2	2	2

表2 学校別・性別成績

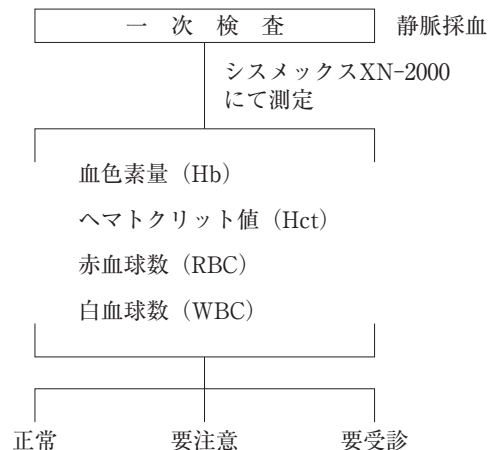
区 分		一 次 検 診					
		受検者	貧血要受診		貧血要注意		
			数	%	数	%	
総 数	男	98	-	-	7	7.1	
	女	381	4	1.0	23	6.0	
	計	479	4	0.8	30	6.3	
中 学 校	男	1学年	-	-	-	-	
		2学年	-	-	-	-	
		3学年	-	-	-	-	
		計	-	-	-	-	
	女	1学年	182	1	0.5	12	6.6
		2学年	-	-	-	-	
		3学年	-	-	-	-	
計	182	1	0.5	12	6.6		
中学校計	182	1	0.5	12	6.6		
高 等 学 校	男	1学年	98	-	-	7	7.1
		2学年	-	-	-	-	
		3学年	-	-	-	-	
		4学年	-	-	-	-	
		計	98	-	-	7	7.1
	女	1学年	199	3	1.5	11	5.5
		2学年	-	-	-	-	
		3学年	-	-	-	-	
		4学年	-	-	-	-	
		計	199	3	1.5	11	5.5
		高等学校計	297	3	1.0	18	6.1

表3 市町村別成績

区 分	学校	受検者	貧血要受診		貧血要注意		
			数	%	数	%	
総 数	中 学 校	1	182	1	0.5	12	6.6
	高 等 学 校	2	297	3	1.0	18	6.1
	計	3	479	4	0.8	30	6.3
※	神奈川県立 高	1	122	1	0.8	11	9.0
※	私 立 中	1	182	1	0.5	12	6.6
	高	1	175	2	1.1	7	4.0

※自費で実施している団体

資料A 検査の方法



保健相談・メンタルヘルス

■ 保健相談

事業場全体の健康支援を心身両面から個人、集団、組織に対して実施している。労働者を取り巻く環境は年々厳しくなり、さらに、新型コロナウイルス感染症対策、それに関連したメンタル不調者への対応も課題となる。運動指導の集団健康教育も増える傾向であった。また、事後指導、事業場の健康管理計画立案への協力、従業員や管理監督者に対する集団健康教育、衛生管理者支援を実施した。特定保健指導においても事業場と健康保健組合の連携ができるように働きかけた。

保健指導の品質管理では、質の向上を目指し、保健指導サービス品質管理マニュアルに則った委員会活動を継続している。保健指導実施者の教育、内部監査の実施等で、品質向上の取り組みを継続する。

■ メンタルヘルス

平成15(2003)年より企業・団体向けにメンタルヘルス支援サービスを提供している。ライフサポートクリニック(メンタルヘルス外来)を中央診療所に開設。企業・団体の人事労務担当者らと連携し、医師による事例相談やメンタルヘルス不全者本人の休職中の指導・復職支援などを行っている。また、事業場の要請により健診時を利用した保健師による全員面接などを行っている。平成27(2015)年12月から義務化されたストレスチェック制度では、ストレスチェックの実施から集団分析と職場環境改善指導、高ストレス者の医師面談まで一貫した支援を提供している。

保 健 相 談

保健相談事業（産業保健）

表1 契約団体数

契約形態	団体数
総合健康管理支援	4
単発健康管理支援	19
合 計	23

表2 契約団体支援事業実施数

契約形態	保健相談 件数	健康教育 受講者数
総合健康管理支援	7 437	0
単発健康管理支援	1 580	399
合 計	9 017	399

表3 契約外支援事業実施数*

相談種類	件数
電話相談	355
面接相談	16
文書指導	0
連 携	0
至急連絡	0
合 計	371

*契約の無い団体の個人希望相談等

表4 各種外来等保健指導数

循環器外来		高血圧外来	腎外来	生活習慣病外来		労 災 二次健診	その他の 外 来	計	
保健指導	栄養指導	栄養指導	栄養指導	保健指導	栄養指導	保健指導	栄養指導	保健指導	栄養指導
0	1	0	1	0	1	80	0	0	3

メンタルヘルス

表1-1 ストレスチェック受検団体数・受検者数（方式別）

	合 計		チェックシート方式		Web方式	
	数	%	数	%	数	%
実施団体数	158	*101%	156	98.7%	3	1.9%
受検者数	29 335	100%	27 376	93.3%	1 959	6.7%

*チェックシート方式、Web方式重複実施を含む

表1-2 ストレスチェック受検団体数・受検者数（規模別）

規 模	団 体 数 (%)		受 検 者 数 (%)	
合 計	158	100.0%	29 335	100.0%
1 000人以上	4	2.5%	7 618	26.0%
500～999人	6	3.8%	4 198	14.3%
100～499人	61	38.6%	12 601	43.0%
50～99人	57	36.1%	4 004	13.6%
50人未満	30	19.0%	914	3.1%

表2 ストレスチェック医師面接、保健師相談等相談数

	ストレスチェック制度		その他の相談		計
	医師面接	保健師相談	医 師	保健師	
2024年度	11	0	0	0	11
2023年度	18	0	2	0	20
2022年度	25	0	0	0	25
2021年度	32	13	2	0	47
2020年度	22	8	2	*1	33

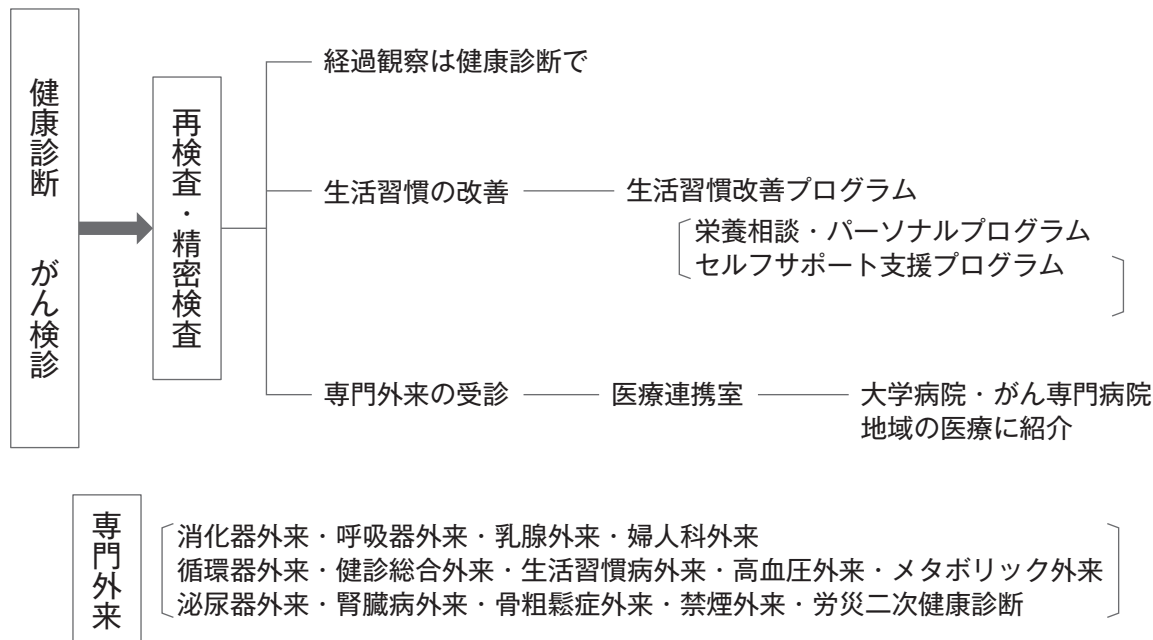
*長時間残業者面談数

健診後のフォロー・健康教育・受託検査

健診後のフォロー

中央診療所の機能

より個人に即した対応を目指し、健康診断はもとより各種外来・教育セミナーなどを実施。健診後の二次検査・精密検査、経過観察や保健相談、健康教育など総合的なフォローアップ体制で健康管理の支援をしている。



専門外来

消化器外来	胃のレントゲン検査、便潜血反応検査、腹部超音波検査で、要精密検査になった方をフォローする外来。必要であれば、ヘリコバクターピロリの除菌や治療を含めたフォローアップを実施している。
呼吸器外来	胸部のレントゲン検査、CT検査で、要再検査、要精密検査になった方の治療も含めたフォロー外来。MDCTなどの必要な検査を行っている。
乳腺外来	乳がん検診で、要再検査、要精密検査になった方をフォローする外来。必要であればマンモグラフィや超音波検査を定期的に行っている。
婦人科外来	子宮がん検診で、要再検査、要精密検査になった方をフォローする外来。必要であれば定期的な検査を行っている。
循環器外来	人間ドック・定期健康診断・心臓検診（高校）などの循環器系項目で所見のあった受診者に対して、精密検査や栄養指導・運動指導・生活指導や治療も含めたフォローアップを実施している。
健診総合外来	健康診断の血液・尿検査・血圧などで要再検査、要精密検査の対象者に、指導を含めた事後フォローを実施。また状態によって専門医療機関の紹介も実施している。
生活習慣病外来	定期健康診断やその他の生活習慣病関連項目で所見のあった受診者に対して、再検査、精密検査を実施し治療を含めた事後指導を行っている。結果に応じてメタボリック外来や生活習慣改善プログラムへの参加を推奨。
高血圧外来	高血圧のタイプと重症度を見極め、生活習慣の改善を基本に治療を実施している。
メタボリック外来	肥満に生活習慣病を合併している受診者に対して減量への自己管理をサポートしている。
泌尿器外来	PSA検査や尿検査で異常があった場合の治療を含めたフォロー外来。また前立腺がんなどの治療後のフォローも実施している。

腎臓病外来	学校検尿で管理が必要となった学童に対して、月1回腎精検のための外来を設け、学童の家族相談も実施。また事業所の健診などで、腎疾患の疑いのある受診者を対象としたフォローアップも実施している。
骨粗しょう症外来	骨粗しょう症予防検査で生活注意対象者に栄養指導を中心とした事後フォローを実施している。
禁煙外来	ニコチン依存度テストとプリンクマン指数によって保険適用の是非を確認し、呼気中の一酸化炭素濃度を確認しながら専門医師・専任看護師がチーム医療として禁煙サポートを実施している。
労災二次健康診断	定期健康診断でBMI・血圧・脂質・血糖の4項目すべてにおいて所見のあった受診者に対し、心疾患、脳血管疾患の予防を目的に血液検査、頸部エコー、負荷心電図（心エコー）を行い、特定保健指導を実施。

生活習慣改善プログラム

栄養相談	2日間の食事記録をもとに管理栄養士が指導。
パーソナルプログラム	目的にあった運動を専属トレーナーとマンツーマンで行うプログラム。
セルフサポート支援プログラム	医師・管理栄養士・健康運動指導士がチームとなり、主に経過観察者を対象に年4回の集団指導を実施。

健康教育

表1 健康教育の概要 指導実績

広 報 (情報の収集・発信)	PR活動	ホームページのコンテンツ 企画、運用管理	
		デジタルサイネージの企画制作	
		SNS（公式ライン、フェイスブック）の運用	
		パブリシティ	
	編集・出版	機関紙「健康かながわ」	4,000部 季刊
		機関誌「予防医学」	休刊
		機関誌「事業年報」	デジタル配信
個人会員（ACクラブ・人間ドック・健康らいふ倶楽部）会報紙「マリンプルー」		休刊	
協会報「HIROBA」		デジタル配信	
	広報媒体作成 パンフレット、リーフレット、ポスター、パネル等の企画・製作	随時作成	
健康教育の 企画・実施	キャンペーン活動の支援	ピンクリボン活動、禁煙受動喫煙防止活動	主催・協力
	地域保健活動 (住民・学校等対象)	予防医学実務研修会（対象：市町村のがん検診担当者・保健師等）等	1回
		セミナー（委託事業）	0回
		セミナー（講師派遣）	0回
	地域保健分野での指導回数の小計		1回
	産業保健活動 (従業員・自治体職員対象)	かながわ健康支援セミナー（対象：産業衛生担当者・産業医・保健師等）／業務部主催	4回
		セミナー（委託事業）	6回
		セミナー（講師派遣）	0回
		横浜市健康経営支援拠点LINKAI横浜金沢	3回
	産業保健分野での指導回数の小計		13回
健康づくり実践	生活習慣病予防・改善プログラム	体力測定・ロコチェック	4回
		パーソナル・プログラム	158回
	T社・T社健康保険組合「健康学習会」（参加 150人）		44回
	セルフサポート支援プログラム		4回
	アクティブエイジング事業		12回
中央診療所内での指導回数の小計		222回	
総 計		236回	

表2 健康教育セミナー（委託事業）

期日	対象	テ ー マ	担当 職種	参加者数
2024/5/29	職域	ストレッチ	健康運動指導士	30名
2024/6/4	職域	体力測定会	健康運動指導士	40名
2024/8/29	職域	夏の疲労回復と美ボディエクササイズ	健康運動実践指導者	26名
2024/11/27	職域	中級者編 コアコンディショニング	健康運動指導士	30名
2024/12/10	職域	体力測定会	健康運動指導士	80名
2025/2/6	職域	腰痛・肩こり予防	健康運動指導士	36名

表3 かながわ健康支援セミナー（業務部主催 顧客向けセミナー）

期日	テ ー マ	講 師	参加者数
7/11	職場における熱中症対策 ～熱中症発症メカニズムと、熱中症発生状況に基づいた有効な熱中症対策について～	齊藤 宏之 (独立行政法人労働者健康安全機構 労働安全衛生総合研究所 化学物質情報管理研究センター ばく露評価研究部 部長)	68名
9/27	健康に配慮した飲酒に関するガイドラインとアルコールの保健指導について	吉本 尚 (筑波大学健幸ライフスタイル開発研究センター センター長)	125名
11/19	痩せていても肥満？女性にも増えている痩せメタボと健康	田村 好史 (順天堂大学大学院医学研究科 スポーツ医学・スポーツロジック 教授 代謝内分泌内科学 教授)	125名
2025年 2/26	医療に過度に依存しない企業のメンタルヘルス対応	高尾 総 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 疫学・衛生学分野 准教授) 森 悠太【質疑応答】 (株式会社Office d'Azur 代表取締役)	188名

受 託 検 査

表1 尿検査

区 分	団体数	実施数
蛋白・潜血	14	736
尿 糖	14	736

表2 梅毒血清反応検査

団体数	実施数
24	183

表3 HBs抗原・抗体検査

区 分	抗原・抗体実施数		ワクチン接種 団体実施数	抗原のみ実施数	抗体のみ実施数
	団体数				
		145	1	244	21
抗 原	男	3 231	237	1 160	-
	女	4 575	22	868	-
	計	7 806	259	2 028	-
抗 体	男	3 231	237	-	66
	女	4 575	22	-	53
	計	7 806	259	-	119

表4 HCV抗体検査

団体数	区 分	実施数
250	男	3 291
	女	4 169
	計	7 460

表5 環境依頼分析

区 分	シ ッ ク ハ ウ ス	
	揮発性有機化合物	ホルムアルデヒド他
受託施設数	38	47
検 体 数	69	87

表6 代謝物等検査

尿中代謝物検査	対象有機溶剤名	実施数
馬 尿 酸	ト ル エ ン	-
メ チ ル 馬 尿 酸	キ シ レ ン	-
マ ン デ ル 酸	スチレン、エチルベンゼン	-
総 三 塩 化 物	テトラクロロエチレン	141
	1,1,1-トリクロロエタン	
	トリクロロエチレン	
	溶 剤 不 明	
2,5-ヘキサジオン	ノルマルヘキサン	1 743
N-メチルホルムアミド	N,N-ジメチルホルムアミド	824

区 分	実施数
血 中 鉛	334
尿中デルタアミノレブリン酸	332
血中遊離プロトポルフィリン	0
血 中 カ ド ミ ウ ム	17

表7 クーポンによる風しん抗体検査

団体数	実施数	陰性（ワクチン対象）		ワクチン接種
		数	%	
67	609	135	22.2	2

*厚生労働省の追加的対策「昭和37年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性を対象として、2025年3月31日まで市区町村が実施主体となり、風しんの抗体検査とワクチン予防接種を実施」との方針に基づき、顧客団体の要望により定期健診と同時に実施

検診・検査の種目別実施数（職域、地域、母子、学校の合計） I

※検診検査数は一次受診人数あるいは件数

年度 Year	胃がん検診 Stomach Cancer Exam.	大腸がん検診 Colorectal Cancer Exam.	腹部超音波検診 Abdominal Echography	肺がん検診 Lung Cancer Exam.	画像診断(MD-CT) Multi Detector-row CT Screening	子宮がん検診 Uterine Cancer Exam.		乳がん検診 Breast Cancer Exam.	精密総合健診 Higher Comprehensive Health Check	一般健診 Regular Health Check
						施設・車	日 母 神奈川方式			
2024	50 553	87 643	21 211	5 304	1 991	27 757	・	27 563	8 360	237 084
2023	51 410	86 698	20 162	6 111	2 170	28 449	・	27 822	8 279	227 939
2022	53 014	88 546	20 306	6 582	2 046	28 761	・	28 188	8 375	256 489
2021	56 137	92 282	22 095	9 682	1 979	29 397	・	29 772	8 310	207 710
2020	49 431	90 459	20 839	8 874	1 757	24 511	・	25 160	8 099	208 336
2019	63 709	97 984	22 775	12 147	2 898	31 433	・	32 452	9 351	212 589
2018	68 118	98 058	22 652	11 961	3 016	33 726	・	34 188	9 101	219 777
2017	69 667	94 266	22 495	12 345	2 526	35 410	・	35 660	9 245	212 170
2016	67 033	91 793	22 332	12 516	2 597	34 620	・	35 421	9 606	218 822
2015	71 484	93 091	22 794	12 534	2 593	37 951	23 567	38 981	9 627	218 714
2014	74 690	91 145	20 680	13 151	2 674	38 851	26 459	38 912	9 811	222 998
2013	*1 73 988	88 179	19 763	13 380	2 644	40 431	28 144	41 021	9 983	212 733
2012	68 816	87 770	19 826	13 552	2 751	42 009	33 105	43 622	10 026	212 509
2011	71 685	89 839	18 177	13 622	2 870	44 028	36 955	48 043	10 279	212 612
2010	71 787	86 286	13 841	13 309	3 227	43 794	39 223	49 530	10 523	214 666
2009	72 541	82 580	16 165	12 807	3 349	44 358	41 082	51 600	10 465	235 495
2008	69 737	77 137	15 942	11 827	3 204	39 277	38 397	43 505	10 590	236 369
2007	73 056	76 941	12 900	10 421	3 282	39 229	39 522	41 493	11 188	230 220
2006	66 442	69 405	10 576	13 304	2 843	35 436	37 863	34 608	10 852	218 862
2005	65 568	68 938	10 020	13 487	2 549	38 316	36 153	32 594	10 611	219 934
2004	63 069	66 586	9 054	15 830	2 340	54 957	35 422	48 490	10 538	202 530
2003	61 948	63 701	7 620	15 127	2 462	53 589	34 264	42 848	9 950	189 652
2002	64 915	64 677	6 947	14 714	2 398	51 429	34 399	41 569	9 832	192 923
2001	63 467	65 159	5 978	14 327	2 267	53 594	35 907	44 533	9 382	209 362
2000	62 949	63 494	4 740	17 432	2 319	53 726	33 732	47 625	9 090	209 880
1999	64 735	63 434	5 107	18 868	2 250	56 890	36 994	53 505	9 309	210 085
98	68 241	62 340	5 385	17 324	2 012	58 922	37 185	55 714	9 433	216 880
97	70 999	62 843	5 497	19 207	1 769	64 770	38 427	61 829	9 347	219 943
96	71 949	60 057	6 089	20 949	1 640	64 867	41 246	61 665	9 729	211 887
95	72 463	55 348	3 578	19 161	・	68 737	39 453	64 551	9 643	210 240
94	74 638	54 760	2 677	18 246	・	75 900	50 815	71 975	9 975	221 801
93	78 585	44 462	1 045	19 142	・	80 785	56 074	77 148	9 252	229 059
92	77 769	36 608	927	19 429	・	81 906	54 550	78 237	9 478	214 079
91	82 514	32 618	・	19 835	・	87 898	58 361	85 775	9 110	*2 228 652
90	81 963	32 729	・	16 405	・	86 389	51 964	83 896	8 217	306 882
89	79 047	23 921	・	15 230	・	85 687	49 330	81 521	7 469	315 277
88	78 333	15 449	・	16 470	・	89 368	50 981	82 618	7 242	299 054
87	77 163	6 553	・	13 976	・	91 999	46 671	83 841	7 607	311 855
86	73 677	2 982	・	13 989	・	92 559	48 797	81 363	6 819	282 843
85	71 130	1 798	・	12 080	・	91 334	47 199	79 001	6 328	278 404
84	68 492	1 514	・	8 559	・	92 135	44 661	73 377	6 224	238 973
83	67 537	2 949	・	7 487	・	90 489	40 997	74 431	6 136	233 557
82	63 218	1 344	・	5 569	・	90 498	31 656	72 122	5 756	225 543
81	65 046	2 186	・	4 464	・	95 260	25 849	73 841	4 795	211 161
80	62 945	959	・	3 045	・	90 460	22 636	51 376	4 084	190 234
79	63 451	・	・	2 919	・	81 771	19 019	28 901	3 196	169 050
78	58 863	・	・	3 762	・	76 146	14 428	15 371	2 756	159 592
77	57 328	・	・	2 842	・	66 408	13 504	4 411	2 716	158 307
76	58 309	・	・	2 864	・	56 356	11 552	935	2 681	149 708
75	57 690	・	・	1 052	・	54 102	9 380	772	2 202	146 049
74	69 693	・	・	357	・	52 989	7 022	674	1 783	157 998
73	72 235	・	・	95	・	45 754	5 556	211	1 596	134 748
72	70 357	・	・	・	・	30 712	4 494	・	1 340	114 490
71	71 310	・	・	・	・	26 910	2 800	・	983	98 968
70	67 277	・	・	・	・	19 841	2 174	・	938	91 257
69	58 547	・	・	・	・	15 658	431	・	486	54 065
68	44 960	・	・	・	・	2 957	・	・	42	37 224
67	31 800	・	・	・	・	・	・	・	・	11 972
66	18 702	・	・	・	・	・	・	・	・	3 617
65	13 090	・	・	・	・	・	・	・	・	・
64	8 330	・	・	・	・	・	・	・	・	・
63	1 567	・	・	・	・	・	・	・	・	・
62	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
61	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
60	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
59	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
58	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
57	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
56	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
55	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・

*1 2013年より直接X線実施数も含む

*2 1991年より依頼検査（胸部X線読影等）を除外

検診・検査の種目別実施数（職域、地域、母子、学校の合計）Ⅱ

※検診検査数は一次受診人数あるいは件数

年度 Year	総合健診 Comprehensive Health Check	特定健康診査 Specific Health Check	婦人健診 Female Health Check	THP Total Health Promotion Plan	歯科健康診査 Dental Health Check	骨粗鬆症 予防検査 Osteoporosis Exam.	特健 殊診 Occupational Diseases Exam.	保相 健談 Health Counseling	特定 保健指導 Specific Health Counseling	作業 環境調査 Working Environment Surveys
2024	.	122 210	.	.	5 903	2 933	80 637	10 734	844	2 120
2023	.	117 375	.	.	5 553	2 883	81 365	10 928	881	2 330
2022	776	124 096	.	.	3 562	3 077	85 477	11 606	885	1 990
2021	53 994	126 649	24	.	2 916	3 130	84 318	11 281	862	1 919
2020	53 087	127 136	149	.	.	2 210	77 748	10 854	390	1 679
2019	53 818	124 868	203	.	7 585	2 411	79 245	10 707	226	1 792
2018	55 554	129 204	349	.	8 969	3 113	83 051	9 538	79	1 672
2017	55 634	123 031	345	.	8 603	3 729	78 491	11 956	148	1 618
2016	51 073	122 230	283	.	9 726	2 939	79 371	28 748	204	1 569
2015	54 657	122 109	216	27	11 189	2 734	82 197	26 077	449	1 496
2014	52 323	120 696	199	.	10 437	2 131	74 369	23 754	378	1 506
2013	50 511	113 543	260	.	11 376	2 527	66 917	18 432	614	1 739
2012	53 257	114 080	372	25	11 909	2 499	67 791	23 870	624	1 679
2011	56 346	114 915	430	16	11 509	2 445	68 517	28 143	721	1 649
2010	55 973	114 234	401	266	12 239	2 624	69 602	29 238	733	1 485
2009	56 587	117 470	397	306	13 342	2 540	75 332	24 122	775	1 507
2008	48 166	108 811	392	27	13 074	2 607	80 856	25 847	521	1 563
2007	49 353	.	389	52	13 035	2 697	79 773	25 184	.	1 578
2006	41 035	.	470	61	12 838	2 820	74 398	26 661	.	1 483
2005	40 296	.	576	134	13 817	3 304	72 297	28 574	.	1 431
2004	41 864	.	761	153	12 831	3 115	66 434	18 852	.	1 481
2003	42 132	.	843	188	12 257	3 562	65 487	19 747	.	1 508
2002	48 785	.	1 610	65	11 883	4 223	70 389	18 800	.	1 462
2001	41 371	.	1 140	330	13 585	3 663	80 577	19 456	.	1 308
2000	39 855	.	1 405	491	15 048	3 656	78 404	14 262	.	1 368
1999	40 914	.	1 611	280	16 274	3 275	81 608	12 036	.	1 530
98	37 466	.	1 626	464	16 957	3 538	82 547	11 774	.	1 672
97	35 218	.	2 040	500	17 283	4 745	82 113	10 196	.	1 757
96	35 972	.	2 184	438	13 682	6 742	81 169	10 016	.	1 726
95	34 665	.	2 353	292	13 598	4 113	82 907	11 735	.	1 869
94	30 654	.	2 992	181	10 771	.	84 797	11 519	.	1 850
93	30 979	.	3 108	315	9 894	.	88 002	9 556	.	1 909
92	21 587	.	3 678	843	8 052	.	81 034	9 726	.	1 783
91	30 206	.	3 361	890	4 275	.	76 525	9 251	.	1 678
90	26 081	.	3 891	950	5 273	.	79 915	8 087	.	*3 13 659
89	14 405	.	4 370	.	2 767	.	80 529	8 133	.	12 845
88	12 570	.	4 383	.	.	.	79 680	9 332	.	11 570
87	11 613	.	4 529	.	.	.	79 768	7 802	.	10 442
86	12 153	.	3 642	.	.	.	79 720	7 406	.	9 643
85	9 996	.	3 544	.	.	.	79 958	7 173	.	13 087
84	10 370	.	2 655	.	.	.	78 209	7 229	.	11 362
83	8 432	.	2 259	.	.	.	79 067	6 804	.	10 878
82	6 417	.	1 906	.	.	.	77 563	6 807	.	12 065
81	10 849	.	2 045	.	.	.	80 529	6 631	.	10 513
80	7 229	.	1 629	.	.	.	77 091	6 414	.	9 030
79	6 989	.	1 287	.	.	.	69 100	5 447	.	6 899
78	3 958	.	1 219	.	.	.	71 488	3 738	.	6 421
77	3 877	.	1 045	.	.	.	69 204	3 653	.	5 478
76	3 021	.	938	.	.	.	61 184	3 289	.	3 404
75	2 865	.	774	.	.	.	55 917	3 276	.	3 176
74	1 022	.	677	.	.	.	49 668	2 872	.	3 281
73	201	.	211	.	.	.	46 246	.	.	3 344
72	1 267	38 346	.	.	3 386
71	28 833	.	.	2 072
70	21 666	.	.	929
69	12 565	.	.	454
68	7 543	.	.	710
67	1 597	.	.	33
66	190	.	.	.
65
64
63
62
61
60
59
58
57
56
55

*3 1991年以前は測定点数で表記

検診・検査の種目別実施数（職域、地域、母子、学校の合計）Ⅲ

※検診検査数は一次受診人数あるいは件数

年度 Year	水 質 検査 Water Quality Analysis	簡易 水道 検査 Water Supply Facility surveys	専用 心臓 検査 Cardiac Disease Exam. for Children	臓 腎 臓 病 診 Kidney Disease Exam.	糖 尿 病 診 Diabetes Exam.	寄 生 虫 査 Parasite Exam.	貧 血 査 Anemic Exam. for Children	先天性代謝 異常等検査 Congenital Metabolic Disorders Exam. for Newborn	神経芽細胞腫 検査 Neuroblastoma Exam. for Newborn
2024	.	1 479	99 687	638 364	638 364	.	479	48 973	.
2023	.	1 432	102 381	648 196	648 196	.	464	51 154	.
2022	.	1 481	103 355	674 765	674 765	.	458	53 352	.
2021	.	1 494	104 918	635 808	635 808	.	978	56 292	.
2020	.	1 530	106 331	686 735	686 735	.	955	56 207	.
2019	1 335	1 464	111 077	724 232	724 232	.	1 884	58 806	.
2018	1 600	1 559	112 414	700 877	700 877	.	2 208	60 537	.
2017	1 621	1 632	117 137	703 526	691 061	.	2 731	61 935	.
2016	1 452	1 743	119 755	736 271	723 503	5 355	5 034	63 816	.
2015	1 712	1 807	118 122	711 073	696 954	130 863	5 668	66 062	.
2014	1 641	1 838	120 813	745 227	730 747	136 503	5 840	66 864	.
2013	1 857	1 897	119 359	750 096	735 380	137 405	6 413	65 847	.
2012	2 270	2 157	120 134	721 205	706 320	138 245	7 758	66 524	.
2011	3 540	2 425	119 529	754 646	740 350	236 721	7 910	66 839	.
2010	3 722	2 660	120 161	755 319	740 717	244 537	9 054	69 255	.
2009	4 089	2 707	118 962	758 458	741 036	252 162	10 579	69 567	.
2008	4 793	2 791	118 632	756 598	738 829	167 891	10 200	70 666	.
2007	5 150	2 888	120 579	752 931	735 052	196 706	10 672	70 671	.
2006	5 398	3 044	113 680	746 586	729 262	193 926	10 498	70 377	.
2005	5 887	3 039	127 174	744 129	726 627	295 825	10 893	68 966	.
2004	5 472	3 420	130 520	847 898	830 776	285 821	13 984	71 141	.
2003	4 833	3 904	128 329	849 721	833 340	283 725	14 264	72 934	14 629
2002	4 718	3 913	127 435	846 607	836 753	292 138	14 485	73 682	30 120
2001	4 690	3 893	135 392	859 461	850 503	297 923	16 293	73 927	29 650
2000	4 367	3 745	135 058	862 611	855 081	347 295	18 368	74 386	29 515
1999	4 585	3 806	136 867	873 379	866 780	348 085	19 556	74 035	29 458
98	4 629	3 540	138 100	886 198	879 899	353 183	21 550	74 913	29 440
97	4 659	3 294	139 802	915 107	908 936	353 402	21 513	73 814	28 716
96	6 066	3 146	142 660	946 887	940 518	358 945	22 818	73 370	28 541
95	8 270	3 010	128 482	986 041	979 832	389 183	26 717	70 958	29 077
94	5 336	2 798	121 860	1019 025	1013 270	640 136	29 639	73 487	29 358
93	4 923	2 622	124 929	1055 924	1049 413	658 786	37 630	69 828	28 653
92	4 848	2 376	142 959	1110 329	1101 315	694 791	48 618	68 558	28 799
91	5 118	1 574	147 533	1143 106	1075 235	707 302	53 316	69 038	28 896
90	4 939	1 399	157 078	1188 040	1117 887	706 236	103 948	68 430	28 380
89	4 720	1 248	158 405	1224 100	1161 476	715 380	100 141	67 682	28 855
88	4 608	1 145	136 904	1280 243	1199 766	741 868	96 867	69 336	28 809
87	4 619	1 055	142 487	1303 137	1221 544	766 362	100 199	69 389	26 805
86	4 261	755	139 412	1330 656	1182 867	803 163	105 040	68 343	26 016
85	4 091	699	120 947	1342 400	1178 174	838 576	96 557	70 962	25 731
84	4 047	640	113 555	1320 075	966 473	877 685	92 228	72 419	24 716
83	3 558	598	82 015	1320 031	956 032	911 098	86 627	74 947	23 471
82	3 505	558	60 917	1325 255	928 397	950 245	82 666	74 137	10 354
81	3 816	479	60 016	1296 107	809 101	961 714	70 968	74 392	.
80	4 233	346	35 724	1269 432	422 477	968 160	61 495	75 065	.
79	3 250	251	25 189	1220 456	303 473	929 496	55 604	78 700	.
78	1 203	.	15 175	1026 645	229 073	886 014	50 176	79 120	.
77	844	.	6 829	955 480	209 429	857 799	38 182	75 689	.
76	770	.	952	884 297	129 041	871 674	35 616	22 640	.
75	827	.	1 708	830 075	139 128	832 476	35 191	.	.
74	384	.	982	824 971	132 833	837 897	39 845	.	.
73	84	.	524	611 345	76 568	1168 892	39 454	.	.
72	.	.	508	514 718	60 364	1142 817	43 056	.	.
71	.	.	632	409 481	44 492	1169 476	27 950	.	.
70	.	.	735	341 737	60 649	1067 124	26 214	.	.
69	.	.	517	279 841	47 306	1041 037	17 564	.	.
68	.	.	483	204 875	32 790	1068 936	18 005	.	.
67	.	.	429	137 382	.	1076 152	15 351	.	.
66	.	.	440	60 253	.	1086 257	7 743	.	.
65	.	.	.	13 411	.	1168 799	81	.	.
64	.	.	.	4 275	.	1140 844	.	.	.
63	.	.	.	1 387	.	1155 558	.	.	.
62	955 387	.	.	.
61	888 425	.	.	.
60	683 252	.	.	.
59	578 812	.	.	.
58	460 274	.	.	.
57	389 665	.	.	.
56	329 067	.	.	.
55	251 370	.	.	.

検診・検査の種目別実施数（職域、地域、母子、学校の合計）Ⅳ

※検診検査数は一次受診人数あるいは件数

年度 Year	血清反応 検査 Serum Reaction Exam.	腸内細菌 検査 Bacteriological Exam. in Feces	細胞診検査 Cytological Exam.			病理組織検査 Pathological Exam.	
			婦人科	喀痰	その他	婦人科	消化器
2024	17 855	・	・	・	・	・	・
2023	25 062	・	・	・	・	・	・
2022	22 029	・	・	・	・	・	・
2021	21 461	・	・	・	・	・	・
2020	23 515	・	・	・	・	・	・
2019	25 054	・	31 620	5 107	220	50	380
2018	30 293	・	33 961	4 420	198	68	285
2017	24 764	・	35 597	5 054	209	56	361
2016	24 319	・	34 747	5 308	270	51	378
2015	23 726	・	63 402	5 176	282	393	402
2014	23 889	・	67 172	5 233	321	484	589
2013	18 953	・	70 677	5 100	337	451	526
2012	22 019	・	77 268	5 041	323	444	632
2011	24 848	・	83 367	4 973	672	452	632
2010	19 287	・	85 520	5 214	764	524	634
2009	19 666	4	86 325	4 836	831	544	797
2008	19 558	7 011	80 397	4 672	891	585	716
2007	24 912	6 434	81 721	4 684	963	660	926
2006	29 381	6 245	76 919	7 587	954	991	1 227
2005	28 220	56 184	77 115	7 998	890	920	1 397
2004	30 368	6 931	93 224	8 209	1 056	974	1 253
2003	25 517	49 737	93 291	7 428	1 063	1 176	1 037
2002	14 451	1 822	90 457	7 027	1 010	1 192	1 498
2001	14 706	1 562	93 831	6 637	981	1 165	1 887
2000	13 639	1 813	83 008	6 356	917	1 129	2 110
1999	14 303	3 173	85 821	6 686	898	1 081	2 294
98	16 647	3 630	88 245	6 415	780	973	2 507
97	15 174	4 036	94 977	7 699	723	1 286	2 493
96	15 923	*4 4 816	97 732	8 279	792	1 835	2 783
95	15 981	3 267	101 298	8 138	1 161	1 895	2 876
94	18 046	2 967	115 773	8 524	1 539	2 080	3 056
93	14 886	3 231	123 651	8 314	1 539	2 111	2 712
92	14 500	3 007	123 729	8 981	1 390	2 203	2 416
91	14 462	3 800	133 644	8 130	1 320	2 471	1 923
90	15 299	3 055	127 759	7 677	1 539	2 726	2 448
89	10 139	9 284	126 762	7 419	1 217	3 560	2 358
88	11 864	5 820	131 072	7 737	1 364	3 599	2 320
87	6 908	4 200	136 190	7 621	3 363	3 935	1 949
86	6 496	4 724	135 766	6 463	2 507	4 188	1 633
85	7 472	5 164	131 726	5 771	2 036	4 213	1 241
84	6 625	5 191	133 150	3 122	1 962	4 288	1 058
83	4 297	9 175	129 312	2 301	311	4 642	1 259
82	7 455	9 533	120 435	1 867	744	4 916	1 536
81	8 146	8 355	120 345	1 473	692	4 516	931
80	7 685	8 568	111 905	1 437	480	3 468	856
79	8 357	13 483	100 862	978	260	2 960	1 303
78	8 264	13 745	90 574	・	160	・	1 329
77	7 468	17 500	79 912	・	・	・	1 280
76	38 861	20 062	66 987	・	・	・	1 196
75	42 173	17 869	63 482	・	・	・	1 406
74	60 591	20 983	60 011	・	・	・	1 432
73	59 116	14 013	51 310	・	・	・	1 215
72	58 731	17 729	35 206	・	・	・	・
71	62 564	23 250	29 710	・	・	・	・
70	58 891	24 481	22 015	・	・	・	・
69	57 761	12 674	16 089	・	・	・	・
68	50 100	8 527	2 957	・	・	・	・
67	37 395	4 345	・	・	・	・	・
66	23 938	4 184	・	・	・	・	・
65	1 199	10 607	・	・	・	・	・
64	2 616	22 149	・	・	・	・	・
63	・	1 367	・	・	・	・	・
62	・	266	・	・	・	・	・
61	・	・	・	・	・	・	・
60	・	・	・	・	・	・	・
59	・	・	・	・	・	・	・
58	・	・	・	・	・	・	・
57	・	・	・	・	・	・	・
56	・	・	・	・	・	・	・
55	・	・	・	・	・	・	・

*4 1996年以降、腸内細菌検査にはO-157等が含まれる

研 究 発 表

研 究 発 表

学会での講演・口演・シンポジウム・示説

演 題	発 表 者	学 会 名	場 所	年 月 (西暦)
婦 人 検 診 部				
口演：子宮頸部上皮内腫瘍に対するタラポルフィリンナトリウムを用いた光線力学的治療の医師主導治験	村上浩雄、坂本 優、加藤久盛、小野瀬亮、三宅清彦、松家まどか、金山尚裕、伊東宏晃	第76回日本産科婦人科学会	神奈川	2024. 4
臨 床 検 査 部				
TSH、17-OHP、FT4の3項目同時測定の実施報告	田邊さとえ	第58回全国予防医学技術研究会	京都	2025. 2
神奈川県学校腎臓病検診 新システムの運用状況	金成友佳	第58回全国予防医学技術研究会	京都	2025. 2
放 射 線 技 術 部				
胃X線透視条件設定による線量低減策の検証	鍋嶋将一	第63回日本消化器がん検診学会総会	愛知	2024. 6
胃がん検診のDRLにおける演繹的アプローチ	見本真一	第63回日本消化器がん検診学会総会	愛知	2024. 6
胃がん検診における技術交流の取り組み	三島侑恵	第83回日本消化器がん検診学会 関東甲信越地方会	神奈川	2024. 9
症例検討会から振り返る胸部X線デジタル画像の定量的データ解析の検討	福山智之	第58回全国予防医学技術研究会	京都	2025. 2
胃がん確定例から振り返る胃X線検査における技術改善の検討	鈴木なごみ	第58回全国予防医学技術研究会	京都	2025. 2
乳がん検診のプロセス指標に基づく評価と課題	見本喜久子	第58回全国予防医学技術研究会	京都	2025. 2
環 境 科 学 部				
溶接作業場におけるヒューム低減対策に関する事例（第2報 粉じんのリアルタイムモニターによるマンガン濃度の推定）	飯田 孝	第45回日本作業環境測定協会学術大会	福岡	2024.10
看 護 部				
ヒヤリハットの活性化に向けて～看護部としての実際の取り組み～	古郡花連	第58回全国予防医学技術研究会	京都	2025. 2
健 康 創 造 室				
JICA草の根支援事業としての神奈川県歯科医師会のホーチミン市における歯科診療体制構築事業について(第4報)	鈴木信次、池田正一、池野 良、柿沼章子、中川裕美子、中澤よう子、吉村幸浩	日本エイズ学会	東京	2024.12

演 題	発 表 者	学 会 名	場 所	年 月 (西暦)
事業所と健康保険組合、外部支援機関が連携した特定保健指導の取り組み	飯塚晶子	第97回日本産業衛生学会	広島	2024.5
健康診断機関の保健師による相談窓口対応の現状と課題	出原聡乃	第58回全国予防医学技術研究会	京都	2024.2
産 業 保 健 部				
人口動態統計で見る神奈川県等のCOVID-19死亡者数推移	里見正宏	第83回日本公衆衛生学会総会	北海道	2024.10
横浜市における新型コロナウイルス感染症の死亡率の推移	里見正宏	第70回神奈川県公衆衛生学会	神奈川	2024.11

講演・地域でのセミナーなど

演 題	発 表 者	主 催 者	場 所	年 月 (西暦)
婦 人 検 診 部				
Web口演：対策型検診における子宮頸がん検診を HPV検査単独法で開始するに向けて－横浜市の場合及び当施設の準備状況について－	加藤久盛	神奈川県予防医学協会 子宮がん車検診実施検討会	神奈川	2024.12
が ん 予 防 医 療 部				
「これまで、どう生きてきましたか、これからどう生きていきますか」	三浦 猛	オストミー協会 健康講和	神奈川	2024.5
～元気なうちから考えよう～旅立ちのとき	三浦 猛	介護予防講演会	神奈川	2024.11
放 射 線 技 術 部				
令和6年度胃X線研修会(基礎コース)透視下における有所見例の見方	見本真一	全国労働衛生団体連合会	Web	2024.7
令和6年度胃X線研修会(専門コース)空気量とバリウム付着	福山智之	全国労働衛生団体連合会	東京	2024.7
健 康 創 造 室				
よりよい保健指導をするために	飯塚晶子	令和6年度特定健康診査・特定保健指導経験者研修会	神奈川	2024.9

著書・論文・報告書

標 題	発 表 者	発 行	年 月 (西暦)
婦 人 検 診 部			
論文：Comprehensive serumglycopeptide spectra analysis to identify early stage	Mikio Mikami, Kazuhiro Tanabe, Tadashi Imanishi, Masae Ikeda, Takeshi Hirasawa, Miwa Yasaka, Hiroko Machida, Hiroshi Yoshida, Masanori Hasegawa, Muneaki Shimada, Tomoyasu Kato, Shoichi Kitamura, Hisamori Kato, Takuma Fujii, Yoichi Kobayashi, Nao Suzuki, Kyoko Tanaka, Isao Murakami, Tomoko Katahira, Chihiro Hayashi 2 & Koji Matsuo	Science Reports. https://doi.org/10.1038/s41598-024-70228-6	2024. 8
著書：子宮内膜細胞診の実際 臨床から報告様式まで 第2版	加藤久盛、矢野恵子、植田政嗣、矢納研二、森谷卓也、柳井広之、三上芳喜、小椋聖子、城戸貴之	近代出版 P10-14	2024. 8
論文：Prevalence and outcomes of germline pathogenic variants of homologous recombination repair genes in ovarian cancer	Maiko Miwa, Masakazu Kitagawa, Yuka Asami, Mayumi Kobayashi-Kato, Takafumi Watanabe, Aiko Ogasawara, Kengo Hiranuma, Hisamori Kato, Motonobu Saito, Yohei Miyagi, Tomoyasu Kato, Hiroshi Yoshida, Yukihide Momozawa, Takashi Kohno, Kouya Shiraishi, Kosei Hasegawa ... See fewer authors	Cancer Science https://doi.org/10.1111/cas.16367	2024.10
論文：Efficacy of Rikkunshito on Chemotherapy-Induced Nausea and Vomiting in Patients with Uterine Corpus or Cervical Cancer Treated with Cisplatin-Based Regimen -Placebo-controlled, Double-Blind, Randomized Confirmatory Study (JORTC-KMP03)	Konno, Yosuke; Nagasawa, Takayuki; Fujimoto, Etsuko; Ohara, Tatsuru; Nishio, Shin; Kato, Hisamori; Yokoyama, Yoshihito; Miyagi, Etsuko; Tokunaga, Hideki; Nishino, Koji; Kikuchi, Akira; Yoshida, Yoshio; Iwata, Takashi; Noguchi, Daito; Kudaka, Wataru; Oyamada, Shunsuke; Ariyoshi, Keisuke; Kihara, Kota; Watari, Hidemichi	Integrative Cancer Therapies https://doi.org/10.1177/15347354251329346	2025. 2
が ん 予 防 医 療 部			
完全版 患者と家族のための泌尿器科のがんがわかる本	三浦 猛 ほか	四海書房	2024. 4
臨 床 検 査 部			
ここまで来た！新生児マススクリーニングと対象疾患の治療－PCR法を用いたスクリーニング	山田幸子	小児内科 December 2024 Vol.56 No12	2024

標 題	発 表 者	発 行	年 月 (西暦)
放 射 線 技 術 部			
検査ナビゲーションシステムの活用による 受診支援	三島侑恵	予防医学ジャーナル 第539号	2024.11
透視観察の標準化に向けた動画教材の活用 について	直山空瑠美	予防医学ジャーナル 第539号	2024.11
胃X線検診における医療被ばく最適化のため の管理目標	見本真一 ほか	日本消化器がん検診学会雑誌、 Vol63(2),Mar,2025	2025. 3
看 護 部			
看護技術向上のための継続研修～チェック シートを用いた継続研修の経過と課題～	武藤あゆみ	予防医学ジャーナル 第539号	2025. 1
健 康 創 造 室			
Daily walking habits can mitigate age-related decline in static balance:a longitudinal study among aircraft assemblers	Kazuhiko Watanabe, Shoko Iizuka, Tatsuya Kobayashi, Saki Tsushima, Sora Hirohashi, Tomohiro Yoshimi & Masayoshi Zaitso	natureportfolio	2025
産 業 保 健 部			
横浜市等における新型コロナウイルス感染症 の死亡率の推移	里見正宏	神奈川県公衆衛生学会誌 70号 P29-30	2024

当協会における検査の基準範囲

(令和6年4月現在)

表1 臨床化学検査

検 査 項 目	測 定 法	基 準 範 囲
AST (GOT) (アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ)	JSCC標準化対応法	8~33 U/L
ALT (GPT) (アラニンアミノトランスフェラーゼ)	JSCC標準化対応法	6~32 U/L
γ -GTP (γ -グルタミルトランスペプチターゼ= γ -GT)	JSCC標準化対応法	0~49 U/L
ALP (IF) (アルカリ性ホスファターゼ)	IFCC標準化対応法	38~113 U/L
LDH (IF) (乳酸デヒドロゲナーゼ)	IFCC標準化対応法	124~222 U/L
Ch-E (コリンエステラーゼ)	JSCC標準化対応法	M:240~486 F:201~421 U/L
AMY (アミラーゼ)	JSCC標準化対応法	(血清) 44~132 U/L
P-AMY (膵アミラーゼ)	JSCC標準化対応法(免疫阻害法)	19~57 U/L
NAG (N-アセチル- β -D-グルコサミニダーゼ)	比色法	(尿) 0.7~11.2 IU/L
UN (尿素窒素)	アンモニア消去法	8.0~20.0 mg/dL
UA (尿酸)	ウリカーゼPOD法	★ 2.0~7.0 mg/dL
Cr (クレアチニン)	酵素法	M:0.65~1.07 F:0.46~0.79 mg/dL
TC (総コレステロール)	酵素法	★ 130~219 mg/dL
空腹時TG (トリグリセライド=中性脂肪)	酵素比色法	★ 50~149 mg/dL
随時TG (トリグリセライド=中性脂肪)	酵素比色法	★ 50~174 mg/dL
HDL-C (高比重リポタンパク-コレステロール)	阻害による直接法	★ 40以上 mg/dL
LDL-C (低比重リポタンパク-コレステロール)	直接法	★ 140未満 mg/dL
TP (血清総タンパク)	ビウレット法	6.5~8.2 g/dL
ALB (アルブミン)	BCP改良法	4.0~5.1 g/dL
PF (タンパク分画)	キャピラリー電気泳動法	ALB 55.8~66.1 % α 1-G 2.9~4.9 % α 2-G 7.1~11.8 % β 1-G 4.7~7.2 % β 2-G 3.2~6.5 % γ -G 11.1~18.8 %
A/G比 (アルブミン・グロブリン比)	計算	1.32~2.23
Na (ナトリウム)	イオン選択電極法	136~147 mEq/L
K (カリウム)	イオン選択電極法	3.6~5.0 mEq/L
Cl (クロール)	イオン選択電極法	98~109 mEq/L
Ca (カルシウム)	アルセナゾⅢ法	8.5~10.2 mg/dL
Fe (鉄)	Nitroso-PSAP法	M:55~210 μ g/dL F:35~195 μ g/dL
TIBC (総鉄結合能)	Nitroso-PSAP法	M:253~365 μ g/dL F:246~410 μ g/dL
T-BIL (総ビリルビン)	酵素法	0.4~1.5 mg/dL
D-BIL (直接ビリルビン)	酵素法	0~0.3 mg/dL
黄疸指数	比色法	3~6
空腹時血糖	HK-G6PDH法	★ 70~109 mg/dL
随時血糖	HK-G6PDH法	140未満 mg/dL
HbA1c (ヘモグロビンA1c)	ラテックス免疫凝集法・酵素法	4.6~5.9 %

★各臨床の専門学会が提唱する病態識別値

表2 免疫血清学的検査

検査項目	測定法	基準範囲
〔血液型〕 ABO式	マイクロプレート法	
Rho (D) 式	カラム凝集法	
直接クーモス試験	赤血球凝集反応 カラム凝集法	(-)
〔梅毒血清検査〕 抗リン脂質抗体 (定性法)	ラテックス比濁法 (RPR法)	(-)
抗リン脂質抗体 (定量法)	ラテックス比濁法 (RPR法)	1.0未満 R.U.
抗TP抗体 (定性法)	ラテックス比濁法 (TPLA法)	(-)
抗TP抗体 (定量法)	ラテックス比濁法 (TPLA法)	10未満 T.U.
〔感染症血清検査〕 ASO (抗streptolysin O抗体)	ラテックス凝集免疫法	239以下 IU/mL
CRP (C反応性蛋白)	ラテックス免疫比濁法	0.30以下 mg/dL
〔リウマチ因子検査〕 RF	ラテックス免疫比濁法	15以下 IU/mL
〔肝炎ウイルス検査〕 HBs抗原	化学発光酵素免疫測定法 (CLEIA法)	0.005未満 IU/mL
HBs抗体	化学発光酵素免疫測定法 (CLEIA法)	10.0未満 mIU/mL
HBe抗原	CLEIA法	陰性 (1.0未満 Cut off Index)
抗体	CLEIA法	陰性 (60未満 inhibition %)
HBc抗体	CLEIA法	陰性 (1.0未満 Cut off Index)
HCV抗体	化学発光酵素免疫測定法 (CLEIA法)	1.00未満 Cut off Index
〔血漿蛋白検査〕 IgG	免疫比濁法 (TIA法)	870~1700 mg/dL
IgA	免疫比濁法 (TIA法)	110~410 mg/dL
IgM	免疫比濁法 (TIA法)	M : 33~190 mg/dL F : 46~260 mg/dL
C 3	免疫比濁法 (TIA法)	86~160 mg/dL
β 2 ミクログロブリン	ラテックス凝集免疫法	血清 : 1.0~1.9 mg/L 尿 : 230以下 μ g/L
α 1 ミクログロブリン	ラテックス凝集免疫法	尿M : 1.0~15.5 mg/L 尿F : 0.5~ 9.5 mg/L
〔前立腺マーカー〕 PSA (前立腺特異抗原)	化学発光酵素免疫測定法 (CLEIA法)	~64歳 3.0以下 ng/mL 65~69歳 3.5以下 ng/mL 70歳~ 4.0以下 ng/mL
〔ヘリコバクターピロリ感染症検査〕 抗ヘリコバクターピロリIgG抗体	ラテックス免疫比濁法	5未満 U/mL

表3-1 血液学検査

検査項目	測定法	基準範囲
WBC 白血球数	フローサイトメトリー法	3300~8600 / μ L
RBC 赤血球数	シースフロー-DC検出法	M : 435~555 $\times 10^4$ / μ L F : 386~492 $\times 10^4$ / μ L
Hb 血色素量	SLS-ヘモグロビン法	M : 13.7~16.8 g/dL F : 11.6~14.8 g/dL
Hct ヘマトクリット	赤血球パルス波高値検出法	M : 40.7~50.1 % F : 35.1~44.4 %
MCV 平均赤血球容積	RBCおよびHctより算出	83.6~98.2 fL
MCH 平均赤血球血色素量	RBCおよびHbより算出	27.5~33.2 pg
MCHC 平均赤血球血色素濃度	HctおよびHbより算出	31.7~35.3 %
Plt 血小板数	シースフロー-DC検出法	15.8~34.8 $\times 10^4$ / μ L
網赤血球数	Brecher法	8~20 ‰
白血球百分率	メイギムザ染色 鏡検法	St 3.0~10.0 % Seg 40.0~70.0 % Ly 20.0~45.0 % Mo 3.0~7.0 % Eo 0(+)~5.0 % Ba 0~2.0 %

表3-2 血液学検査

検査項目	測定法	基準範囲	
白血球分画 (白血球5分類)	フローサイトメトリー法	好中球 NE	40.4~71.1%
		リンパ球 LY	19.7~48.2%
		単球 MO	3.9~9.9%
		好酸球 EO	0.3~8.9%
		好塩基球 BA	0.1~1.4%

表4 一般検査(尿・便検査)

検査項目	測定法	基準値
蛋白定性	試験紙法	(-)
	スルホサリチル酸法	(-)
	トリクロル酢酸法	(-)
蛋白定量	ピロガロールレッド法	
潜血	試験紙法	(-)
糖定性	試験紙法	(-)
糖定量	HK-G6PDH法	
ウロビリノーゲン	試験紙法, Ehrlichアルデヒド反応	(±)
ケトン	試験紙法	(-)
ビリルビン	試験紙法, Rosin法	(-)
尿細菌培養	培養同定	(-)
便潜血	免疫学的便潜血反応(ラテックス法)	(-)

表5 細胞診検査

検査項目	検査方法	判定基準
婦人科細胞診(頸部)	パパニコロウ染色	ベセスダシステム/CLASS
婦人科細胞診(体部)	パパニコロウ染色	3分類
一般細胞診	パパニコロウ染色 ギムザ染色	パパニコロウ分類
喀たん細胞診	パパニコロウ染色 (集痰法)	ABCDE分類
乳腺細胞診	パパニコロウ染色	乳癌取扱い規約に基づく判定

表6 学校貧血判定基準

区分	検査項目	静脈採血			
		男	女		
小学生 (5・6年)	正常	血色素量(Hb)g/dL	11.5~14.5	11.5~14.5	
		ヘマトクリット(Hct)%	34.0~42.0	34.0~42.0	
		赤血球数(RBC)×10 ⁴ /μL	415~525	415~525	
		白血球数(WBC)/μL	4000~9000		
	要注意	血色素量(Hb)g/dL	10.5~11.4	10.5~11.4	
		ヘマトクリット(Hct)%	31.0~33.9	31.0~33.9	
		赤血球数(RBC)×10 ⁴ /μL	320~414	320~414	
	要受診	血色素量(Hb)g/dL	10.4以下	10.4以下	
		ヘマトクリット(Hct)%	30.9以下	30.9以下	
		赤血球数(RBC)×10 ⁴ /μL	319以下	319以下	
		白血球数(WBC)/μL	3400以下・12100以上		
中学生・高校生・成人	正常		中学1~2(男)	中学3年(男) 高校生・成人	中学生(女) 高校生・成人
		血色素量(Hb)g/dL	12.0~16.0	13.7~16.8	11.6~14.8
		ヘマトクリット(Hct)%	36.0~48.0	40.7~50.1	35.1~44.4
		赤血球数(RBC)×10 ⁴ /μL	410~560	435~555	386~492
	白血球数(WBC)/μL	4000~9000	3300~8600	3300~8600	
	要注意	血色素量(Hb)g/dL	10.5~11.9	11.0~13.6	10.0~11.5
		ヘマトクリット(Hct)%	31.0~35.9	35.0~40.6	30.0~35.0
		赤血球数(RBC)×10 ⁴ /μL	360~409	380~434	320~385
	要受診	血色素量(Hb)g/dL	10.4以下	10.9以下	9.9以下
		ヘマトクリット(Hct)%	30.9以下	34.9以下	29.9以下
		赤血球数(RBC)×10 ⁴ /μL	359以下	379以下	319以下
		白血球数(WBC)/μL	3400以下 12100以上	3000以下 12100以上	3000以下 12100以上

表7 糖尿病検査75gGTTにおける判定区分と判定基準

区分	グルコース濃度	
	空腹時値 または 2時間値	静脈血漿
糖尿病型	126mg/dL以上 (7.0mmol/L以上)	200mg/dL以上 (11.1mmol/L以上)
正常型	110mg/dL未満 (6.1mmol/L未満)	140mg/dL未満 (7.8mmol/L未満)
境界型	糖尿病型にも正常型にも属さないもの	

表8 新生児マススクリーニング検査

No	対象疾患	検査方法	陽 性 値	
			再採血検査値	即精査診査値
[アミノ酸代謝異常症検査]			(単位: nmol/mL)	
1	フェニルケトン尿症	タンデムマス法	Phe \geq 120	Phe \geq 300
2	メープルシロップ尿症		Leu+Ile \geq 350	Leu+Ile \geq 600
3	ホモシスチン尿症		Met \geq 70	Met \geq 240
4	シトルリン血症I型		Cit \geq 80	Cit \geq 300
5	アルギニノコハク酸尿症		Cit \geq 80 & ASA \uparrow	Cit \geq 300 & ASA \uparrow
[有機酸代謝異常症検査]			(単位: nmol/mL)	
6	メチルマロン酸血症	タンデムマス法	C3 \geq 4.0 & C3/C2 \geq 0.25	C3 \geq 8.0 & C3/C2 \geq 0.25
7	プロピオン酸血症		C3 \geq 4.0 & C3/C2 \geq 0.25	C3 \geq 8.0 & C3/C2 \geq 0.25
8	イソ吉草酸血症		C5 \geq 1.0	C5 \geq 5.0
9	3メチルクロトニルグリシン尿症		C5-OH \geq 1.0	C5-OH \geq 2.0
10	3ヒドロキシ3メチルグルタル酸血症		C5-OH \geq 1.0	C5-OH \geq 2.0
11	複合カルボキシラーゼ欠損症		C5-OH \geq 1.0	C5-OH \geq 2.0
12	グルタル酸血症I型		C5-DC \geq 0.30	
[脂肪酸代謝異常症検査]			(単位: nmol/mL)	
13	MCAD欠損症	タンデムマス法	C8 \geq 0.3 & C8/C10 \geq 1.4	C8 \geq 0.8 & C8/C10 \geq 1.4
14	VLCAD欠損症		C14:1 \geq 0.27 & C14:1/C2 \geq 0.013	
15	TFP (LCHAD) 欠損症		C16-OH \geq 0.05 & C18:1-OH \geq 0.05	
16	CPT1欠損症		C0(C16+C18) \geq 100	
17	CPT2欠損症		(C16+C18:1)/C2 \geq 0.65 & C16 \geq 2.3 & C14/C3 \geq 0.4	
[ガラクトース血症検査]			(単位: mg/dL)	
18	ガラクトース血症	酵素化学的測定法	Gal \geq 6.0	Gal \geq 12.0 & Beu(-)* Gal \geq 6.0 & Beu(+)*
			Gal-1-P \geq 15.0 & EP(蛍光無)**	
[甲状腺機能低下症検査]			(単位: TSH μ U/mL FT4 ng/dL serum)	
19	甲状腺機能低下症	免疫化学的測定法	TSH \geq 9.4 FT4<0.70	TSH \geq 18.8
[副腎過形成症検査]			(単位: ng/mL)	
20	副腎過形成症	タンデムマス法	17-OHP \geq 2.0 & (17-OHP+4-AD)/F \geq 0.20 & 11-DOF/17-OHP \leq 0.40	17-OHP \geq 5.0 & 21-DOF \geq 1.0 17-OHP \geq 5.0 & (17-OHP+4-AD)/F \geq 0.20 & 11-DOF/17-OHP \leq 0.40
[重症複合免疫不全症]				
21	重症複合免疫不全症	リアルタイムPCR法	TREC \leq 250copies/10 ⁵ cells or KREC \leq 250copies/10 ⁵ cells	TREC \leq 100copies/10 ⁵ cells or KREC \leq 100copies/10 ⁵ cells
[脊髄性筋萎縮症]				
22	脊髄性筋萎縮症	リアルタイムPCR法		SMN1 \geq 31.24Ct値

* Beu: ボイトラー法 (+) 蛍光なし (-) 蛍光あり
** EP: エピメラゼ法

表9 鉛・尿中代謝物等の分布区分値

区分	対象物質名	検査項目	指 標				
			単 位	分布 1 ¹⁾	分布 2	分布 3	生物学的許容値 ²⁾
鉛	鉛	血 中 鉛	μ g/100mL	\leq 20	>20 \sim \leq 40	>40	
		尿中デルタアミノレブリン酸	mg/L	\leq 5	>5 \sim \leq 10	>10	
		赤血球プロトポルフィリン	μ g/100mL RBC	\leq 100	>100 \sim \leq 250	>250	
有機溶剤	トルエン	尿中馬尿酸	g/L	\leq 1	>1 \sim \leq 2.5	>2.5	
	キシレン	尿中メチル馬尿酸	g/L	\leq 0.5	>0.5 \sim \leq 1.5	>1.5	
	N・N-ジメチルホルムアミド	尿中N-メチルホルムアミド	mg/L	\leq 10	>10 \sim \leq 40	>40	
	ノルマルヘキサン	尿中2・5-ヘキサンジオン	mg/L	\leq 2	>2 \sim \leq 5	>5	
	1,1,1-トリクロロエタン	尿中総三塩化物	mg/L	\leq 10	>10 \sim \leq 40	>40	
特別有機溶剤	スチレン	尿中マンデル酸およびフェニルグリオキシルの総量	mg/L				430
	エチルベンゼン	尿中マンデル酸	mg/L				300
	テトラクロロエチレン	尿中総三塩化物	mg/L				3
	トリクロロエチレン	ク	mg/L				100
特化物	メチルイソブチルケトン	尿中メチルイソブチルケトン	mg/L				1
	インジウム	血清インジウム	μ g/L				3
	カドミウム	血中カドミウム	μ g/100mL				0.5

1) 分布の値は厚生労働省が定めたもので、区分は中毒指標ではなく、区分2,3につれて暴露量が多くなることを意味している。
2) 生物学的許容値は原則として、日本産業衛生学会の生物学的ばく露指標やACGIH(米国)のBEIおよび全国労働衛生団体連合会の管理暫定値に基づき示されている。
*2020年7月より、血液中カドミウムと尿中メチルイソブチルケトンの検査、スチレンは項目が追加付された。

公益財団法人 神奈川県予防医学協会の沿革

年	協会の動き	検診・検査の動き
昭和30(1955)年	1月24日 横浜市南区中村町の県衛生研究所の一隅を借り神奈川県寄生虫予防協会が任意団体として発足。全国では10団体が活動	1月 寄生虫検査を開始
32(1957)年	9月17日 日本寄生虫予防会設立, 支部となる	
33(1958)年	4月 寄生虫保卵率を下げる“10%運動”提唱	
34(1959)年	9月 検査室, 事務所を金沢区の青木医院(当時の理事長宅)へ移す	
	11月 第1回県寄生虫予防大会を県, 横浜市, 国保連, 町村会と共催	
	1月 “オーミン号”で農村各地区巡回PR。寄生虫予防を訴え講演会, 映画会を開催。学校集団検査の自治体予算化がすすむ	9月 胃がんのスクリーニングテストとして便潜血反応検査を開始
	8月 横浜市南(現在は港南)区上大岡町に検査所を新築, 事務所とともに移転	
35(1960)年	11月 第2回寄生虫予防大会を開催	
36(1961)年	11月 県“衛生まつり”を開催。以後, 県寄生虫予防大会はこれへ合流	
	5月 協会の財団法人認可	
37(1962)年	8月 第6回寄生虫予防全国大会を箱根で主催	7月 腸内細菌検査を開始
	8月 湘南内陸部農村地域の鉤虫実態調査を基礎に協会は独自で県, 市に陳情。翌年予算化	
38(1963)年	6月 胃がん検診を主体とする中央診療所を中区長者町に開設	6月 消化器検診を開始
	12月 胃集団検診車「長寿1号」完成	10月 学童腎臓病検診を開始
39(1964)年	3月 事務所を横浜市中区長者町へ移転	7月 血清反応検査を開始
	3月25日 財団法人神奈川県予防医学協会設立	
40(1965)年	9月 日本対ガン協会神奈川県支部になる	9月 貧血検査を開始
41(1966)年	12月 財団法人予防医学事業中央会設立, 支部になる	4月 学童心臓検診を開始
		4月 定期健康診断を開始
		4月 特殊健康診断を開始
42(1967)年	10月 横浜市中区住吉町「松村ビル」に事務所, 診療所を移転	9月 作業環境調査を開始
43(1968)年	10月 小田原市で第1回ガン征圧全国大会を実施	4月 学童糖尿病検診を開始
44(1969)年	1月 第2回全国検査室会議を箱根で主催。以後6回, 神奈川で主催	1月 検診車による子宮がん検診を開始
	4月 「肺がん予防の公衆衛生学的研究」3年計画でスタート(川崎市と共同, 日本対ガン協会補助)	2月 精密総合検診(人間ドック)を開始
	10月 全国労働衛生検診機関連合会(後の全国労働衛生団体連合会)設立	5月 施設での子宮がん検診を開始
		11月 郵送スミアによる子宮がん検診を開始(県産婦人科医会との協力事業)
45(1970)年	8月6日 財団法人神奈川県寄生虫予防協会解散, 予防医学協会に合併	3月 横浜市に協力し公害病認定のための検診を実施
46(1971)年		
47(1972)年	4月 集団検診センター, 横浜市金沢区鳥浜町に開所	
	10月 登録衛生検査所として県知事から認可される	
48(1973)年	8月 箱根で「第4回予防医学推進・第17回寄生虫予防全国大会」を主催	4月 保健相談を開始
		4月 水質検査開始
		11月 肺がん検診を開始
		婦人検診を開始
49(1974)年	7月 協会に「神奈川労働衛生コンサルテーションセンター」開所	
51(1976)年	3月 作業環境測定機関として認可される	7月 「神奈川から肺と胃がんをなくす会」(後のACクラブ)の会員制検診を開始
		11月 先天性代謝異常症の検査開始
52(1977)年	6月 集団検診センター別館新築	4月 子宮体がん検診を開始
	9月 労働衛生コンサルタント懇話会発足 協会内に事務局	5月 地域での乳がん検診を開始
	10月 高血圧性疾患予防友の会「こうゆう会」設立総会 協会内に事務局	6月 施設での乳がん検診を開始
		6月 施設での腎臓病精密検診を開始
		7月 地域での肺がん検診を開始
		8月 簡易専用水道検査を開始
54(1979)年	2月 簡易専用水道の指定検査機関となる	
55(1980)年	1月 水質検査の指定検査機関となる	
	2月 事務局, 診療所を横浜市中区日本大通に移転, 健康教育センターを設置	
	9月 予防医学推進全国大会を主催	
57(1982)年		3月 大腸がん検診を開始
		10月 神経芽細胞腫検査を開始
58(1983)年	汎用コンピュータ導入, 日本大通ビル3階西側を全面改装のうえコンピュータ室拡充整備	
59(1984)年	東日本がん征圧大会(桜木町)を主催	
63(1988)年		4月 副腎過形成スクリーニングを開始

年	協会の動き	検診・検査の動き
平成		
元(1989)年	10月 労働安全衛生法改正に伴う検診・検査受け入れ体制の確立	5月 健康づくりプログラムを開始
2(1990)年	10月 第42回保健文化賞(団体賞)を受賞	9月 運動機能測定(THP)を開始
3(1991)年	4月 新コンピュータシステム「MEDIX KANAGAWA」を稼働	
4(1992)年	4月 集団検診センター新館竣工。完全週休2日制の導入	4月 腹部超音波検診を開始
6(1994)年	10月 集団検診センター本館・別館の改修 5月 関内施設の改修	
	10月 政府管掌健康保険の成人病予防健診指定機関の認定を受ける	
	12月 中央診療所が自動化健診優良施設の認定を受ける	
7(1995)年	1月 創立40周年を迎え、2月から記念事業を展開	4月 骨粗鬆症予防検査を開始
8(1996)年	3月 日本大通ビル7階北側を全面改修のうえ高速螺旋CTを導入設置	4月 高速螺旋CTによる肺がん検診を開始
10(1998)年	4月 一日人間ドックが健診システムを再構築し稼働	4月 前立腺がん検診を開始
11(1999)年	10月 労働衛生機関評価制度の認定機関となる	
12(2000)年	6月 健康管理支援ソフト「Assist」稼働開始 11月 労災保険指定医療機関認定	
13(2001)年	10月10日 川崎支所開設	
	12月 マンモグラフィ検診施設画像認定機関となる	
14(2002)年	4月 新基幹システム稼働開始 7月 「健康らいふ倶楽部(会員制健康管理)」発足 12月 マンモグラフィ検診車「すこやか号」宝くじ協会から補助	8月 肺がん読影受託(厚木市基本健診) 10月 ライフサポート・クリニック開始
15(2003)年	3月 メンタルヘルス「事例検討会」発足	3月 ストレスチェックを開始 6月 シックススクール測定を開始 8月 神経芽細胞腫検査が休止される 11月 血圧脈波検査開始(人間ドック)
17(2005)年	1月 創立50周年を迎えた	
18(2006)年	3月 「ISO9001認証(水質・簡易専用水道検査)」取得 3月 集団検診センター4階部分コンピュータシステム室・情報処理室に全面改修 9月 プライバシーマーク許諾書取得	
20(2008)年	2月 人間ドック・健診施設機能評価の認定施設となる 3月 「ISO9001認証(作業環境調査)」取得	4月 特定健診・特定保健指導開始 11月 タンデムマスパイロットスタディ検査を開始
22(2010)年	4月 予防医療部門の新設,個人受診者のトータルな健康支援を充実	4月 ヒトパピローマ(HPV)検査を事業化
23(2011)年	2月 集団検診センター別館の耐震工事 4月 「あなたの相談室」を開設 10月 第56回予防医学事業推進全国大会を主催	10月 行政検査としてタンデムマス・スクリーニングを開始
24(2012)年	4月 公益財団法人の認定を受ける	
25(2013)年	4月 がん予防医療部を設置 予防医療部門の強化・充実をはかる	
26(2014)年	3月 集団検診センター本館の耐震・省エネ改修工事完了	
27(2015)年	1月 創立60周年を迎える 記念事業を展開 5月 日本大通りビル5階健診フロア改修工事完了 12月 かながわME-BYO見える化センターの認定を受ける	
28(2016)年		4月 寄生虫卵検査が児童生徒等の健康診断の必須項目から削除される
30(2018)年	7月 「LINKAI 横浜金沢ウエルネスセンター」開設 12月 「横浜健康経営クラスAAA」の認証事業所となる	
令和		
4(2022)年		4月 拡大新生児マスキリーニング検査(SCID・SMA)開始
5(2023)年	7月 横浜市SDGs認証制度“Y-SDGs”認証にてSuperiorを取得	
7(2025)年	1月 創立70周年を迎えた	

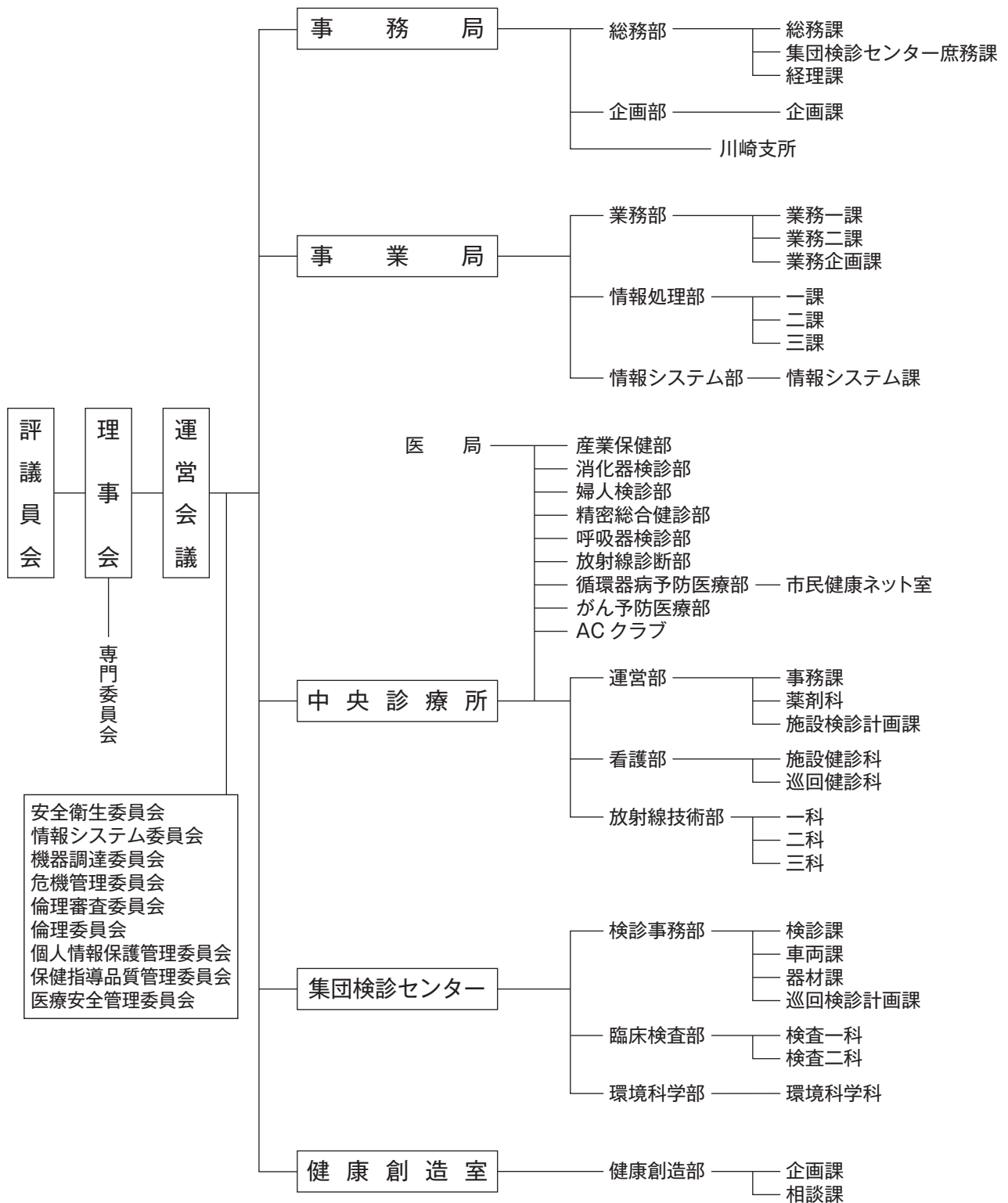
公益財団法人神奈川県予防医学協会 評議員及び役員等

(令和7年7月17日現在・敬称略)

顧問	黒岩 祐治 山中 竹春 福田 紀彦 山崎 元靖 木村 博和 林 露子 夏目 久也 菊岡 正和 戸塚 武和 岡野 敏明	神奈川県知事 横浜市長 川崎市長 神奈川県健康医療局医務担当部長 横浜市保健所長兼医療医務監兼医療局担当理事 川崎市健康福祉局担当理事保健所長 横須賀市民生局健康部長 公益社団法人神奈川県医師会会長 一般社団法人横浜市医師会会長 公益社団法人川崎市医師会会長
評議員 (五十音順)	阿南 英明 石津 雄一郎 大久保 久美子 大久保 雅一 大西 哲史 金子 猛 篠原 正泰 杉本 茜 多屋 馨子 東 敏昭 古川 政樹 古瀬 純司 前田 秀喜	地方独立行政法人神奈川県立病院機構理事長 横浜市健康福祉局健康推進部健康推進課担当課長 神奈川県健康医療局平塚保健福祉事務所長 神奈川県保健福祉事務所等所長会会長 神奈川県国民健康保険団体連合会常務理事 川崎市健康福祉局保健医療政策部健康増進課長 公立大学法人横浜市立大学医学部呼吸器病学教室主任教授 健康保険組合連合会神奈川連合会会長 横須賀市民生局健康部健康管理支援課長 神奈川県衛生研究所長 学校法人産業医科大学前学長・顧問・名誉教授 公立大学法人横浜市立大学名誉教授 地方独立行政法人神奈川県立病院機構神奈川立がんセンター総長 公益財団法人東京都予防医学協会専務理事・事務局長
会長	土屋 尚	協会前理事長
理事長 専務理事 常務理事 同 同	根本 克幸 北見 護 大崎 逸朗 小林 理樹 新保 文樹	神奈川県予防医学協会 協会事業局長 協会集団検診センター所長 協会中央診療所長・がん予防医療部部长 協会事務局長・企画部長
理事 (五十音順)	雨宮 徹 江口 尚 菊池 美也子 久布白 兼行 土井 卓子 樋田 美智子 中澤 よう子 仲村 準 中山 治彦 南部 直子 渡辺 哲	協会事業局次長・業務部長 学校法人産業医科大学教授 産業生態科学研究所産業精神保健学研究室 協会中央診療所副所長・精密総合健診部長 公益財団法人東京都予防医学協会理事長 医療法人湘和会湘南記念病院乳がんセンター長 横浜市健康福祉局健康推進部長 協会健康創造室長 協会産業保健部統括産業保健部長 協会中央診療所副所長 協会事務局次長・集団検診センター副所長・総務部長 独立行政法人労働者健康安全機構 神奈川産業保健総合支援センター所長
監事 (五十音順)	川本 守彦 坂元 昇 牧野 孝一	川本工業株式会社代表取締役社長 川崎市健康福祉局医務監 元公益財団法人横浜企業経営支援財団理事長
専門委員 (五十音順)	川崎 邦之 櫻林 郁之介 山田 幸子	臨床検査技師・日本衛生検査所協会所属・(株)保健科学研究所自動分析センター長、精度管理責任者 公益財団法人予防医学事業中央会理事長・自治医科大学名誉教授 臨床検査技師・協会臨床検査部二科 先天性異常検査 担当課長

組織機構図

(令和7年1月1日)



施設概要

(令和6年8月1日)

1. 事務局・中央診療所

横浜市中区日本大通58 日本大通ビル3階～7階
 敷地面積 1,257.23㎡
 延床面積 7,912.28㎡
 うち施設面積 4,862.62㎡

■中央診療所の指定

- 中央診療所
- 保険医療機関
- 労災保険指定医療機関・二次検査指定機関
- 結核予防法に基づく指定医療機関
- 生活保護法医療担当機関
- 障害者認定（呼吸器）施設
- 船員保険法船員の健康を証明する医師の指定
- 日本消化器がん検診学会認定指導施設
- 日本人間ドック学会一日ドック認定施設
- 人間ドック・健診施設機能評価認定施設
- マンモグラフィ検診施設・画像認定施設
- 横浜市胃がん検診実施医療機関
- 横浜市子宮がん検診実施医療機関
- 横浜市乳がん検診実施医療機関
- 横浜市大腸がん検診実施医療機関
- 横浜市肺がん検診実施医療機関
- 横浜市国民健康保険特定健康診査実施医療機関
- 横浜市国民健康保険特定保健指導実施機関
- 労働衛生サービス機能評価機構評価認定機関
- プライバシーマーク許諾施設

2. 集団検診センター

本館

横浜市金沢区鳥浜町13-7
 鉄筋コンクリート造,地上4階 竣工 昭和47年3月
 敷地面積 1,653.01㎡ 延床面積 2,158.29㎡

別館

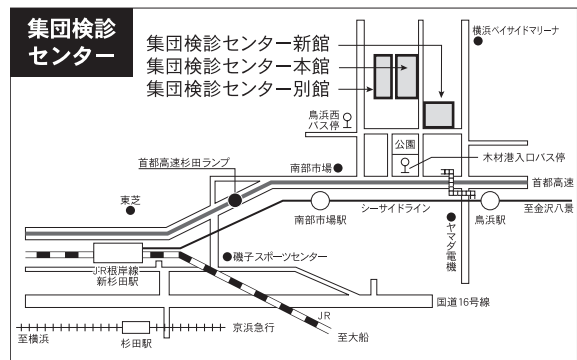
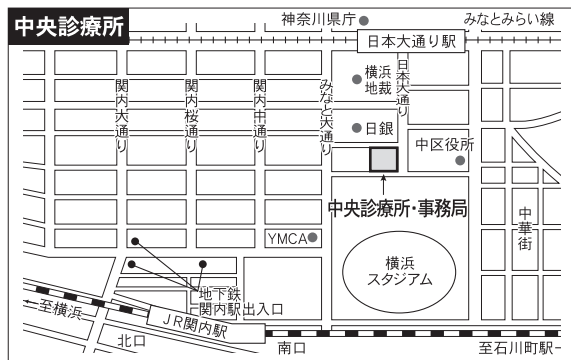
鉄骨造,地上2階（1階部分駐車場）竣工 昭和52年6月
 延床面積 725.01㎡

新館

横浜市金沢区鳥浜町14-1
 鉄筋コンクリート造,地上5階 竣工 平成4年4月
 敷地面積 495.32㎡ 延床面積 1,179.66㎡

■集団検診センターの指定

- 集団検診センター診療所
- 労災保険指定医療機関
- 登録衛生検査所
- 神奈川県労働局長登録作業環境測定機関
- 厚生労働大臣登録簡易専用水道検査機関
- 神奈川県知事登録環境計量証明事業機関
- 横浜市長指定小規模受水槽検査機関
- 先天性代謝異常スクリーニングセンター
- ISO9001認証施設（簡専水検査・作業環境調査）
- 労働衛生サービス機能評価機構評価認定機関
- プライバシーマーク許諾施設
- 健診・検査データ共有化事業精度管理基準達成認証施設



有資格者数（重複資格延べ数）

(令和6年8月1日)

職種／勤務形態	常勤	非常勤	計	職種／勤務形態	常勤	非常勤	計
医師	19	44	63	作業環境測定士	9	2	11
看護師	23	53	76	環境計量士	0	1	1
准看護師	0	13	13	簡易専用水道認定講習会修了者	8	1	9
薬剤師	0	0	0	健康運動指導士	1	0	1
保健師	11	19	30	気導聴力講習修了者	10	5	15
管理栄養士	0	1	1	選別聴力講習修了者	26	9	35
臨床検査技師	34	67	101	労働衛生コンサルタント	3	2	5
臨床病理技術士	9	1	10	公害防止管理者	0	1	1
衛生検査技師	1	0	1	危険物取扱者	0	0	0
国際細胞検査士	0	0	0	衛生管理者	25	4	29
細胞検査士	0	0	0	マンモグラフィ撮影認定技師	8	4	12
超音波検査士	9	1	10	肺がんCT検査認定技師	7	0	7
診療放射線技師	19	41	60	胃がん検診認定技師	15	0	15
放射線取扱主任者	0	1	1	認定オキュペイショナルハイジニスト	1	0	1
内視鏡技師	1	0	1	計	239	270	509

主な検診・検査機器一覧

検診・検査の種類	集団検診センター	台数	中央診療所・事務局	台数
胃がん検診	胃部デジタル検診車	5	胃部X線デジタル撮影装置 電子内視鏡	6 3
大腸がん検診	便潜血自動分析装置	2	便潜血自動分析装置	1
肺がん検診	胸部X線デジタル検診車	2	胸部X線デジタル撮影装置 マルチCT撮影装置	2 1
子宮がん検診	子宮がん検診車	2	コルポスコープ 超音波診断装置	2 1
病理・細胞診 (子宮がん検診) (肺がん検診)	自動染色装置	3		
	密閉式自動固定包埋装置	1		
	パラフィン包埋ブロック作製装置	1		
	光学顕微鏡	12		
	プレパラート自動封入装置	2		
	大型滑走式マイクロトーム	1		
乳がん検診	乳房X線デジタル撮影装置	3	乳房X線デジタル撮影装置 乳腺超音波診断装置	2 3
生理機能検査 (心臓病検診) (特殊健康診断) (一般健康診断) (人間ドック)	腹部超音波検査装置	9	腹部超音波検査装置	7
	心電&心音計	63	心電計	7
	スパイロメーター	5	運動負荷試験システム	1
	全周波数聴力計	8	ホルター心電図解析装置	2
	選別聴力計	16	心臓超音波診断装置	1
	体組成計	8	スパイロメーター	4
			全周波数聴力計	1
			選別聴力計	2
			血液ガス分析装置	1
			体内脂肪計(体組成計)	4
			血圧脈波検査装置	1
生化学・血液検査 (一般健康診断) (腎臓・糖尿病検診) (特殊健康診断) (人間ドック)	自動血球計数装置	2	自動血球計数装置	1
	尿自動分析装置	16	生化学自動分析装置	1
	生化学自動分析装置	2	全自動血糖HbA1c分析機	2
	光学顕微鏡	6	自動免疫測定装置	1
			光学顕微鏡	3
			尿自動分析装置	1
眼科系検査 (特殊健康診断) (人間ドック) (センター)	無散瞳眼底カメラ	7	無散瞳眼底カメラ	2
	フルオートレフケラトメーター	1	眼圧測定装置	2
	ハンディレフRACTメーター	1	オートレフケラトメーター	1
	オートレンズメーター	1	VDT用視力計	1
	視力計	2	近点計	1
	VDT用視力計	11	自動視力計	7
	近点計	2		
	自動視力計	47		
骨粗鬆症予防検査	骨密度測定装置	1	骨密度測定装置	1
化学分析 (特殊健康診断) (水質検査) (作業環境調査)	高速液体クロマトグラフ装置	5		
	高周波誘導結合プラズマ質量分析装置	1		
	ガスクロマトグラフ装置	5		
	ガスクロマトグラフ質量分析装置	1		
	分光光度計	1		
	イオンクロマトグラフ装置	1		
	原子吸光分析装置	1		
	X線回析装置	1		
	周波数分析装置	1		
	積分型普通騒音計	11		
	レーザー粉塵計	15		
	水銀測定装置	1		
	大容量遠心機	1		
	マイクロ波前処理装置	1		
	電子天秤	2		
プラズマ前処理装置	1			
先天性代謝異常検査	マイクロプレート光度計	1		
	超純水製造装置(ミリポア)	1		
	マイクロプレート蛍光光度計	1		
	タンデム質量分析計(LC/MSMS)	2		
	大容量冷却遠心機	1		
	マイクロプレートウォッシャー	3		
	リアルタイムPCR	2		
サーマルサイクラ	2			
車両関係	作業環境測定車	2	業務渉外用車両	12
	簡易専用水道検査車	2		
	検診用一般車両	15		
	事務公用車	1		

(令和6年8月1日現在)

令和6年度 執 筆 者

協会活動この一年

令和6年度 協会の動き 北見 護 専務理事
 評議員会等の記録及び役員等の異動 鈴木 淳一 総務部
 個人情報保護活動 鈴木 淳一 総務部
 全国団体への参加 雨宮 徹 業務部
 芦田 敏文 環境科学部

日本作業環境測定協会神奈川支部 芦田 敏文 環境科学部
 神奈川県学校・腎疾患管理研究会 佐藤 光宣 業務部
 子宮がん車検診実施検討会 佐藤 光宣 業務部
 ピンクリボンかながわ 齋藤 好子 健康創造部
 神奈川県乳がん集団検診協力医療機関連絡会 山本 寛典 業務部
 神奈川乳房画像研究会・神奈川乳房超音波画像研究会 見本喜久子 放射線技術部
 関 春花 放射線技術部
 禁煙・受動喫煙防止活動を推進する神奈川会議 齋藤 好子 健康創造部
 神奈川学校保健研究会 久保紀代美 健康創造部

協会に事務局を置く団体

神奈川県消化器がん検診機関一次検診連絡協議会 佐藤 光宣 業務部
 神奈川県健康管理機関協議会 雨宮 徹 業務部

令和6年度 統計表作成者

がん検診

胃がん検診（職域・地域） 内田 充玲 木村 優子 鈴木 聡 行谷 麻里（情報処理部）
 大腸がん（職域・地域） 内田 充玲 木村 優子 鈴木 聡 行谷 麻里（情報処理部）
 超音波検診 柳井裕美子 木村 優子（情報処理部）
 肺がん検診（職域・地域） 木村 優子 佐々木佳生 鈴木 紀子 行谷 麻里（情報処理部）
 子宮がん検診（施設） 木村 優子 行谷 麻里（情報処理部）
 子宮がん検診（地域・車検診） 木村 優子 行谷 麻里（情報処理部）
 乳がん検診（施設） 木村 優子 行谷 麻里（情報処理部）
 乳がん検診（地域） 木村 優子 行谷 麻里（情報処理部）
 神奈川からがんをなくす会（ACクラブ） 工藤留美子（運営部）

一般健康診断・精密総合健診

一般健康診断 内田 充玲 木村 優子 鈴木 聡（情報処理部）
 特定健康診査・特定保健指導 木村 優子 鈴木 紀子（情報処理部） 脇坂 朋実（健康創造部）
 骨粗しょう症予防検査 木村 優子 佐々木佳生（情報処理部）
 歯科健康診査 木村 優子 鈴木 紀子（情報処理部）
 精密総合健診（人間ドック） 内田 充玲 木村 優子 鈴木 聡 高橋 美佳（情報処理部）
 竹内祐江里（運営部）

有害業務・環境検査

特殊健康診断 内田 充玲 木村 優子 鈴木 聡 中野 聡子（情報処理部）
 作業環境調査 太田 聡（環境科学部）
 簡易専用水道検査 井上 雄一（環境科学部）

母子・学校保健

新生児マスキング検査 小泉 直美 酒井 聡子 山田 幸子（臨床検査部）
 腎臓病検診 太田 浩司 古林 美保（情報処理部）
 糖尿病検診 太田 浩司 古林 美保（情報処理部）
 心臓検診 木村 優子 鈴木 紀子（情報処理部）
 貧血検査 木村 優子 鈴木 紀子（情報処理部）

保健相談・メンタルヘルス

保健相談 脇坂 朋実（健康創造部）
 メンタルヘルス 脇坂 朋実（健康創造部） 江利川留美子 木村 優子（情報処理部）

健診後のフォロー・健康教育・受託検査

健診後のフォロー 安武 裕栄 工藤留美子（運営部）
 健康教育 小林 辰也（健康創造部） 松原 司（業務部）
 受託検査 木村 優子 中野 聡子 古林 美保（情報処理部）

検診・検査の種目別実施数

検査全般 当協会における検査の基準値 坂牧 真盛（臨床検査部） 太田 聡（環境科学部）
 協会の沿革 南部 直子（総務部）
 役員 鈴木 淳一（総務部）
 組織機構図・施設概要・有資格者・機器一覧 南部 直子（総務部）

使用上の注意

1. この事業年報は公益財団法人神奈川県予防医学協会の令和6年度（令和6（2024）年4月～令和7（2025）年3月）の事業を集録したものである。
2. 統計表中説明を要する個々の事項は、原則として脚注とした。
3. 統計表の集計及び統計は次の要領で行った。
 - ①数字の単位は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを原則として表示した。また、がんの発見率などについては小数点第3位まで計算し、四捨五入した第2位まで表示した。
 - ②百分率及び標準偏差は、原則として100名以上の集団について計算した。
 - ③平均値は、原則として30名以上の集団について計算した。
 - ④比率の算出方法は、各表ごとに脚注を示した。
 - ⑤統計表の中で依頼検査とは、当協会での判定のない検査の意味である。
 - ⑥統計表中の記号の用法は、次の通りである
 - － その事象が出現する可能性をもっているが、統計上出現しない場合。
 - ・ その事象が出現することは、本質的にありえない場合
 - … 上記以外の統計数がない場合または統計表を表章することが不適当な場合
 - 0.0 表章すべき最下位のけたが1に達しない場合（0.05未満）
 - 0.00 表章すべき最下位のけたが1に達しない場合（0.005未満）
 - ▽ 減少を表わす場合
4. 統計表は、ほとんどが事案件数の実数報告として作成されたものであって、すべての表が統計学的検査に耐え得るものではない。疫学統計と比較する場合は、この点に留意していただきたい。
5. 統計ページ内にある〈図〉とは、統計に基づいてグラフ化されたものを差し、それ以外のものを統計表の理解を助ける〈資料〉と位置付けた。

あ と が き

令和6年度の「事業年報」(第57号)をお届けします。紙ベースからデジタル版にして3年目になります。デジタル版で紙面の見やすさに改善を進めています。

各分野で目立つ点を挙げると、個人情報保護体制ではプライバシーマークの更新審査で多くの部署の協力、努力が実り合格認定を受けることが出来ました。

一般検診で注目されるのは女性のBMIです。やせの指標となるBMI18.4%以下が40歳以降では12%台であるのに比べ30歳未満では18.6%と非常に高く、若い女性のやせが目立っています。

一般検診では8020運動を含め歯周病健診として歯科検診の受診率の増加が期待されますが、まだ5,900件に留まっています。

特定健診のリスクに応じて40歳以上では保健指導の対象に「動機付け支援」と「積極的支援」がありますが生活習慣病の予防の観点から、産業保健師が保険者である事業所と連携を取りながら改善に寄与しています。

乳がん検診で1回の圧迫で多方向から撮影する3Dマンモグラフィーが導入されてきましたが、まだ十分に検査件数が伸びてきていません。もう少し普及することが望まれます。

精密総合健診(人間ドック)の受診数は減少傾向にありましたがやや復活しました。前歴(継続して受診)をみると、初回が1,156件で2回、3回と継続して受診する方が次第に減少しますが、6年以上受けている方が3,741件と45%にもなります。その詳細は分かりませんが健診を大切に継続されているとしたら、うれしいことです。

特殊健康診断では危険有毒性のある化学物質のリスクアセスメントの実施に向け、検査が拡大されますが、必ずしも検査方法が確立されていない検査もあり課題となっています。

母子保健では新生児マススクリーニングに重症複合免疫不全症(SKID)、脊髄性筋萎縮症(SMA)の拡大マススクリーニングが公費負担として国の実証事業が開始されていましたが、県全体としては10月から参加し、結果として前年より検査数が大きく伸びました。

Web健診の導入など、まだまだ健診、検診の進め方に発展の余地が残されています。さらによりよい健診、検診に近づけるため引き続きご支援、ご指導のほどよろしくお願いいたします。

(令和7年12月 集団検診センター所長 大崎逸朗)

令和6年度 事業年報
第57号
令和8年3月発行

編集人 大 崎 逸 朗
発行人 根 本 克 幸
発行所 公益財団法人 神奈川県予防医学協会
〒220-0012 横浜市西区みなとみらい3-3-3
横浜コネクタスクエア4F
電話 0570 (023) 311
<https://www.yobouigaku-kanagawa.or.jp/>
印刷 株式会社 クレコミックス
〒231-0047 横浜市中区羽衣町2-7-10
関内駅前マークビル4F
電話 045 (308) 0020